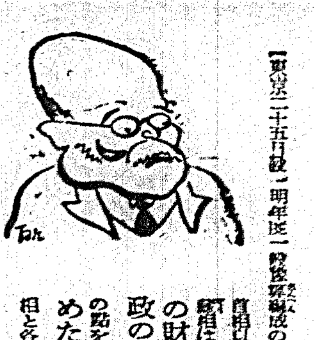
臺灣日日新報 夕刊
六月二十五日
夕刊定價一部二錢
編輯發行人 前野若
發行所 臺北市榮町四丁目 臺灣日日新報社

ホーロー看板
合名會社 木山標記本店
大阪市住吉區アベノ筋四
電話代表天王寺六五[illegible]

豫算編成の方針 けふ閣議で決定

財政の健全化を 高橋藏相が力說す



【東京二十五日發】明年度一般豫算編成の方針を決定すべき本年度最初の豫算閣議は二十五日午後二時より首相官邸に開會、岡田首相以下全閣僚出席、先づ諸般の政務を決定したる後岡田首相より藏相の說明を求むれば高橋藏相は二十四日午後開かれた大藏省議の決定に基く編成方針の大綱に付き說明し、且つ我國の財政の現狀を述べ赤字公債の漸減並に歳出膨脹防止に依る財政の健全化の絕對必要なる點を力說し、明年度豫算の查定に當つては特にこの點を考慮して各省新規事業に就ても必要缺くべからざるものに止めたき旨を述べ各閣僚の諒解を求め、尙右藏相の說明に關して公債政策その他に付き藏相と各閣僚との間に質疑應答を重ね異議なく藏相の方針通り決定を見た(漫畫は高橋藏相)

海軍縮小本會議を 近く招請しよう

英政府が對佛回答で示唆

【ロンドン二十四日發聯合】英國政府は今回の海軍協定に關するフランス政府の抗議通牒に對し二十四日回答を發し海軍協定の價値を說明したが、特に右回答に於て近く海軍縮小本會議招請の意向を示し次の如く述べてゐる

ワシントン海軍條約が一九三六年十二月末を以て滿期失效する事實に鑑み一九三五年十二月末日までに海軍縮小本會議を招請する事に關る有效なりと認む、この點佛政府も亦同意せられる事を確信する

表面化し來れる 閻、韓、宋の三角同盟

南京政府危機に直面

【北平二十四日發聯合】山東省政府主席韓復榘が宋哲元の辭職に憤慨し某所南京政府に對して本、泉職辭任を要請、抗議的通電を發した事は韓復榘、閻錫山、宋哲元三名の三角同盟を表面化したものと觀られ其の波紋の及ぶ所頗る重大なるものありと觀られてゐる、既に宋に對する免職は事前に蔣介石の充分滿足な贊成を得ず斷行された爲め南京政府は困難な立場にあり、行政院長汪兆銘は宋に對し改めて甘肅、青海、綏遠、察哈爾の綏靖副司令の新職を提出し來つたが宋は之れを拒絕した事實あり今回韓復榘よりの詰問電報に依り中央は二層危機に直面する事となつた

廣田外相の 第二段工作

先づ支那國民の自覺を促す

【東京二十五日發】北支問題の一段落を待ち之れを機會に廣田外相は第二段の和親工作の具體案を準備する事に決し北支問題解決方有吉大使をして北支出先大官連に[illegible]の意明を發せしめ、和親工作を全面的に具體化するには先づ支那國民の自覺に訴へんとするもので頗る注視される、卽ち

一、全支に亙り經濟文化提携を基礎に支那の日支依存關係を確立する

一、今回の北支問題は局地的にして何等日支本然の親善關係を阻害するものに非らず、南京政府にして北支問題の解決に示せる如き對日誠意を全面的に表示するに於ては日本政府は日、滿、支三國の不侵略條約に對し考慮を拂ふ用意がある

一、日、滿、支三國不可侵協定の先決條件として滿、支關係の確立全支に亙る反日滿運動の最終的終熄を絕對條件とする

一、北支に於ては經濟提携の實現を期すべく交通通信の連絡農工業の合併事業を起す

對日策

張群が陳儀や 熊式輝と協議

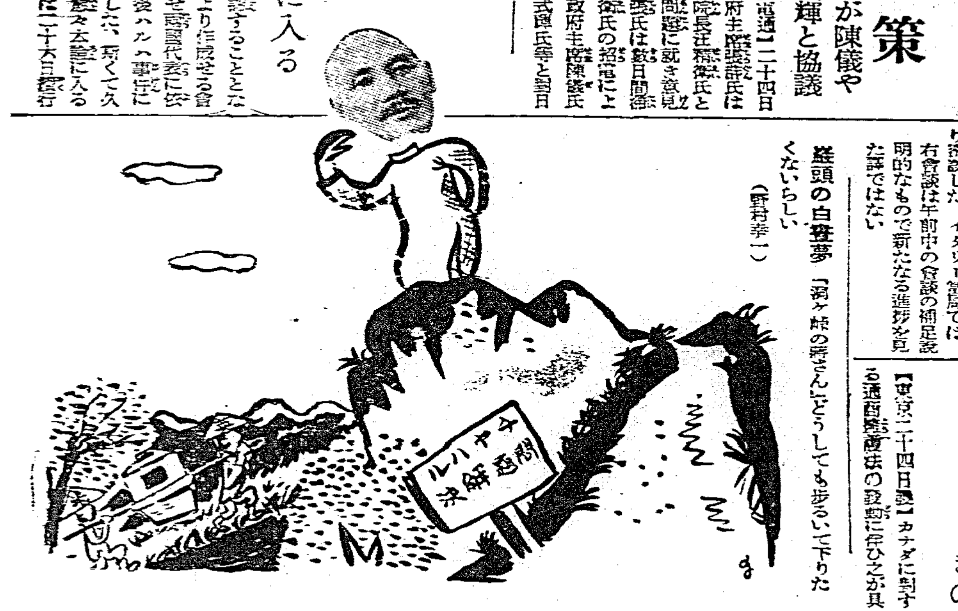
【南京二十四日發電通】二十四日來京の湖北省政府主席張群氏は同日午後三時行政院長汪兆銘氏と會見して當面の諸問題に就き意見の交換を爲した、張氏は數日間滯在してその間汪兆銘氏の招電により入京する福建省政府主席陳儀氏浙江省政府主席熊式輝氏等と對日策に就き協議してその結果國民政府當局に重要進言の筈である、尙對日特使派遣に就ては國民政府部內は時期尙早といふに傾き居り結局[illegible]

張群氏今回の滯京は[illegible]七月十日頃漢口に歸任の豫定である

滿蒙會議は 續開に決定

次回から本論に入る

【新京二十四日發】決裂か續開か注視されてた二十四日の第八次滿蒙會議は午後一時より北滿中學の會議室で開會された、先づ蒙古代表は滿洲國政府の意見を[illegible]を外蒙側で[illegible]することとなつた、依つて雙方より作成せる會議を[illegible]と照し合せ兩國代表に[illegible]り之を承認したる後ハルハ事件に關する[illegible]を交換した、斯くて久しく[illegible]の會議に[illegible]に入ることとなつた[illegible]二十六日擧行の[illegible]へ滿蒙兩國代表の大局より會議の繼續を要望せる[illegible]の[illegible]とな[illegible]第二回の[illegible]



嶺頭の白晝夢 【南ヶ峰の將さん】どうしても歩るいて下りたくないらしい

（野村孝一）

ム伊首相と イーデン氏會談

午後も續行さる

【ローマ二十四日發電通】イギリス特派使節イーデン無任所相は二十四日午前十時ヴエネチア宮にムツソリニ首相を訪問し二時間に亙り協議した、兩氏は午後も會談を續行する豫定である

【ローマ二十四日發電通】ムツソリニ首相及びイーデン氏は午前の會談の後エキセルシオール・ホテルにて午餐を共にしたが後ホテルの一室に兩氏のみで約三十分に亙り密談した、イタリー當局では右會談は午前中の會談の補足說明的なもので新たなる進捗を見た譯ではない

コムミユニケ

【ローマ二十四日發電通】イーデン、ムツソリニ兩氏會談後左の如きコムミユニケが發表された

ムツソリニ首相とイーデン英特使は本日午前ヴエネチア宮において二時間に亙つて會談し英獨海軍協定を初め二月三日のロンドン宣言の一部をなす航空協定及び其他の問題に就て協議した

エチオピア問題には觸れない

【ローマ二十四日發電通】イタリー外務當局は二十四日ムツソリニ、イーデン兩氏の會談內容に就き左の如く言明した

ムツソリニ、イーデン兩氏は二十五日の會談においてエチオピア問題を討議するかも知れない

と言明した

然したから二十四日の會談では同問題が上議されたことは決してない、二十四日午前の會談が長時間に亙つたのはイーデン氏がヨーロツパ諸國を巡遊した際の各國の事情とドイツ、ロシアにおける口頭を語つたためである

獨逸と滿洲 爲替交換

近く實施さる

【新京二十四日發】滿洲國外交部筋では豫ねてドイツ政府に對し滿獨爲替交換の提議をなしてゐたが、去る五月中旬ドイツ政府より右交換はカイロ郵便條約の精神にも合致すると前提し、カイロ郵便會議に於いて取極められた郵便爲替約定に基き滿獨爲替交換を行ひたしとの條件を附し正式回答をなし來つたので、滿洲國ではドイツ政府の條件を檢討中であつたが二十四日ドイツ政府に對し既諾の旨通達した、右に依り日支を除く滿洲國と外國との最初の直接爲替交換は近く行はれる譯でドイツが列國に先んじ滿洲國の郵政を承認することは注目に値する

通商擁護の 最後案決定

きのふ特別委員會で

【東京二十四日發】カナダに對する通商擁護法の發動に伴ひ之が具體的最後案を決定すべき關稅調查委員會特別委員會は二十四日午後二時より藏相官邸に開催し

最近における本邦品輸入防遏國に對する措置に關する件

を議題として通商擁護法發動の可否の原則につき論議したが對カナダ貿易業者たる田村、生方兩委員よりカナダの本邦品に對する不當措置に對抗するためには同法發動の外途なきことを力說し全會一致之を承認した、次で幹事會原案に基き發動勅令案の檢討に入り左の如き大綱を決定して午後六時散會した

一、適用品目 木材、小麥、小麥粉、小麥澱粉、製紙用パルプ、[illegible]用フエルト、紙類、包裝用紙[illegible]

一、適用稅率 現行輸入稅の[illegible]

一、適用期限 勅令公布の日より一ヶ年間とす、但し期限中と雖も之を撤廢することを得

稅關[illegible]にはカナダ一國を文面上特定することなく[illegible]に適用する[illegible]の[illegible]を[illegible]としこの點は[illegible]二十六日[illegible]第二回[illegible]委員會を[illegible]して[illegible]である

その日その日

○

北支に三角同盟出現とか、北支問題は愈々以て多角的關係を生じて來る

○

又もや某日の故を以て支那新聞人[illegible]が發表前に捕はれ、近く銃殺だと、國民政府の下、相變らず日支親善は[illegible]

○

[illegible]に立つて曰く「[illegible]は第一歩、[illegible]一歩も[illegible]にしたい」とか、何故そんな事を[illegible]ければならぬか[illegible]

○

[illegible]

○

[illegible]

○

[illegible]ある、資金關係も拍子を合せぬとトンくとは參らない

○

震災民が、元氣一ぱいなのは何より嬉しい、復興事業も[illegible]に

○

嘉義の市バス經營は、嘉義での一新[illegible]、いろ〳〵な問題を[illegible]味ある試驗的計畫

○

[illegible]に[illegible]に無い、[illegible]すぐに[illegible]に入情味ある者には、[illegible]の方向も注がれる

○

[illegible]十年を經た[illegible]と言つて[illegible]

○

[illegible]

無絃琴

臺灣博覽會事務局の電話番號は三二五四番なんだが宣傳部員が頭を捻つた揚句に之を「見に來て」とモジつて喜んでゐるさうだ、少し苦しい讀み方だが博覽會事務局としては有たけの知慧を絞つたのださうだ▲之に反し協贊會事務所の電話番號は四二一九番だ、協贊會にとつてはチト縁起が惡い響きを持つてるやうだ、しかしもう一つの番號は四五七〇で之なら「ヨイナこ」に丸がついてゐるので相殺といふ形ち、先づトンくといふところだらうとある、どつちにせよ苦しい口上だが然し暗記しておく上には持て來いだ▲話は別だが出品部長の奧田特產課長のところでは近く三百名餘の女看守を動員して[illegible]會場に配置することになつてゐるが飛切りの別嬪を全島から集め「ミス臺灣」の博覽會みた樣にしてみせると力んでゐるさうだ、三百名といふ所に胸を出して[illegible]と思はん諸嬢連は猛然應募してみることだ。

人事

▲中宮海軍中佐(馬公要港部參謀) 二十五日基隆より[illegible]

▲荒井國治氏(三井物產臺北支店石炭部主任) 名古屋支店石炭部主任に轉じ八月上旬頃赴任の豫定

▲加藤五一氏 三井物產京城支店石炭部主任より臺北支店石炭部主任に轉じ七月末頃著任の筈

▲緒方孫南地方法院長 病後靜養のため北投無名地に滯在中のところ二十五日歸[illegible]

朝鮮水稻植付面積

前年より三千町增

【京城二十四日發】朝鮮總督府農林局發表＝六月二十日現在水稻植付狀況は面積九十七萬九千八百八十三町五段步で、植付見込面積の五割七分一厘の植付を終了した前年同期に比し三千三百四十町六段を增してゐる、而して本年六月は降雨多かりしため順調に進みたるもので一般に好作が豫想されてゐる

獨國立銀行モラトリアム延長令發表

【ベルリン二十四日發電通】ドイツ國立銀行は主として外國關係の債務中期限切迫のものが多いので之が對策として二十四日左の如きモラトリアム延長令を發表した

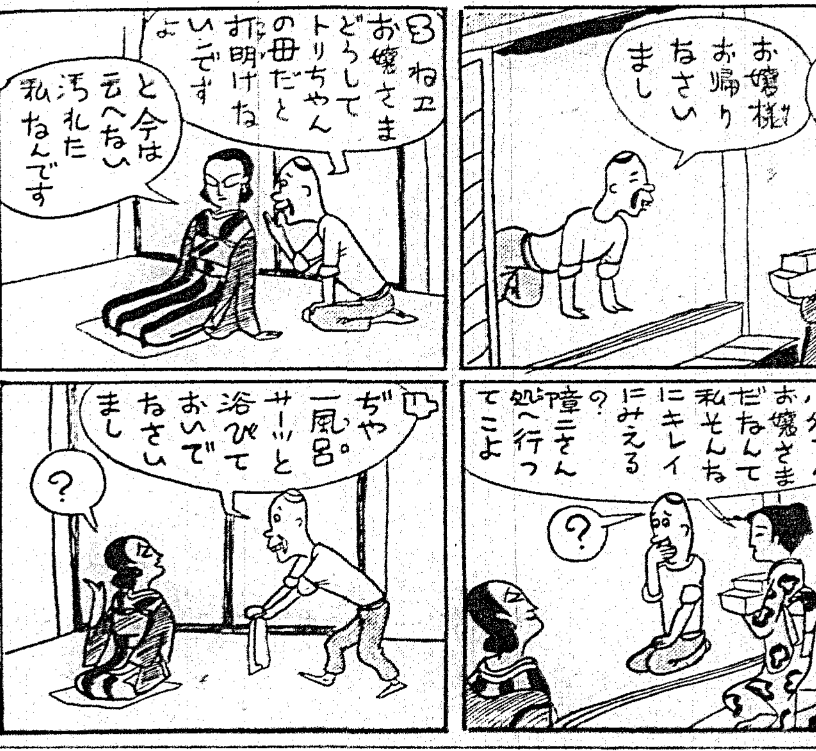
ライヒス銀行は長期及び中期のクレヂツトに對し更に十二ヶ月間の支拂延期を行ひ千九百三十六年六月三十日まで之を適用することに決定した

總督、後龍より 自動車で歸北

目下中部震災復興狀況視察中の中川總督は二十五日臺中州下の視察を了へ同日午後五時後龍より自動車にて一旦歸北し、二十六日午前八時三十分臺北驛發列車にて南下新竹州下の復興情況視察の上午後七時四十分臺北驛著列車にて歸臺することになつた

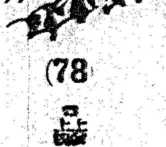
連載漫畫 やきとり屋のトリちやん

(52) 松下井知夫



ロ
タダイマ 只今
お孃樣お歸りなさいまし
2
やだワ 小父さん お孃さまだなんて 私そんなにキレイにみえる？
?
障二さん處へ行つてこよ
3
ねエ お孃さま どうしてトリちやんの母だと打明けないんですよ
と今は云へない 汚れた私なんです
4
ぢや一風呂サーッと浴びておいでなさいまし
?

朗らかな人生



(78)話

光田靜夫作 田中比左良畫

癡の七面鳥 (三)

操さんの日常は明暗の交錯である。何か嬉しい事があると戶の開け方まで勇ましい、その反對に悲しい事があつた時に限つて戶の開け方までセンチメンタルである。戶を開けるにも、戶惑ひするほどの陽と陰のヒラキがあつた。

リリサン、今月は陰の方である。審まで潮し、[illegible]な響きを立て初めた。

操さんは嬉しさうにちまくれに悄々として自分の部屋に入つて行くと

「操か！お歸り。」

「只今……」

兄さんの利夫君が洋服を脫いで樽段一つになつて筆硯の眞似をやつてゐたが、妹の顏を見るとかう言つた。

「おーい、コリント・ゲームをやらんかい」

「イヤ、頭が痛いんだもの。」

「チエー今日もご機嫌斜なりか。」

利夫君はアツパカードをしながら吐き捨てるやうにかう言つた。操さんは鞄から本を取り出して本棚に並べた。頭がガン〳〵鳴つてゐる。其處へ女中が紅茶を持つてきて、

「お孃さん！お歸んなさい。今日は氣分如何ですの。」

「頭がトテモ痛いの。」

「そりや困りましたわねえ、すぐ御やすみなさいましては？」

「ソウネイ。」

彼女は蠟のやうな眞白い顏を、コツコツと手で叩きながら吐息をはした。戰慄と緊迫の壓である。

其時、突然「操！歸つたか。」

其の言葉から[illegible]らうとするやうな甲高い聲、これはお父さんなのである。

「ハーイ」

「では、一寸書齋へ來てまいよ」

すると女中のお松がラヂオのやうな早さで眼をチクリとうむつて肩を輕くポンと叩いて出て行つた「觸飛おさ〳〵怠る可らず。」

女中風情にしては珍らしいほどの點氣を示す、親切な女であるだけに喧嘩の裡にアカの假鐵をした[illegible]のシヤツポを頭に被せ 機嫌のいい時は白のシヤツポを被つて笑ふのである。

家中みんなこのコツを覺え「父うさんは今日シロよ」と鳴れば、一家揃つて御馳走食べたり、シネマを見たり、[illegible]へ、ドライブでもして遊ぶのであつた。

[illegible]

危きに近寄らず」の主義を遵奉して誰もパパの側へ行くものはなかつた。

「このコツを最近迄まで知つてきたらしい。」と笑ひながら利夫さんは云つた。

「あーら、アカだわ。嫌になつちやうわ。」

とむで吾しながら操さん、奥の部屋へ入つた。そして書齋方に膝手をついて、

「只今歸りました。」

と言つた。

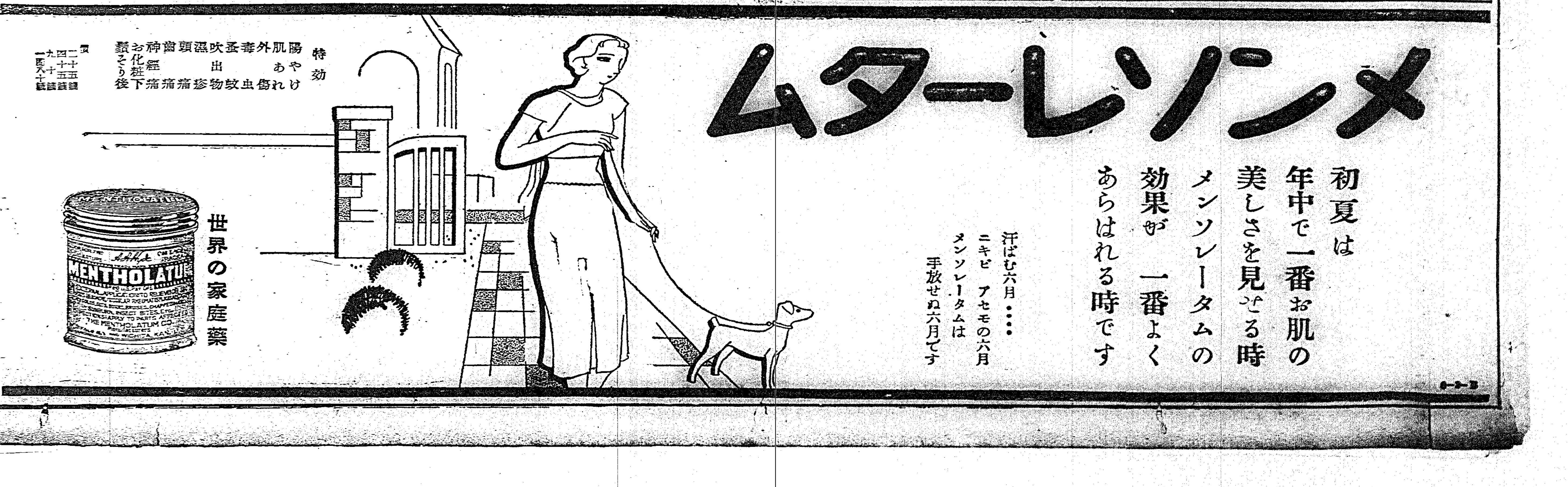
なーるほど、アカのシヤツポが怒を啟してる。パパは眼鏡越しに露のやうなどうんとした眼を光らせて、操さんの動作を見てゐたが

「もつと、こつちへ來なさい。」

「ハイ」

彼女は窓の書側へ行くと、これはまあ、窓の下から[illegible]どの長い腰をしたペルシヤ猫が、ニヤオーと言ひながら主人の膝に這ひ寄つた

「[illegible]さんの[illegible]」と[illegible]言つた。



メンソレータム

初夏は年中で一番お肌の美しさを見せる時
メンソレータムの效果が一番よくあらはれる時です

汗ばむ六月……
ニキビ アセモの六月
メンソレータムは手放せぬ六月です

世界の家庭藥

特效
陽やけ 肌あれ 外傷 毒虫 蚤蚊 吹出物 濕疹 頭痛 齒痛 神經痛 お化粧下 鬚そり後

定價 二十五錢 四十五錢 九十錢 一圓六十錢

皇后陛下の御吉兆 御姙娠お三ケ月

葉山御用邸行啓は或は御取止となるやも知れず

【東京二十五日發】皇后陛下には既報の如く御めでたき御徴候にて目下只管御靜養遊ばされてゐるが御懷姙既に御三ケ月と拜せられるので今後は公式の宮中御儀は勿論行啓なども成るべく御取止遊ばされることとなる御模様に拜する、尚去る二十日[illegible]大使に對する謁見

午餐會 も御何れも御取止遊ばされて居り目下の所では宮城内吹上御苑の御散策位にて軽い御運動を取らせられてゐる、來月中旬皇后陛下には天皇陛下、皇太子殿下、内親王様方と葉山御用邸に行啓、同御用邸で避暑を遊ばせられる御豫定と拜したが、來月初め頃から主任侍醫岩瀬御用掛が夫々正式に拜診申上げた上で數百哩の汽車御旅行に

御差支 なくば行啓遊ばさるべく御都合に依つては天皇陛下が葉山御用邸から八月始め頃那須御用邸に移らせらるる頃皇后陛下にはそれまで宮城にて御靜養遊ばされ宮城から直接那須御用邸に行啓遊ばされることとなる御模様である、皇后陛下の御めでたき御内着帶式は八月中の戌の日を以つて行はせられることと拜す

皇太后陛下 御誕辰の御慶び

首相以下にも御賜饌

【東京二十五日發】二十五日は皇太后陛下の御めでたき第五十一回の御誕辰に當らせられ又皇弟秩父宮殿下には第三十三回の御誕辰を迎へさせられた、この日皇太后陛下には午前十一時二十分赤坂離宮に行啓、秩父宮同妃、高松宮同妃兩殿下を始め奉り各皇族方と御對面あつて御祝辭を受けさせられ岡田首相以下高官の拜賀を受けさせ給ひ、正午頃より皇族殿下には鳳凰の間で又親任官一同に對しては花鳥の間の大食堂でその外の者には羽衣の間で夫々賜饌があり諸員はこの慶びの日を感激しつつ戴き奉つた、尚秩父宮殿下に對し三陛下より夫々御祝品の御贈進があつた

先づ高木氏から訊問 愈々本格的の審理

帝人事件第二回公判

【東京二十五日發】開廷第一日から發展の緒を生んで益々世人の注目を惹いてゐる帝人事件公判第二回目は二十五日午前八時三十分藤井裁判長係りで開廷、審理に入るに先立ち光本弁護士起つて檢事の取調へ手續等に就いて質問の上上申書を提出した後帝人社長高木復亨氏から訊問に入り愈々本格的審理が開始された、高木氏は經歷を問はれて低聲にて答弁し

藤井裁判長　被告は臺銀が國民から多額の負債を負ふものなることを心得てゐるか

高木　それなればこそ私は臺銀更生のため身命を擲つて盡したものです

裁判長　それならば被告は臺銀のため一錢一厘でも損失になる様なことはせず、より多く利益を計るべき責務のあることを心得てゐるだらう

高木　勿論のことです

と斷然と言つた後議員では結局一本でも一寸以下にならねば新しいものが殺さないこと紙一枚でも通さぬこと細かく述べてその間[illegible]ぶりを語り、次に大藏省との關係に就て問ひ

裁判長　昭和七年帝人株一萬株を大阪の田村駒治郎に賣つたのを議事錄に載せてないのは如何なる譯か、これは役員總會にかけ議事錄に載せるに足る重大問題ではないか

と突つ込まれ

高木　載せた積りでゐます、若し載つてゐないとすればよく調べて見ます

と答へ茲で二十分休憩となる、この日の裁判は今の所裁判長の訊問振り極めて綿密で仲々裁判は進捗しない

臺銀持株の處分で 裁判長細かに追及

鈴木商店との關係も俎上に

少憩の後午前十時十九分再開先の訊問に對し

高木　田村に賣つた一萬株は議事錄には載せてないが役員總會にはかけてある

と答へ

裁判長　臺銀が持株の處分をする時に大藏大臣の認可を必要とするや否や

高木　法律上では許可を必要としないが實際にはお伺ひしてゐる

と述べ更に昭和二年の金融恐慌を機に鈴木商店の沒落とともに同商店に三億五千萬圓の貸付をなしてゐた臺銀もこの餘波を受けて危殆に瀕したことなどを細かく語り

裁判長　當時鈴木商店から臺銀の取つてゐた擔保株の內有望なのは何であつたか

高木　それは色々あるので

裁判長　色々あると思ふが一番有望なものは

高木　帝人株は當時有望な方ではなかつたのです

と答へ

裁判長　中には擔保株[illegible]十萬圓の値ひの擔保に百萬圓も貸付けたと言ふのがあるではないか

高木　不良貸出と言はれても仕方がないのがありました、それといふのも鈴木を盛り立てて臺銀自身も救はれようといふ考へから深みにはまつたのです

裁判長　中島久萬吉等に責任を負はせるべきものだと言つてゐるが

高木　私はさう考へませぬ

裁判長　さう云ふ貸付をなすことは臺銀本來の使命に反するものではないか

高木　御説の通りであります

[illegible]は細かく責められ臺銀と鈴木商店の密接な關係を[illegible]の俎上に上せ更に日銀と臺銀との貸付事情を追究した上

裁判長　それで臺銀は鈴木商店に貸付けて困つて來ると日銀から金融を受けてはまた鈴木の穴に注ぎ込むといふ風だつたのだね

と痛い所にやられ

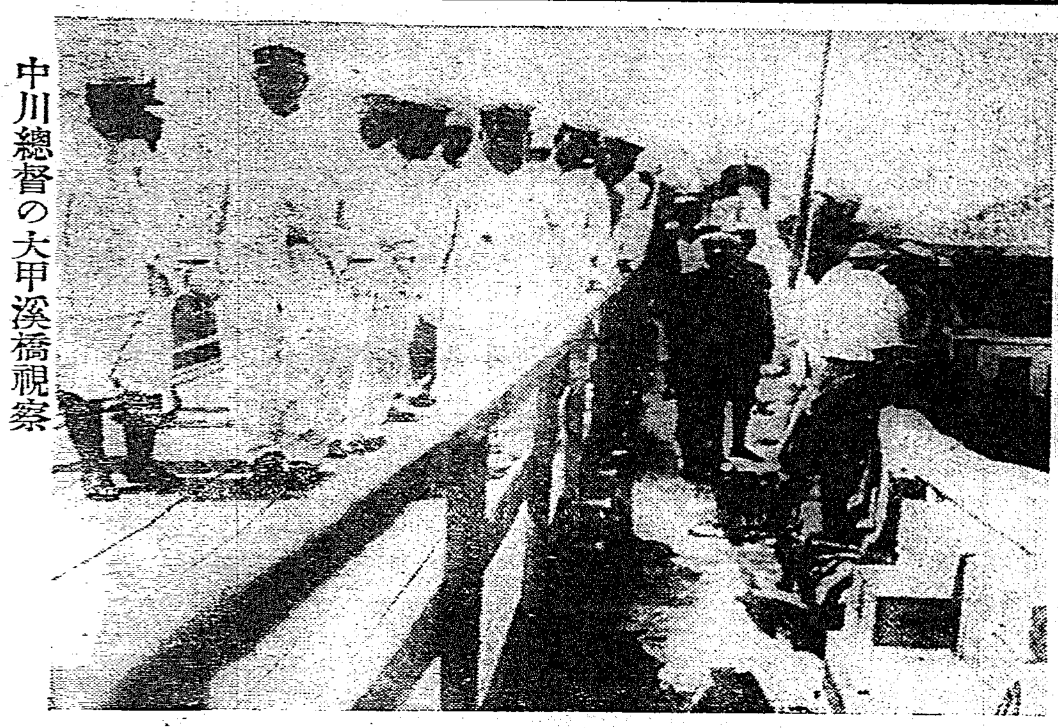
高木　いやさういふ譯でもないんですが

裁判長　日銀としても正しいやり方でなかつたのではないか

と言はれると

高木　何しろ緊急を要する場合ですから日銀がさうした特別融通をしたのでせう

と日銀のためにも一寸辯解し午前十一時四十五分休憩、午後一時より續開の豫定



中川總督の大甲溪橋視察

赤十字醫院の火事 煙草の吸殼から？

平某が吸つてゐた……と

密會の相手、看護婦が自供

臺北赤十字醫院の火事は失火に決定したらしい、[illegible]がダンスホールに[illegible]してゐたり、失火した室で密會した事實が暴露れてしまつては[illegible]、それにしても今回の事件は[illegible]

あの[illegible]が散歩して[illegible]を入れてゐたと聞いてゐたが惡い事は出來ないものだ、出かける時に看護婦に用があつたらダンスホールにと言ひ殘していつたことと、ダンスホールで赤十字のお醫者さん火事ですよと

呼び廻 つてゐた[illegible]

直ちにあらずして一緒に踊りにいつた平某であるらしい、この某は同窓二人と一足先きに出かけたと聞いて失火した室から廊下をはいて大急ぎでその後を追つていつた、そしてダンスホールにいつて一緒についてゐるとすぐ火事だ、この[illegible]うだつたか記憶がないといつてゐるが、密會の相手看護婦は[illegible]に煙草を吸つてゐましたと自供してゐるから困る、何んでも八時頃二人はここの室で三十分間ばかり話し合つた、九時頃守衛の廻る頃二人は室に出てしまつた、その時には異狀はなかつた、それからどうしてゐたのかアワテ先生一人この室に入つて仕度をして出かけたといふのである、そしてすぐ火事騷ぎである、[illegible]

司直の 手にまかせて一切[illegible]態度をとつてゐる、失火以下の[illegible]

臺灣博覽會 全國主任官會議

けふ總督府で開く

臺灣博覽會全國主任官會議は既報の如く二十九日午前九時から總督府二階會議室に於て開催された、出席者は內地各府縣、[illegible]等より參集した商工主任官三十名、臺灣博側からは平塚會長、中瀨事務總長以下各部長、係長、その他の關係者、總督府、州、市、瓦斯、電燈等の關係者等約五十名その他總務八十余名、先づ須田總務部長の開會の辭に次で

平塚會長 は挨拶として

內外地主任官の盡力の來會を謝し施政四十年間の臺灣文化、產業躍進の跡を概說、此の現勢を一堂に蒐めて展示せんとする本博の特色を述べ、之が成功を期せんためには各位の多大なる援助を請はねばならぬことを懇願

次で中瀨事務總長は本博の計畫について總督府の補助金六十萬圓、州費、臺北市よりの補助二十四萬五千圓、收入約十五萬五千圓、總計百萬圓、一方協贊會の豫算四十萬圓兩者の合計豫算百四十萬圓なることを說明、それより各會場の位置及び諸施設につき解說を加へ本博は單なる產業博に非ずして文化的に產業の大綜合博覽會なることを力說、特に南方館の南支南洋諸國に關する異色及び國防館の帝國南方生命線を護る重大使命の發揚等に力を入れて說明、その他臺北全市を擧げて博覽會氣分を橫溢せしむべきことは勿論、草山分館、基隆、臺中、臺南その他全島各地に於て本會を盛大ならしめる諸施設を設ふべきことを述べて內外地からの觀客の誘致を依賴して挨拶となし協議事項に入つた

協議事項は

一、出品勸誘取扱に關する件

二、汽車汽船運賃割引に關する件

三、關稅消費稅其の他の特殊出品に付ての交涉に關する件

四、出品陳列に關する件

五、出品物搬出入に關する件

六、出品物受賞の諸儀式に關する件

七、陳列小間及び土地に關する件

八、看守人に關する件

九、出品物の保險に關する件

一〇、鑑查に關する件

一一、電燈、電力に關する件

一二、水道に關する件

一三、瓦斯に關する件

一四、電話に關する件

一五、寄備費金に關する件

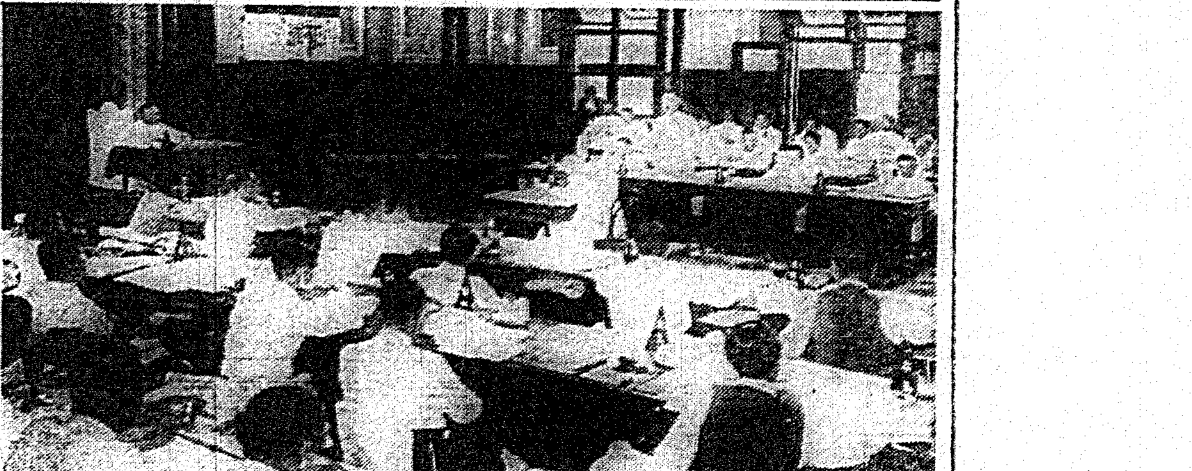
一六、博覽會會場內土地使用に關する件

一七、協贊會賣店及び土地使用の件

一八、出張事務所に關する件

で夫々當事者より說明あり、出席者の

質問にも夫々答へ滯りなく進行して午前中に大體の協議を了へ休憩して午後は再び約一時間に亘り殘りの打合を行ひ、一同市內の第一會場、第二會場、大稻埕分館その他の見學をなし、夜は梅屋敷に於ける博覽會の招待會に臨んだ、二十六日は午前中ちよつと打合を行つた後草山分館の見學をなし夕刻には協贊會の招宴に臨む豫定（寫眞は同會議）



基隆水族館の上棟式

【基隆電話】基隆市クルベー濱海水浴場に接して建築中の水族館は此程基礎工事も出來上つたので二十九日午後五時から上棟式を擧行したが完成は七月中頃の豫定

臺博記者協會の發會式と總會

七月一日鐵道ホテルで

臺博記者協會では來る七月一日午前十一時より鐵道ホテルに於て發會式を擧行し終て午後會員總會を開く由、尚同協會の事務所は京町の大阪每日支局內に置かれてあるが近く博覽會事務所內へ移る筈であると

國民中學校 開校式を擧行

けふ假校舍で

私立臺北國民中學校の開校式は二十五日午前九時から成淵學校內假校舍で擧行した、[illegible]入學願者の大多數が[illegible]の立場から臺北市長有志の熱心なる努力によつて設立を見たもので開校式には深川文教局長、野口州知事、松岡市尹、切田[illegible]校長外各學校關係者及び許村三好、小松、三卷諸氏を初め父兄職員生徒等多數參集、開會の辭、[illegible]の式辭、[illegible]、野口州知事の告辭、松岡市尹、河村臺日社長、許丙諸氏の祝辭、[illegible]

クルベー濱に 無料休憩所

【基隆電話】基隆郵便局に於ては簡易生命保險加入者の保健向上の一端として七月一日から九月末日まで基隆クルベー濱海水浴場に休憩所を設置し無料でサービスする事にしたから被保險者は利用されたい、入場券は最寄の郵便局にて交付受けられたいと

恩人の金を持つて臺灣へ高飛び

【基隆電話】本月二十日入港の大和丸で來臺した三等船客中[illegible]の男があつたので臨檢の水上署が[illegible]、東京市品川區[illegible]の所持金[illegible]を引き出して[illegible]一ケ月程前[illegible]くなつたのでひとつ臺灣へでもやつて來たものと判明したので目下市內某旅館で保護身柄引き取りに來るのを待つてゐるが[illegible]分の行爲を心から悔いてゐる

聯合青年團の軟式野球

臺北州聯合青年團主催第二回臺北州聯合青年團軟式野球大會は來る七月二日から樺山町末廣小學校グラウンドで擧行される

試合方法　敗退戰

選手資格　昭和十年五月十五日迄に入團したるもの

申込期日　六月二十八日迄監督、主將、シート氏名、入團年月日を記入し州聯合より本部に提出のこと（選手は補缺共十五名以內とす）

代表者打合會　六月二十九日午後一時半市役所會議室に於て番組抽籤並に其他協議に付き打合會を開催す

大甲、甲南間 けふ開通

總督府鐵道部では去る十七日午前八時より大甲溪橋架設のため同所を徒步連絡のところ二十五日午前六時二十分基隆發第二號車及び午前四時十三分高雄發第三十一號車（共に現場に午前十一時頃）より開通し旅客、手小荷物、郵便物共平常通りに復した

基隆で瘧疾豫防宣傳

【基隆電話】瘧疾豫防化デーの二十五日基隆市では午前八時から宣傳隊を乘せた自動車五臺に市衛生係員を始め係者等分乘市內を練り廻つて宣傳ビラを撒布したが二十七日夜[illegible]の合間に宣傳映畫を上映[illegible]一場の講演をも行ふことになつてゐる

女子高等學院で 洋裁の夏期講習

臺北女子高等學院では[illegible]來る七月十一日から十三日まで[illegible]午前八時から十一時まで洋裁夏期講習を開催する事となつた、講習科目は

一、原型製圖　二、各種洋服裁縫　三、洋服の裁方　四、スタイルの鑑定法　五、用布の裁方及び裁斷前の注意

であるが、受講者は洋裁趣味を有する女子、學歷年齡を問はぬ由で締切は七月五日まで、希望者は直接同校に問合せられたいと

あすの天氣

（臺北測候所發表）

地方	天氣
臺北地方	南西の和風晴後曇雨
一區（北部）	南西の和風曇後時雨
二區（東部）	南の和風曇後時雨
三區（西部）	南西の和風曇後時雨
四區（南部）	南の和風晴後曇

概況（廿五日）七六〇粍の高氣壓は小笠原島の南東海上に停留し七五〇粍の低氣壓は本州東方海上にあり東北東に進む模樣、本島は[illegible]沿海は南西の和風若くは[illegible]海上は穩やかであります

各地氣溫（六月廿五日午前十一時）

地名	氣溫	地名	氣溫
恒春	三一度	臺中	三一度
臺東	三一	臺北	三一
高雄	三二	基隆	三〇
臺南	三一	那覇	二八
[illegible]	三〇	鹿兒島	二六
阿里山	一八	長崎	二六
花蓮港	三二	石垣島	三〇

妻エイ儀急病ニテ臺北醫院ニ入院中途ニ死去致候間此段御通知申上候
[illegible]
夫　八木勘一
男　一夫
八木清一
親族總代　中村新吉
神保信
友人代表　富田榮太郎

臺日案內
料金 [illegible]
書籍　月賦販賣 新本特價 古本賣買　畔見書店　臺北市本町貳　文化教育會
醫院　內科 小兒科 X光線新設　小林醫院　臺北大稻埕[illegible]
內地土產　外國產 バイナツプル 桐田商店　臺北榮町新公園前 電話六五六
品質保證　桐田の冷し西瓜　臺北榮町新公園前 電話六五六
寫眞　寫眞器 トウゴーカメラ　臺北市京町二 電話四〇五〇番
明るく安く 設備完備 澤井寫眞館　京町二丁目角 電話貳參五番
レコード　蓄音器月賦販賣　臺北本町二丁目 [illegible]
貴金屬　ダイヤモンドは丸山　臺北新起町 電四四五五
旅館　山一旅館へ　[illegible]驛前 電話[illegible]
徽毒血液檢查每日施行 診察朝より夜十時マデ
泌尿器・性病科 外科・婦人科
田和皮膚科
台北市西門町三 壽小學前 電二九五一番
時計眼鏡　メガネ專門は和田　臺北本町[illegible] 電四五〇番
メガネ專門日光堂　臺北表町二ノ一〇 電二九五七番
染物洗張　ヒヨケテント　新起町[illegible]
雜件　組立式の洋服タンス 月賦販賣　臺北市榮町[illegible] 木工部
特許 商標 弁理士 岸喜鑑　事務所 臺北[illegible]
シデ紐　[illegible] 臺北本町 [illegible]本店
流行品何でも有る店　臺北新起町[illegible]商店
樺山アパート 全洋室で　臺北市樺山町（電話二一三三番）
ベニヤ板各種 卸賣　[illegible]材木店
電話 商品券 賣買 金融　[illegible] 三成社
四十八態　[illegible]一組特價五圓　[illegible]
つめたい 滋養飲料 カルピス

流行歌
リーガル 七月新譜
空は朗らか
海の家
旅の身空
[illegible]
柳の街
燃ゆる思ひ
よさほい
[illegible]
ラ・モナ
スキート・ジエニー・リー
[illegible]
一枚 八十錢
REGAL
コロムビア大衆盤

頭痛にノーシン

伊豆椿 植物ポマード
お見外申す
日本髮だが
近頃流行の
髮ではない
直接に伊豆
椿の香りが
高いですよ
伊豆椿チツク本舗

品質日本一
ヤマサ醬油
景品附
樽に……大形硝子食器
壜に……小形硝子食器
全島發賣元 近藤商會

親鸞聖人 (246)

吉川英治作

山村耕花畫

（嶺上）

女人篇

吉水夜話（二）

翌、つつましく齋をむすんでゐた。然し、この無言はいたづらな怠慢ではなかつた。嘲も罵は出さないが煙のまはりの者はこれで充分に語り合つてゐるのである。じつと、煙の中の美しい瞳に眼を落した儘――。

外には寒架の霜がくる。

冬の夜の訪れが、しきりと、蔀の戸をがたく搖すぶつてゆく「經などのは、壁のあたりがすこし聽られた」

東房が呟くと、煙をかこんでゐる心寂や、弁長や、念阿や、蓮生などの人々が、そつと彼の顔を見まもつて、

「ほんとに」

と云ひ合つた。

錦空は、うなづいて、

「ここにゐて、肥なければ嘘でせう」

「初めて、お見かけした時は、[illegible]てをられた―」

「あの頃の私は、形骸だけでしたから。――今はかうして煙に向つてゐても、涙までが、ほたくと湿るものを感じて來ます」

心寂が、まるくしてゐた背をのばして、

「誰にも、一度はそれがあつたのだ――。わしなども」

恥かしさうに何か回顧する。

「さうく」

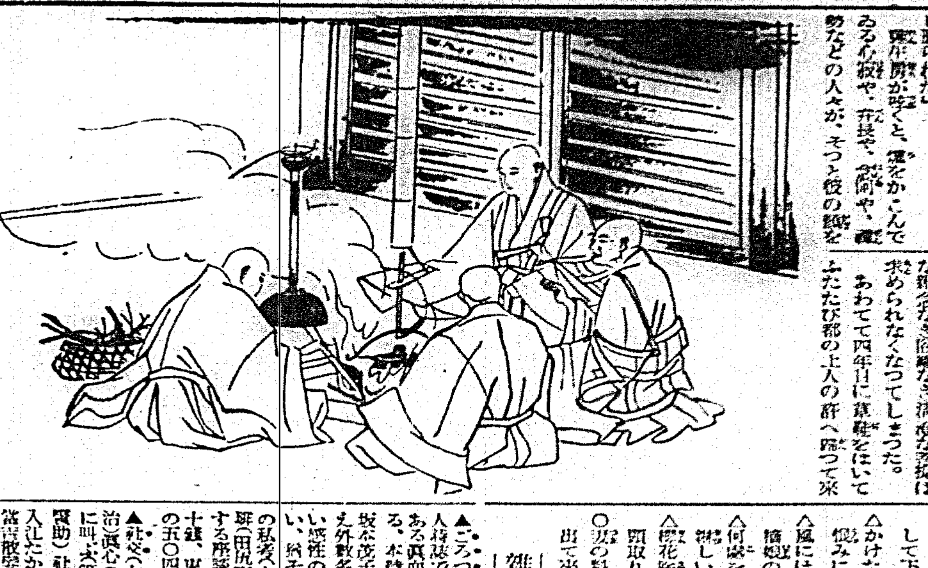
と、念阿がそれを話した。

求菩提の心にもえてゐた頃の心寂には　かういふ俗縁や市塵の中にゐては常に心が亂されて、ほんとの往生安樂には入り難い。――かう彼は考へて、上人に、遁世を願つた。上人はゆるされた。心寂は草鞋をはく時、

（いづれ、再會は淨土で）

と云つて、立ち去つた。

それから彼、河内の讃良にたながれてゐた。そこの富裕な長者の後家が、まことに信心のふかい善尼なので、彼の望みをかなへてやらうと、林の中に、一つの草庵をつくり、食物はとどけるから、思ふさま念佛して暮しなさいと云つた。



心寂は、

（ここぞわが菩提林）

と、鳥の音に心を澄まし、三昧に入つてゐたが、やがて、三年四年とたつうちに、同門の人々はどうしたらうかとか、上人は御無事でをられるだらうかと、やたらに人間のことばかり考へられて來て朝夕、長者の住居から食べ物を運んでくれる小さい子供にまで話しかけてみたくなつたり、雨ふるにつけ、風ふくにつけ、心は、都つて、世間にばかり囚はれてしまつて、まつたく最初考へて來たやうな雜念なき俗縁なき清浄な菩提は求められなくなつてしまつた。

あわてて四年目に草鞋をはいてふたたび都の上人の許へ歸つて來て、面目なげにその由を云ふと、上人は、

（よい旅をなされた。果報があつても、智者でも、離心のない者には、その迷ひは絶らない。菩提へ一足近づかれたのぢやから）

叱られるかと思ひのほか、上人は賞讃されたといふのである。

「いや、そんな背げなしをなされては、面目ない」

と、心寂は、友の話をうち消して笑つた。

俚謡

葉書、句数無制限、何人も投稿し得、宛名は本欄係

△見栄も氣兼もない山住居浮世離れた椿咲き　樫谷　幽鶴

△宿はあるやら夜は巣に歸る鷺を抜け出た小鳥・　虎尾　朋刀

△色に燃えたつ思ひを谷の水に靜めして下り鮎　萬社　山男

△かけた思ひが儚なく消えて殘る惱みに春は逝く　臺北　一天

△風にほんのり茶の香が揺れる茶摘娘の氣揺れる　臺北　小紅

△何處を目當に旅する氣やら影も淋しい二十日月　松山　正[illegible]

△櫻花咲く大日本は世界平和の音頭取り　臺中　蕎の家

○夏の料理もどうやら膝について出て來る一夜酒　臺北　無[illegible]

雜誌紹介

▲ころつちよ（六月號）女性の同人詩誌で、一讀して同人諸氏の詩ある眞面目な精進の態度が見られる。本號は高橋たか子、森本陽子、坂本茂子、竹内てる子、丹塚もりえ外數名の詩が掲載され女性らしい感性の繊細さの見える佳作が多い、猶その外に短評と詩人に就ての私考（小野好子）イザベル色の胴姫（田島宗夫、森原明太郎を中心とする座談會の記等がある（定價二十錢、東京市豐島區雑司ヶ谷町二の五〇四其詩社）

▲社交（七月號）三國主義（野間清治）眞心の社會（面野呼山）小説、曙に叫ぶ（菅原眞）小説、兒孩の唄（桑賀助）社交ダンス講座（山市太平）當世散髪女性列傳（A・B・C）特輯入江たか子取まき物語（松東浪人）實話六篇、ユーモアコント六篇、其他（定價二十錢、東京市京橋區銀座二丁目三社交新聞社）

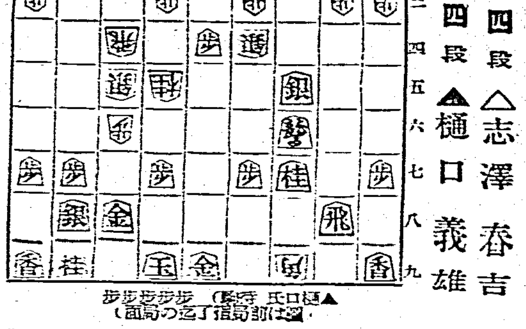
名家敗退將棋（其七）

（志澤氏二回勝三回目）

四段　△志澤春吉

平手先　四段　▲樋口義雄

△志澤氏（持駒）歩



▲樋口氏（持駒）歩歩歩歩歩

（圖は部局指了迄の局面）

▲二五飛△五七桂成▲四九金△三三桂▲三九金△二五桂▲四六銀△三七桂成▲同馬△四五桂

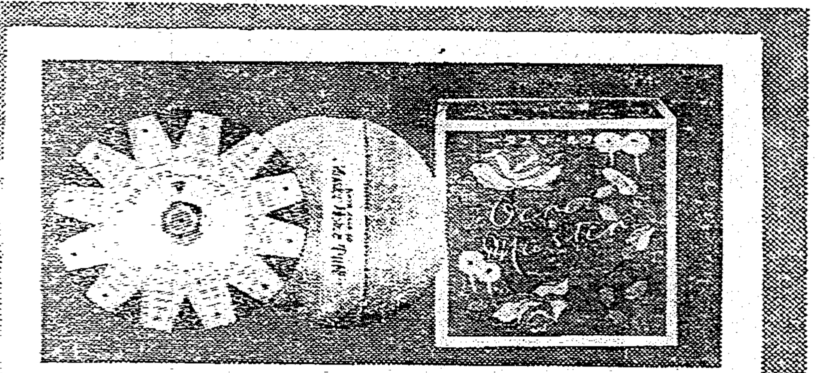
▲樋口四段曰く　二五飛は三八に寄ると五七角成四六銀三五歩二五馬三三桂で飛が敵の目標となつていけない

△志澤四段曰く　五七桂成は角が筋違となつても敵王の形が悪いので確かに勝合は取れる筈です

▲樋口四段曰く　三九金は飛を犠牲にするので非常に苦しんだが實際は慎重く讀むべきでした、四六銀は二三歩と金に當てて二五桂の筋を狙ひたかつたが悪く三五銀と指されて二三歩が同王の頭で自玉に必至がかかつていけない

△志澤四段曰く　四九金で駒の損得に付かぬとは言へ君の方の位は遙かによくなつたと思ひます

◇大崎八段評　樋口君の三九金と角を取つたは此金の寄りの爲に自王の防備が益々悪くなるので宜しくなかつた二九飛と角に當てて辛抱すべきで如何に苦しくとも局面的には利くので太手さるるに二三歩の一手が悪ると讀み違へてゐたもうと思ふ、志澤君の四五桂打は咎むべきではないか六七金打同歩同銀寄で三六歩とされても王には必至である



二重色化粧法！

水の江瀧子

日本女性の顔にピツタリ合ふ黄味がかつた爽かな色味の白粉クリーム**オークル・マスター**を萬遍なく塗けて、目、口の周囲などを軽く拭つてその上へ化粧にエンチ色が少し加つた**ホームパクト**のカカオ色を附けば生々とした自然な二重色化粧がお手軽に出來ます。

洗顔が過ぎると…肌の潤ひを失ひます

マスターコールドの愛用は何時も若さに満ちた艶やかな顔に致します。

マスタークリーム

アブラ汗に悩む夏！

水の江瀧子談

貴女の若々しい艶のある柔肌…この若肌をつくるには外出の前後！お就寝前の數分…あの肌ざわりの柔かな…マスターコールドでお顔と衿を軽くマツサージするにかぎります、そうなされば脂肪や垢がサツパリとれ▲小皺▲シミを防ぎ、何時も貴女の肌は生々とはりきつた若肌…そうです彼氏の心を朗にする柔肌になります。私の大好なコールドを是非皆様にお勧めします。

キ、メ火持の一番よい

安住蚊煙香

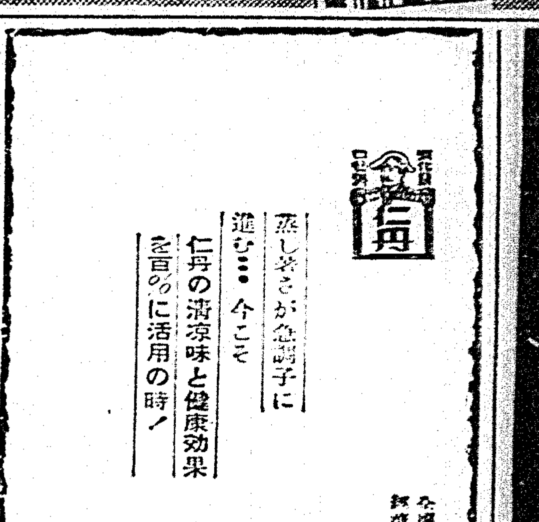
夏の育兒工作

それには先づ世界人類が擧つて愛用する猪印蚊煙香を常に用意し、愛兒に蚊を寄せつけぬ事です。夏の小兒病の大部分は毒蚊による皮膚病、又は皮膚を通して内臓を冒される事から發します　特に本島の特産物たるマラリヤ病菌の媒介たる毒蚊を全滅するには、他の信用なき線香ではダメです。猪印は猛毒な蚊であればある程覿面の殺虫効果を奏しますから、猪印さへ絶さず用ひれば、お母さんは眠つてゐても赤ちやんの身邊に蚊の危險は襲ひません

E—11

本舗　株式會社　安住大藥房

大阪西川區大仁



仁丹

蒸し暑さが危調子に進む…今こそ

仁丹の清涼味と健康効果を百%に活用の時！

全國各藥店各販賣店にあり

經濟的な徳用包が最も好評

三笠松
鳳凰美人
駝鳥印

大正かとり線香

大正除虫菊株式會社

かとりで一番

チキンソース

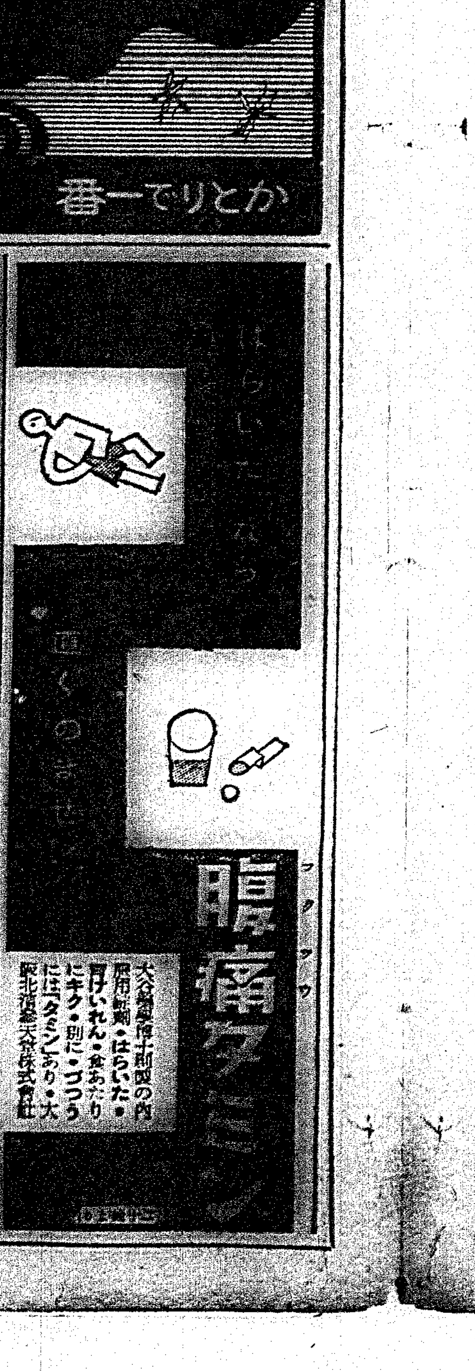
チキントマトケチヤツプ

芳香美味　食慾増進

臺北市　石黑商會

チキンソース株式會社

ノーシン　は胃腸をこわさぬ　頭痛藥



はらいたなら

腹痛タミン

大谷製藥十種類の内服用新劑・はらいた・食あたりにタミン・胃腸に・ゴロゴロ

臺北國民中學開校式
局長知事其他等臨場
將來欲設爲財團法人

私立臺北國民中學。二十五日午前九時。在校舍成淵學校內講堂。舉開校式。深川文教局長。大浦視學官。野口知事。藤田州教育課長。松岡市尹。千葉市教育課長。切田高商。濱武一師。根井二師。高橋一中。小出商業。瀧波工業。宮田二高女。其他小公學長。三好。河村。木村。大澤。陳天來。許智貴。陳其春。陳茂通氏其他贊助員多數列席。一同敬禮後開式。合唱國歌。捧讀勅語。學長堀再平氏式辭。故爲告辭。來賓野口知事。松岡市尹。河村本社長祝辭。保護者總代許智貴氏陳述希望。以當祝辭。設立者鈴木重嶽氏敍禮。十時閉式退場。同校現在二學級。內臺生徒約百二十名。內臺人贊助員八十三名。設立者名義雖係安田勝次郎。鈴木重嶽兩氏。將來欲設爲財團法人云。

臺灣博覽會
全國主任官會議

臺灣博覽會全國主任官會議二十五六兩日。開于總督府。福岡縣白水商工主事先一步船來臺。而京都府會我商工課長外十八名內外地商工主任者。亦搭二十四日入港之朝日丸來臺。博覽會幹部。亦特至基隆候迎。導入臺北榮町事務局。在貴賓室。平塚會長以下副會長。各部長等之間。交敍禮辭。二十五日一同參拜臺灣神社後。在總督府正廳。開關于臺博出品之磋商會云。

事。勸業課長等。以事運動云。

臺北家禽會社
創立總會

昭和家畜會社支配人藥仲城氏。鑑於豚畜已有會社爲買賣周旋機關。而臺北市三十萬人。每年消費鷄鴨諸家禽。不下數十萬隻。尙無會社以爲仲介。因邀同志者數十人。以資金五萬圓。設立臺北家禽株式會社。第一回繳資四分一。來二十六日午後三時。將假江山樓。開創立總會云。

中部一期米
開查定會

中部第一期米查定會。訂來二十八日午前九時。開于臺中米穀檢查出張所。督府有米穀檢查所幹部。及州。市關係者出席。顧本年度。因水害及稻熱病關係。等格像想甚劣。三等米。比前年度按減四成。諸農民非常憂慮云。

中州當局
設產業調査會

臺中州當局。爲期確立州下產業根本的研究。及產業經濟。設立臺中州產業調査會。各市。郡。限至來二十八日。將產業調査事項。提出于州當局。該項目。卽依產業發達。一切生產費。販路擴大。以開發產業。其他資料云。

臺灣帽子會社
內地反對

據日前神戶本社特電。稱神戶帽子輸出組合。以臺中州實業家所計畫之臺灣帽子統制會社。乃脅迫內地商業者生存權者。二十一日開組合總會。協議後可決絕對反對決議文。致電於總務長官。殖產局長。臺中。臺南。新竹三州知

嘉義市尹籌乘合車
經得督府認可
按二月後開辦營業

財團法人嘉義地方振興協會。爰申請認可中。經得督府認可。爲是川添市尹遷任以來。計畫中之市營乘合車。閱一年半。始得實現。該協會係經營主體而市當局。已準備完了。近選任理事。提出法人設立願。及營業線讓渡認可。事業開始願。按二月後。開始事業。右據川添市尹。所談如左。

嘉義地方。在廳時代。行政上。經濟上。產業上等。以一市六郡。完全聯携。自廢廳以來。失了行政中心。市。郡皆不連絡。故欲圖產業。經濟發達。先要整備交通機關。捨此別無方法也。

乘合線路
車賃暫照舊

振興會經營之乘合自動車內容。大體如左。

對嘉義自動車株式會社。及同合資會社。讓受路線（車體一部）。金額七萬圓而州當局。對同會社新路線。考慮其許可。由州知事仲介。嘉義市與前記會社長林抱氏。作成假協定▲路線 一、嘉義大林小梅間（十九哩）二、嘉義。北港間（經由民雄。及月眉者各二十哩）。三、嘉義。竹崎間（二十哩）。四、市內線。五、嘉義白河關子嶺線（十九哩）▲事務所 嘉義驛前。將建臺博特設館。工費一萬二千圓。將來使用該建物▲從業員 運轉手。車掌。事務員。要用多數。對買收社從業員。極力採用之。使不至於失業。▲料金 乘車賃。暫時照舊。俟觀成績後。考慮降價。市內線（現在十錢）。或見降價云。

第一聯隊軍旗
奉持宜蘭
受一般敬禮

臺北第一聯隊軍旗。由旗手谷口少尉。桑名聯隊長。藤重第二大隊長。藤井聯隊副官。軍旗衛兵等保護。去二十四日午前十一時二十九分列車。抵宜蘭驛。受第六中隊出迎。以下士

二名前驅。受沿途整列之三郡下鄉軍。小公學校。農林學校。消防組員。青年團員。各官衙團體其他迎接。一路到營庭安置。午後二時。有三郡下官民有志。及在鄉軍人。農林學校生徒。小公學校兒童青年團員等千三百五十餘名整列。拜軍旗後。舉分列式。次有桑名聯隊長。對小公兒童。就軍旗訓話一場。同三時閉式。又四時半起在公會堂。開軍旗講演會。是日同街各戶。揭國旗。表敬意云。

陸軍豫算六億
陸相且陳增加理由
求首相藏相善處

東京二十五日電。明年度陸軍豫算概算。既如所報可有六億三、四千萬圓。比之本年度四億九千萬圓增加一億三、四千萬圓。然財政當局。不欲增發公債。亦不求新財源。專於本年度程度。罷全歲出。其對陸軍要求。務藉外交工作之力。除去對外不安並以單價切下阻止。陸軍當局。見解如左。

一、現之國際環境實際。其藉外交工作。削除陸軍之讓。暫時不可期待

一、卽於單價。迄今經緻到底難望切下。

一、公債發行。果否比之今日。更得爲之。有研究之餘地。

一、特別會計。繰入一般會計。亦因特別會計之事業。而國防農村。其他事業。而爲檢討緩急之程度。考慮其伸縮性。

現內閣。而不承認國防並農村問題之重要。則農村其要緊急諸部門。竟然措置。不爲犧牲。難籌前記程度之陸軍豫算。二十五日豫算閣議席上。情勢知詞。林陸相。或直陳明年度陸軍豫算不得不增加之見解。求岡田首相。並高橋藏相善處云。

臺北州青教
兩日間在羅東
開研究會

臺北州主催之青年教習所研究會。去二十二及二十三日。開于羅東青年教習所。州有藤川教育課長。關川視學。及各市郡青年教習所主事。指導員。並關係者百三十餘名出席。第一日。卽二十三日自午後七時。參觀羅東青年教習生。學習製作工藝品。唱歌。公民科。算術。讀書及體操遊戲後。有藤田教育課長訓話。第二日。自二十三日午前九時四十分。開研究會。藤田教育課長訓話。小野田羅東郡守敍禮。次研究發表。質疑應答。懇談會。羅東街長述謝。至正午散會。

臺中州下震災地
復興意外急速
中川總督談視察感想

中川總督。爲視察臺中州下震災地復興狀況。搭去二十四日午前八時三十八分臺北發列車南下。至同十一時四十四分。抵大甲受日下知事。辰谷警務部長。滿富大甲郡守等候迎入大甲分室。少憩。受日下知事敍禮。驅自動車。向豐原郡內埔庄屯子脚。於內埔庄役場。由宗滕郡守互二十分。說明復興狀況由是徒步。視察草創式建築之內埔公學校。市街等去四月二十四日。震災直後之慘澹當時。至今觀之草創式店舖。木造日本風家屋等。意外早築。總督殊形喜悅。經屯子脚。向大甲郡清水街。途中往日豪雨。沈下之大甲溪鐵橋及大甲溪橋。亦爲視察。由小山工務課長。就沈下原因。復興工事等。詳爲說明。午後三時十分。較所豫定。延抵清水。於郡役所。聽滿富郡守。說明街內復興狀況。然後視察市街。次經梧棲。沙鹿。途中在大屯郡球少憩。同五時二十分入旅館千代廼家云。

復興急速
低資不要掛意

關此。中川總督談曰。震災至今。恰値三箇月來此觀之。復興意外急速。建物等亦早實現。希照此意氣邁進。低資要求早借。然此希不要掛意。

又就市民熱望之鐵道問題。並不觸及。而就擬鐵道部發表。由線復舊。要三箇年。基于豫算關係。抑基于技術關係等質問。則答爲基于技術之關係云。

對加奈陀
籌發擁護法
委員會決大綱

東京二十五日電。政府對加奈陀。已籌發動通商擁護法。且決定具體最後案。關稅調査委員會特別委員會。二十四日午後二時。開於藏相官邸。協議最近對加邦品輸入防遏國之措置所關之件。而及於通商擁護法發動可否之原則。結果貿易業者田村。主方面委員。力說對加奈陀不法措置。發動該法。全會一致承認。次照幹事會原案。檢討發動勅令案件。決定大綱。午後六時散會。卽一、適用品目 木材。小麥。小麥粉。小麥澱粉。麩。包裝用紙。一、適用課稅 現行輸入稅而外。從價五割。一、適用期限 勅令發布起一年間。但期間中。得以變更。又同勅令案。不特定適用加奈陀一國。凡對邦品輸入。措行防遏之國家。概可適用此點。訂二十六日午前十時。在藏相官邸。開第二回特別委員會確定云。

霞海城隍枷之餘波
由大同促進會提出告訴
崇神會幹部受查問

大稻埕霞海城隍遶境。既如前報。本年因基隆聚樂社。九分義和堂。各擲數千金。來北參加。異常熱鬧。而遶境前之神枷。因崇神會。與海內會。年々暗鬪。至本年。大同促進會。亦投入渦中。另組織擬正會。一神枷擲賽。受神許諾寶枷。故特製數千個分發于市面。崇神會幹部聞知。往訴北署。奈關此神枷。並無有特權關係。不得制止。雖由井上署長數番斡旋。終歸破裂。致本年神枷。由三十錢者。降至爲十錢。會之收入大減。乃數次開會。決議中止中元普施。及放水燈。一面大同促進會。欲清算崇神會惡項。並向北署提出告訴。是故同署亦於秘密裡調査。至去二十四日午前十時。該署高等係。且喚郭。莊二氏。詳細査問。問題如何。大惹世人注目云。

基隆海水浴場
入場二千

基隆孤拔濱海水浴場。市役所經營休憩所入場者。二十

關臺南新樓醫館存廢
南部教徒大會多望存置
廿五日欲再與宣教師會磋商

既報臺南新樓醫館存廢所關。以去二十四朝十時。在東門町基督教會。開臨時南部教徒大會。是日出席之教徒七十五名。合各外人宣教師。醫生等約百名。與劉瑞山。吳純仁。顏振聲。高再德四氏。爲參議員。開會後。潘牧師朗讀會歎。次推高金聲牧師爲議長。由劉忠堅牧師說明宣教師會。對於新樓問題之意見與經過。蓋宣教師會。自四年前。關於彰化臺南兩新樓病院存廢。既有研究。因經費之支絀。欲期其双方竝立。但有未能。幾經熟思。遂有廢此而傾全力於彰化之意。刻今回當局。又有改善命令所費不貲。財源無自。故決欲於最短期中廢之而他去。第因該院。有七十年之歷史。教徒中。多有倡議法存置者。該宣教師會。而欲諮詢南部教徒大會。有可能的之方法。得維持該院與否。會中。群議欲質問宣教師會之可能的程度。是否欲索價若干。於是意見分岐。莫衷一是。乃有倡議改大會爲和會。共相討論者。緣大會會員。爲會規所圄。未能暢所欲言。若和會則可盡情發表。其議成公舉蘇育才氏。爲和會座長。開始討論。衆議多偏於存置。劉瑞山言該院係領臺三十年前創立。無史悠久。現雖醫院。到處林立。該院有存在之必要否。倘有必要。可分部分。出爲鼓舞。亦無不可云々。然該院代價。宣教師會。握有主權。群欲其表示意見。與議渡條件。而該英人宣教師。均未肯明言。或有主張教師會。將醫院無償提供於南部教徒大會者。如彰化新樓之實時。可由南部教徒大會。募資助之。或議今後。仍由教師會。與南大會。有志者合之共同經營。教師會則爲指導。議至正午。猶不能決。暫爲休息。下午一時半再開。甲論乙駁。相持不下。乃有倡言一票以決存廢者。於是大會員七十五名。各就已見投票。結果議存者六十票。中立四。主廢十一。雖主存置者。占大多數。第非再經大會決定。無從爲法。遂先就經營方法。與財源籌備。略有磋商。而宣教師會。非極力交涉。殊難爲力。結局由大會。選出交涉委員十三名。於二十五日。欲與宣教師會磋商。聞該院他開業醫。會議價十萬圓。八萬圓不等。而該宣教師會殊未肯輕易許人。謂如數會欲繼續維持。願減價至萬圓。又諸外人醫師。恐欲遷居彰化云。

有吉大使及梅津司令官
均擬對華聲明方針
有意訂不侵條約

東京二十五日電。華北問題。殆已圓滿解決。察哈爾事件。亦將解決。帝國政府。且乘機謀使日華關係。和好如初。待察哈爾問題解決。有吉大使。及梅津司令官。且各聲明今後方針。並以華北問題。察哈爾問題。我方態度强硬。最近華方遂有所覺悟。恐礙兩國提携之前途。因發聲明帝國政府之對華公正態度。一釋其誤會。外務當局。電飭有吉大使。特於聲明中表明如左。

一、華方先要徹底撿束排日行爲。促進日華友好關係。爲第一要件。

一、回害日華關係。各種懸案。希望解決。

一、日本於全華。準備衝進經濟提携。

而華方於排日。及懸案解決。如示誠意。外務當局決意締結日華滿不侵略條約云。

高商野球團
遠征九州
出席九大野球

臺北高商野球部。與GB戰。帝大。其他各實業團比賽。十五戰中。呈十三勝佳績。近又戰勝全臺中軍。北強豪。誇于全島。乃擬自七月十七日起一週間。爲臺灣代表。出席於福岡縣新香椎球場九大主之西日本專門學校優勝球大會云。

眞珠走私破獲後
更發覺光皮脫換案
被害者欲投水自盡不果

臺南警察署。日前破獲之眞珠走私案。方在審理中。不期更因此發覺另一光皮脫換案。爲是蔡田張兩刑事。於去二十四朝北上搜査證據。緣臺南市港町二丁目。蔡進丙。年三十棄。客年二月間。力勸市永樂町三丁目。李錫成。年三十一者。共同出資。密輸製靴用之光皮。李不知其詐。遂許之。比該走私品。配至臺北某運送店時。蔡則往告白金町三丁目之脫換走私品ㄧ手。楊辰汪。楊以該品。既係走私。如脫換之。渠ㄧ不敢發張。乃與市內寶町二丁目。吳老鵬。年四十。本町四丁目。吳金塗。年三十一者通謀。四人相將往北。由某運送店領出該光皮。而以甘草諸賤價之藥品換之。將該光皮。於臺北。臺中。新竹。彰化等處發售。得財四者均分。蔡進丙爲慮事發。立卽歸來。邀同李弟。往運送店領貨。比李弟。蔡得貨被脫換。値報之餘。將行報官。蔡則以言恫嚇。謂能得罪戾。致李飮泣呑聲。欲投水自盡不果。事至而今。方始發覺云。

製冰機故障

豐原郡石岡庄東豐製冰株式會社。自二三日來。以安拉尼亞壓縮機故障。此間由臺中中央製冰會社。日採入三十枚云。

中國新聞人
與邦人恐慌
藍衣社捕袁氏

上海二十四日電。當地名新聞記者。上海外論翻譯者編輯主任袁道逸（三七）潛通中國機密於日本之故。去五月二十日。爲藍衣社逮捕。數日前。送交吳淞行營。且行銃殺。凡與日本人往來中國新聞人。均大恐怖。但華方恐暴力機關內情暴露。數日前。並將其妻名匿王吳。近亦將銃殺云。

任命社會教育主事
乘機開全島會議
各郡設置指導員

改正地方制度。地方選擧本秋將見實施。關其趣旨之徹底。欲期運用之完璧。一係島氏之公民的自覺及訓練如何。而本島社會教育上。謀公民教育之振興徹底爲急務。文教當局。鑑于此情勢。對現實施中之社會教育施設。加以愼重考慮。並考究以後要刷新改善事項。而于本年度豫算應實施之各州市。任命社會教育主事。新竹臺南兩州。已見任命。其餘至七月末發令。發表後。開全島社會教育主事會議。又社會教育主事之下。直接任一般指導之指導員。豫定設置于各郡。乃期于來年度實現。及其配置數。豫想四五十名云。

德記烏龍茶館
事件解決後
如約交關

經臺北茶商公會手。調停德記洋行。及諸烏龍茶館圓滿解決後。卽如所約。自二十四日起。照常交關茶館一邊。到該洋行賣者凡三四十名。而該發貨成立者。約有九號額。其他多因時價不對而罷云。

術士騙錢
一遇眞警察
無術可脫

新營郡鹽水街番子厝三五九陳胡生。年二十八。到處稱爲術士。云能爲人書符鎭煞。去六月初旬。到嘉義郡水上庄三界埔二三六林高文外數名之處。騙取金錢百餘圓。被郡警察課岩本李兩刑事探知。月二十三日徘徊中。被捕往留置査問中云。

斷袖癖漢
誘豐原美少年
歸彰化行暴

彰化市南門二〇七番地。前科三犯。顏青山。年四十六。變態性慾狂也。附近皆嫉之若蛇蝎。去日午前八時頃。在豐原驛。見豐原街人某甲年十五。風度翩々。卽用甘言密語。誘拐到彰化市自宅。前後數回。乘夜間人靜。潛入其室。以暴力飽其獸慾。某甲乘隙逃歸。將情告其後見人某。卽託代書人作成告訴狀。對顏青山。告訴以猥褻姦行誘拐傷害。向警察署提出于目下由中內廖兩刑事。嚴重調査中云。

神岡小火
灰燼小屋二棟

豐原郡神岡庄。日來爲燒棄震災倒壞家屋之殘餘汚物。不料至去二十三日午後三時頃。風勢急變。逢累燒附近避難小屋二棟歸於灰燼。雖無大損失。而承大震災後。誠亦無妄之災也。

爲震災打擊
豐原商人
叫苦連天

豐原街商人。因今回震災。隣近村落。受莫大損失。一時經濟。極度疲困。交關賑項。不能如意收回。且生理活氣全無。而頂手賑項。則照常催迫。故金融不能圓滑。叫苦之聲。異口同音。就中料理界之影響尤巨。又街當局。發表欲第二回擴張道路。向未見正式告示。其舖不能修繕整頓。又恐條蹉。一般皆戰々兢々云。

貧困華人造蒸籠者
企圖鐵道自殺未遂

去二十二日下午五時五十二分。有北上列車。通過豐原田心逆守。機關手突然發見有欲企圖鐵道自殺之靑年者卽時停車。勇扶入杉車內。送到豐原驛。交該地頂街派出所。査問結果。其人乃係原籍地中華江西縣苑陽。鄭人鄭先。年二十四。係製造蒸籠爲業。流落四處。近因生計日苦。故出此擧云。

新刊紹介

新竹州調停課員謝何昌氏于公務餘暇。編纂臺灣民事爭訟調停申請及强制執行申請書式實例大全。由內田知事題字。三神調停課長校閱。近已刊行。其內容第一編調停。第一章人事所關。第二章家屋所關。第三章船舶所關。第四章土地所關。第五章金錢所關。第六章穀類所關。第七章物品所關。第八章證券所關。第九章雜事所關。第十章其他所關。第二編執行。第一章有體動產。二章債權差押。三章對不動產强制執行。四章就不以金錢支拂爲目的之債權等申請書式。其他搜羅諸契字類聚。內容豐富故如農會。銀行。會社。產組。志士及水利組合。文庫等。有備置必要也。特價二圓五十錢。希望者可向新竹州調停課內謝何昌氏聲明。

彰化

召集訓練

彰化郡警察課。去二十四日午前七時。召集乙種巡查全員。在郡役所構內。受伊藤警務課長及諸幹部。檢閱服裝銃器。然後登上八卦山。開始種々操練云。

活寫好評

本社主催彰化市役所後援。活動寫眞映寫。去二十二日午後一時。開於高等女學校講堂。午後七時。在市公會堂公開。供一般觀覽。前後兩回。各觀客擁滿。又至二十三日。在鹿港公學校映寫。亦博好評云。

無端毆人

目下在彰化市南門。開設中之安立演藝團員。安立八郎。年二十四。與彰化市西門中島洗濯所施媽堆。年三十六。因洋服褲洗濯料金起辭。口角後。用拳毆施。致負傷十日間。目下出署中內廖兩刑事嚴究中云。

會事

▲新營郡白河庄。訂月二十八日上午九時。在白河公會堂招集庄協議會員。公學校長。取締巡查。國語講習所職員及其他等開社會教化委員會。

人事

▲臺北書家曹秋圃氏。由[illegible]崎秀眞及黃[illegible]兩氏執柯。與[illegible]結婚。去二十三日。在大本教分所擧式。

▲市內永樂町怡和商行主[illegible]貴氏。最近爲視察中南部商務。並調査[illegible]狀況。預定數日云。

▲林熊徵氏。二十五日赴[illegible]。觀日本拓殖會社本社。

▲林鶴壽氏。二十一日赴[illegible]。

▲羅東街盧[illegible]氏。[illegible]任命臺灣新聞社羅東出張所長。去二十三日。[illegible]有志。假太平町[illegible]開祝賀會。

商況（廿五日）

米況

正米市況前場

	當限	中限	先限
一期蓬萊米	九、四一	九、二八	九、二五
	四二	二九	二四
	四三	二八	二三
	七五	二七	二四

期米

大阪期米前場

[illegible]

東京期米前場

[illegible]

神戶期米前場

[illegible]

株式

大阪短期前場

[illegible]

大阪長期前場

[illegible]

東京短期前場

[illegible]

東京長期前場

[illegible]

東京銀行實株

[illegible]

紐育株式

スチール株 三三弗八分七

アナコンダ株 一五弗

爲替

外國爲替相場

[illegible]

神戶對外爲替

[illegible]

肥料

[illegible]

シカゴ小麥

七月限 七九仙八分五

九月限 八〇仙四分一

十二月限 八二仙八分五

砂糖

玖馬 [illegible]

爪哇 實糖 二仙四〇

大阪現物

直租 五厘九二仙二分一

六月租 五厘九二仙二分一

七月租 五厘九二仙二分一

八月租 五厘九二仙二分一

九月租 五厘九二仙二分一

大阪淸算

三環（ORB） 一五圓七〇錢

分蜜（M3） 一六圓一五錢

精製（臺） 二二圓五〇錢

同（灣） 二二圓六〇錢

同（日） 二二圓五五錢

耕地白（A叉） 二二圓二〇錢

銀塊

倫敦現物 三一片二分一

同先物 三一片四分三

紐育現物 七〇仙四分一

絲況

[illegible]

廣告

特許　イマヅ芳香油　止便所臭　止臭氣發芳香　目下附景品賣出中

臺灣日日新報
本日夕刊共十二頁
編輯兼發行人　前野鶴若
發行所　臺北市榮町　臺灣日日新報社
本紙一部五錢・一ヶ月前金壹圓參拾五錢・[illegible]
廣告料　[illegible]
振替口座臺灣一〇番
電話　[illegible]

臺日庭球服裝

七月特大號

中央公論

帝展改組の波紋・兒島喜久雄・田邊至・小杉放菴

恐慌渦巻く世界・芦田均・石濱知行・金原賢之助

★「竹」「雨」・横山大觀
★經濟と戰爭・向坂逸郎
★法學者の嘆息・栗生武夫

◇非常時と勞働・末弘嚴太郎

深井英五論・小汀利得

女の安全・今井邦子

◇朝鮮經濟の現段階・森谷克巳
◇ゆうとぴあ見聞記・十一谷義三郎
◇幕末攘夷の社會史的意義・土屋喬雄

◇保險國營論・竹中龍雄

夏宵秘事・宇野千代・竹内逸

◇兵術論・横瀬毅八

農民とファシズム・猪俣津南雄

◇街の經濟學者論・正木千冬
◇夏のヴァラエティー（短篇）瀬川鶴太郎・正夢
◇夏とレコード・野村胡堂
◇蛙の面に膽汁・徳川夢聲
◇時の人（人物評論）清水澄・山本条太郎・清澤洌・宇野千代

★政友會大分友時代の秘話・小泉三申

老子孔子支那民族・長谷川如是閑

◇蒼白きインテリの歌・杉山平助
◇滿洲の國際的對立と資本的對立・木下半治

美術と共に四十年・正木直彦

民族と國家・高田保馬

左團次自叙傳・（批評）前田河廣一郎

◇醜惡都市・大東京・宇木勘助
◇文學者としての逍遙先生・正宗白鳥
◇新詩發生時代の思ひ出・土井晩翠

新黨樹立運動の展望　馬場恒吾・山浦貫一・[illegible]

鈴木總裁論・馬場恒吾

◇山陰の自然美……伊藤正德
◇喫煙學入門……長濱庫吉
◇法律相談……末弘嚴太郎
◇無題……林春雄

電柱下の屍體・林義雄
刺青・福士政一
鬼狐漫談・藤枝丈夫
流線型女人風景・サトウハチロー
美妙と紅葉・本間久雄
◇聲と音樂……[illegible]
◇熱帶魚ラヴシーン・齋藤義政

鴨長明・佐藤春夫
樂天家・北川冬彦
第二の更年期・片岡鐵兵
鬼になる眼・尾崎士郎
夜明け前・島崎藤村

災難雜考・吉村冬彦

特價壹圓

東京丸ビル五五 中央公論社 振替東京三四

北支事變の眞相
（在天津）中野梧一・太田正孝・中保與作…

醫學的に觀た
夫婦和合型
安田德太郎

安心して買へる良書中の良書. 滿鮮台灣に限り二割乃至五割引の大サーヴィス！

日本評論社 廿周年記念

名著大特賣

特賣期間 自六月十五日 至七月十日 〆切嚴守！

讀本シリーズ

著者	書名	定價	特價	體裁頁
穗積重遠	改訂民法讀本	一・〇〇	・八〇	△二五〇
太田正孝	再改訂經濟讀本	一・〇〇	・八〇	△一八〇
尾崎行雄	政治讀本	一・〇〇	・八〇	△二〇四
小川太一郎	航空讀本	一・〇〇	・七五	△四〇〇
平田晋策	陸軍讀本	一・〇〇	・八〇	△三九八
平田晋策	海軍讀本	一・〇〇	・八〇	△三八八
山崎覺次郎	貨幣讀本	一・二〇	・九〇	△二〇〇
松井茂	警察讀本	一・〇〇	・八〇	△四六〇
渡邊萬次郎	金融讀本	一・五〇	一・二〇	△二八〇

財政・經濟

著者	書名	定價	特價	體裁頁
高田保馬	經濟原論	二・五〇	二・〇〇	△三四〇
高田保馬	經濟學	一・〇〇	・八〇	△二四六
土方成美	經濟學總論	二・〇〇	一・五〇	△五四〇
小泉信三	經濟原論	一・五〇	一・〇〇	△四〇五
河田嗣郎	經濟學原論	一・五〇	一・〇〇	△二四四
高木友三郎	厚生經濟論	・八〇	・五〇	△三〇二
水野祐吉	百貨店經營學	三・〇〇	二・一〇	△四五〇
土方成美	國民所得の構成	三・〇〇	二・一〇	△四〇〇
上田貞次郎	世界恐慌	一・五〇	一・〇〇	△三八三
蠟山政道	賠償問題	一・五〇	一・〇〇	△二七〇
増井光藏	世界恐慌とブロック經濟			
生島廣治郎	世界經濟論	・八〇	・五〇	◎三一八
内田武男	ブロック經濟論	・八〇	・五〇	◎二六八
[illegible]	マルクス經濟學	一・五〇	一・〇〇	△四四六
シュラニ・ウンゲル	現代經濟學說觀	三・五〇	二・八〇	△五一二
上田貞次郎	株式會社論	・七〇	・四〇	◎一三六
本位田祥男	歐洲經濟史	一・五〇	一・〇〇	△四三九
高橋誠一郎	經濟學史	一・五〇	一・〇〇	△四七九
本庄榮治郎	改版日本經濟史概說	三・〇〇	二・四〇	△四四七
本庄榮治郎	改版日本經濟史文獻	七・〇〇	五・六〇	△九一四
本庄・黑正	日本經濟史	一・五〇	一・〇〇	△三七七
アルフレッド・アモン	本邦貨幣制度改正論 限界效用學說史	一・五〇	一・〇〇	△五一八
荒木光太郎	貨幣制度概說	五・〇〇	三・五〇	△七五〇
牧野輝智	貨幣學の實證的研究	三・八〇	三・〇〇	△五一六
深井英五	增訂通貨調節論	三・五〇	二・八〇	△五八六
東大經濟學會	インフレーションの理論	一・二〇	一・〇〇	△三三六
フィッシャー	リフレーションの基礎理論	一・〇〇	・七〇	▽二四七
牧野輝智	金融論	一・五〇	一・〇〇	△四八三
向井鹿松	綜合取引所論	五・〇〇	四・〇〇	△七二二
小島昌太郎	保險學要論	一・五〇	一・〇〇	△四二七
小島昌太郎	交通經濟論	二・五〇	二・〇〇	△二八〇
小島・增井	工業政策・交通政策	一・五〇	一・〇〇	△五一一
松井春生	經濟參謀本部論	・八〇	・五〇	◎三一八
大藏公望	日滿統制經濟論	二・〇〇	一・六〇	△二八二
高木壽一	戰時財政論	・八〇	・五〇	◎三二〇
林癸未夫	社會問題各論	一・五〇	一・〇〇	△三三四
上田貞次郎	最近商業政策	二・五〇	二・〇〇	△三三〇
上田貞次郎	商業政策	一・五〇	一・〇〇	△三五四
菅野和太郎	日本商業史	一・八〇	一・五〇	▽三六六
堀江保藏	我國近世の專賣制度	二・五〇	一・五〇	△四〇〇
谷口吉彦	商業組織の特殊研究	五・五〇	三・二五	△九八二
内池廉吉	商業問題	一・五〇	一・〇〇	△三九二
河田・永井	土地經濟論・人口論	一・五〇	一・〇〇	△五〇四
那須皓	農業政策	一・五〇	一・〇〇	△四三〇
馬場敬治	經營學方法論	三・五〇	二・八〇	△四七七
メレロウィッチ	經營經濟學總論	二・〇〇	一・六〇	▽三九六
馬場敬治	經營學の基礎的諸問題	三・五〇	二・〇〇	△三三八
馬場敬治	技術と經濟	一・〇〇	一・〇〇	△四八六
高瀬莊太郎	會計學	一・五〇	一・〇〇	△四二四
汐見三郎	統計學	一・五〇	一・〇〇	△四一五
田村市郎	經濟統計學	二・五〇	二・〇〇	▽四六一
池田英次郎	原價と操業率	一・八〇	一・二〇	△二三四
岡崎文規	農業統計問題研究	二・五〇	二・〇〇	△三七三
猪間驥一	世界經濟圖表	一・五〇	一・〇〇	△四〇七
神戸正雄	財政學	一・五〇	一・〇〇	△二三一
呉文聰	信託經濟論	六・五〇	五・〇〇	△八八八
宇野木忠	[illegible]所經濟學	一・二〇	・六〇	▽二九二
矢野・白馬	日本國勢要覽 昭和八年版	一・〇〇	・八〇	△四二四
谷口吉彦	百貨店連鎖店小賣店問題	一・五〇	一・二〇	▽三〇四

法律

著者	書名	定價	特價	體裁頁
小野清一郎	法律思想史概說	・七〇	・三〇	◎一四八
高柳賢三	法律哲學	・九〇	・六〇	◎一二六
立作太郎	平時國際法論	五・五〇	四・五〇	△七四四
立作太郎	戰時國際法論	五・〇〇	四・〇〇	△六六二
立作太郎	時局國際法論	四・〇〇	三・〇〇	△五〇五
末弘嚴太郎	民法雜考	一・八〇	一・五〇	▽二八〇
末弘嚴太郎	法窓雜話	二・五〇	二・〇〇	▽四五五
末弘嚴太郎	法窓漫筆	二・〇〇	一・六〇	▽四〇〇
末弘嚴太郎	法學入門	一・五〇	一・二〇	▽二二〇
穗積重遠	判例百話	二・〇〇	一・六〇	▽三八八
穗積重遠	有閑法學	二・〇〇	一・六〇	▽二〇〇
勝本正晃	法學挿話	二・〇〇	一・五〇	▽四三〇
大平久	法律相談	二・〇〇	一・五〇	▽四四五
平田慶吉	損害賠償責任論	二・八〇	二・〇〇	△三〇八
清水文	社會保險要論	二・三〇	一・八〇	△三〇〇

社會

著者	書名	定價	特價	體裁頁
土田杏村	社會哲學	一・〇〇	・七〇	◎一九七
小松堅太郎	社會學概論	一・〇〇	・七〇	◎二二〇
下條康麿	社會政策の理論と施設	六・〇〇	四・〇〇	△六七二
山口正	社會事業研究	三・〇〇	二・四〇	△四二四
小松堅太郎	社會構造の理論	三・五〇	二・八〇	△五〇九
河合榮治郎	書齋の窓から	一・二〇	・九〇	▽三二〇
河合榮治郎	大學生活の反省	一・八〇	一・三〇	▽三四二
本位田祥男	消費組合運動	三・八〇	二・八〇	△六〇〇
本位田祥男	協同組合論	一・〇〇	・七〇	◎二二二
J・J・ダヴィット	阿片	三・〇〇	二・一〇	△四四二
杉村楚人冠	饑[illegible]吟	・九〇	・六〇	◎三一四
本位田祥男	歐洲に於ける農村協同組合	三・〇〇	二・一〇	△三八六
澤村康	ロシアの協同組合	三・〇〇	二・一〇	△三七八
山崎勉治	日本消費組合運動史	三・〇〇	二・一〇	△四二〇

政治・外交

著者	書名	定價	特價	體裁頁
美濃部達吉	憲法と政黨	一・五〇	一・二〇	▽二四二
美濃部達吉	議會政治の檢討	三・〇〇	二・四〇	▽六〇〇
茂森唯士	日本と蘇聯邦	一・五〇	一・〇〇	▽三三〇
河合良成	國家改造の原理及其實行	一・〇〇	・五〇	△三三〇
齋藤隆夫	革新運動及び革新論を戒む	・五〇	・二五	▽一一〇
尾崎・田川	銀行國營論	一・八〇	一・〇〇	△四〇〇
信夫淳平	滿蒙特殊權益論	三・〇〇	二・一〇	▽五六三
國際聯盟事務局	國際聯盟日支紛爭調査委員會報告書	一・五〇	・七五	△二五〇
平貞藏	滿蒙移民問題	一・五〇	一・〇〇	▽二四二
中平亮	大亞細亞主義	一・二〇	・六〇	▽三三二
池田秀雄	滿洲統治論	二・五〇	二・〇〇	▽五一八
三浦悦郎	生氣躍動する產業朝鮮	一・〇〇	・六〇	▽三一〇
鶴野金政	赤露脫出記	一・五〇	・九〇	▽四一二
下村宏	日本の行くべき道	一・二〇	・六〇	▽三四〇
戸澤鐵彦	政治學概論	一・五〇	一・〇〇	△三二四
五來・蠟山	政治思想	一・五〇	一・〇〇	△三二二

農業

著者	書名	定價	特價	體裁頁
本位田祥男	農村更生の原理	・五〇	・三五	◎一二二
賀川豐彦	農村社會事業	・五〇	・三五	◎一九八
小平權一	農業金融と農家負債整理	・五〇	・三五	◎一九六
永田稠	農村人口問題と移植民	・五〇	・三五	◎一三四
千石興太郎	產業組合の諸問題	・五〇	・三五	◎一七四
南崎雄七	農村の衛生と醫療	・五〇	・三五	◎一五四
永井治良	農林業經濟	・五〇	・三五	◎一二八
關屋龍吉	農村社會教育	・五〇	・三五	◎一二六
東浦庄治	農業團體の統制	・五〇	・三五	◎一〇二
東畑精一	農産物價格統制	・五〇	・三五	◎一二二
田澤義鋪	農村更生と青年教育	・五〇	・三五	◎一一四
有働良夫	耕地整理と土地改良	・五〇	・三五	◎一二二
[illegible]慎之介	蔬菜園藝	・五〇	・三五	◎一三六
[illegible]全	造林と山村の副業	・五〇	・三五	◎一一〇
高橋・坂口	農產製造の原理と實際	・五〇	・三五	◎一二四
[illegible]全	木材と木炭	・五〇	・三五	◎一一八
村上龍太郎	我國の畜産	・五〇	・三五	◎一三六
岡田溫	農村更生の原理と計畫	・五〇	・三五	◎一八二
今和次郎	農村家屋の改善	・五〇	・三五	◎一二二

文學・隨筆

著者	書名	定價	特價	體裁頁
評論社編	新作三十三人集	一・三〇	・五〇	△六〇八
高田保馬	歌集ふるさと	一・二〇	・六〇	▽一九四
下村海南	歌集白雲集	一・五〇	・七五	◎二四〇
[illegible]	[illegible]	二・〇〇	一・〇〇	▽三九〇
西部平太	スキーツアー行記	二・〇〇	一・〇〇	▽四四〇
水上瀧太郎	貝殼追放	二・〇〇	一・〇〇	◎五三〇

現代法學全集

菊判上製三五〇—四〇〇頁　定價一圓五十錢
特價一圓二十錢　全卷揃四十圓

項目	著者	掲載卷數
法學入門	穗積重遠	1 2
憲法	上杉愼吉	1 2 3
行政法	野村淳治	1 2 3 7 14 28 29 37
刑法	瀧川幸辰	10 27 25
刑事訴訟法	小野清一郎	5
國際公法	立作太郎	5 6 16 17 18 19 25 26
國際私法	山田三良	20 22 23 24 36 39
民法（總則・物權法前半）	我妻榮	1 2 3 4 20 21 22 29 30 31
民法（物權法後半・擔保物權）	末弘嚴太郎	5 6 7 8 9 10 11 12
民法（債權總論中事務管理）	三潴信三	4 10 11 12 13 14
民法（事務管理・不當利得・不法行爲）	我妻榮	34 37 38
民法（親族法相續法）	穗積重遠	20 21 22 27 28 31 32 37
商法（總論）	竹田省	31 33
商法（商行爲法）	竹田省	35 39
商法（會社法）	松本烝治	13 14 15
商法（保險法）	青山衆司	21
商法（手形法）	田中耕太郎	6 7 8
商法（海商法）	烏賀陽然良	26 27
民事訴訟法	菊井維大	15 16 17 35
訴訟手續法	大森洪太	30 31 32 33
破產法・强制執行法・和議法	加藤正治	18 20 22 27 26 37 38 32
法律學概論	田中耕太郎	31 32 33 34 35 36 38
法律講話	牧野英一	1 25 29 30 31
法學問答	末弘嚴太郎	1 2 3 4 5 30 31
判例小話	穗積重遠	3 15
勞働法	孫田秀春	1 2
鑛業法	平田慶吉	18
農業法	野間海造	24 29 30 31 33 35 37
山林法	園部一郎	6
漁業法	石黑武重	30 33 34 35 36
陪審法	大森洪太	34
著作權法	榛村專一	29 30 32 33
出版法・新聞紙法	榛村專一	31 36 33 34 35
調停法	穗積重遠	38
不動產登記法	杉之原舜一	19
衆議院議員選擧法	宮澤俊義	15
地方自治制	杉村章三郎	3
海法	松波仁一郎	16
治安維持法	三宅正太郎	47 33
暴力行爲等處罰法	池田克	4
行政裁判法	美濃部達吉	9
特許法・商標法・實用新案法・意匠法	安達祥三	31 32 34 35 36
信託法・信託業法	三淵忠彥	24
取引所法	岸信介	23
銀行法	入江昂	17 19
稅法	星野直樹	23
保險業法	南正樹	25
產業組合法	孫田秀春	28
電話に關する法律	藤原保明	7
裁判所構成法辯護士法	長島毅	12 5
競賣法	岩松三郎	32 37
非訟事件手續法	中島弘道	12
少年法	岩村通世	5
會計法	廣瀨豐作	11
社會行政	藤野惠	25 29
土地收用法	武井群嗣	25

農業大辭典

編輯責任者　鈴木梅太郎・佐藤寬次　他十一博士
上下二卷　四六倍判　定價各卷拾貳圓五拾錢
全卷揃特價十八圓・一冊十[illegible]

金融大辭典

東大教授　山崎覺次郎　監修
[illegible]爪明男　編輯
菊判四六倍判各卷約八百頁　全八冊　全卷揃定價三十[illegible]

朝鮮台灣滿支各地書店で特價販賣致します。最寄書店不便のお方は直接御申込み下さい。振替口座東京一六番を御利用の上本社へ

東京京橋三十間堀[illegible]
電話京橋[illegible]
振替東京一六

日本評論社

●商號變更公告
株式會社臺灣新報社ハ昭和拾年六月拾日各株主ノ同意ヲ得[illegible]
●國際通運株式會社[illegible]
右昭和拾年六月貳拾四日登記
臺北地方法院

●株式會社國際通運[illegible]
右昭和拾年六月貳拾四日登記
臺北地方法院

株式名義書換停止公告

當社定款第二十七條ニ依リ[illegible]昭和拾年六月[illegible]
臺灣銀行

臺灣銀行ニ於テ發行券[illegible]
自昭和十年六月十六日
至昭和十年六月二十一日
[illegible]
昭和十年六月二十四日
臺灣銀行

第貳拾參回決算報告

（自昭和九年五月壹日 至昭和拾年四月參拾日）
[illegible]
臺灣軌道株式會社

右ノ通リニ候也
（昭和十年六月二十三日總會承認）

大阪商船

●基隆出帆
神戸行
門司
福州上海行
厦門・香港行
福州厦門行
大連天津行
鹿兒島・長崎・博多・北鮮行
沖繩行
蘇澳・花蓮港・新港・臺東行
比律賓行
南洋行
西貢・盤谷行
[illegible]

●高雄出帆
馬公行
香港・廣東行
東京直行
其他船便多數アリ
臺北電二八五〇

近海郵船

基隆出帆
門司神戸行
朝日丸　六月廿九日午前十時發
吉野丸　七月三日午前十時發
大和丸　七月八日午前十時發
大連仁川行
岐阜丸　七月一日午前十時發

辰馬汽船

宮殿丸　七月上旬基隆發
桐葉丸　六月下旬基隆發

大連汽船

基隆出帆
内地行
大連直行
河北丸　六月廿六日午前十時發
山東丸　七月六日午前十時發
山西丸　七月十七日午前十時發
代理店
丸一組
[illegible]

臺灣に於ける習俗改善問題
教化機關の實行力に期待す

一

臺灣に於ける舊慣打破、習俗改善の要も隨分久しきに亘るが、長年月の慣行は頗る根強い力を持つて居て、臺灣の社會を全般的に觀て容易に古來の陋習から未だなほ脱却しさうにもない事は遺憾である、特に婚姻に關する聘金制度の如きは夙に識者によつて繰返し其の改善乃至廢止の件が強調されつゝあり、又之に對する社會教化事業も相當見るべきものがあるのであるが、聘金を全然廢止して婚姻を行ふ者は九牛の一毛に過ぎず、斯くの如きは今日なほ珍らしい事例とせられるのである、即ち聘金は大多數の本島人社會に於ては依然婚姻上必須の要件として存在して居る。

二

聘金制度が本來の儀禮としての意義を殆ど全く喪失し、妻を娶る上の對價たるの觀を呈し、賣買上の一の人身賣買に近きものとして人道上に於て非難せられ、排撃せられなければならぬ事の外、此の慣行の爲めに如何に多くの弊害を醸しつゝあるかを觀るときに於て社會の秩序の爲めにも、其の改善の實行の急務なるを思はなければならぬ、相手方の要求する聘金無き爲めに、自己の望む結婚を爲し得ずして自殺の途をえらぶ青年男女の例は最近頗る目につくが、聘金すらも出せぬ程の經濟能力では結婚の資格なく、自ら死を求めるのは愚者だといふが如き嘲りは餘りに酷に失するのであらう、聘金を獲得せんが爲めに勤勉貯蓄の風を生ずるといふ事があるにしても人身賣買が勤勉貯蓄を奬勵するといふのは聊か奇觀である。

三

更に聘金の爲めに結婚を阻まれて或は人を殺傷し或は放火する等怨恨の爲めの犯罪が屢々起るのは敢て珍らしくない程の有樣である斯うなつて來ると當事者だけの問題に留まらない、而して斯くの如く諸種の悲劇や不祥事を發生するに至らずとも聘金による所謂金婿りの結婚なるものが其の結果に於て好ましからざる事態を招致するは寧ろ當然である、大多數の青年男女は聘金制度の弊害を知悉しながら、なほそれが結婚をなす上に於て絶對に必要な儀禮であり、社會慣行となつて居る現狀に於ては之を無視し得ないわけである。不合理な習慣を墨守して動かないところの頑迷な社會層に對して先づ何等かの方策を講じなければならないのである。

四

如何に不合理なものであつても如何に弊害多きものであつても長年の慣習となると何それを知りつゝ容易に之を打破し得ないのは通常の事で、聘金制度の改善の如きに就いても臺灣に於ける社會教化事業の無力のみを非難するのは失當であるけれども、一般の青年男女が聘金の廢止を切望してゐる今日、全島的に組織化された社會教化網を總動員して强力なる實行に進めば聘金の廢止の如き必ずしも困難ではない、而して斯くの如き問題は個々の個人間に於ては其の改善は至難である。

五

最近、部落振興會が全島各地に起りつゝあり、社會教化事業に對する貢獻見るべきものがある事は喜ばしい現象である。社會事業協會を中心として此の機關が完全に普及され、よき指導の下に活かさるるに於ては聘金問題の如き一朝にして解決し得られるであらう、本島に於ては打破さるべき習俗の代表的なものとして、聘金制度を擧げたのであるが、其の他冠婚葬祭を始めとして日常の習俗慣行にして改善を要するものが多々ある。昨年を以て臺灣には教化團體聯合會成立し、社會教化の縱の組織は大體に於て確立されたのであるから、更に地方教化網を普及し、彼是よく連絡協調し以て活潑な實行に入るべき時だ、舊來の陋習依然たる間は臺灣の社會は文化社會とは言ひ難いのである。而して臺灣に於ける教化事業は皇國の民としての精神の體得を基本とする、斯くして今日の文化に目覺めしめ舊來の陋習を脱して良風を振作する事は實に臺灣の社會を明朗ならしめ、其の堅實な發展に資する所以である、此の點に於て教化機關の熱意と强力な實行を要望致さねばならぬ。

豫算分捕をやめ 新規經費は少く
昨日閣議で決定した
明年度豫算編成方針

【東京二十五日發】明年度豫算編成方針を決定せる二十五日の定例閣議は既報の如く午後二時十分より首相官邸に於て開會、先づ高橋藏相より昭和十一年度豫算編成方針を朗讀し、更に詳細説明を加へた後、林、大角、後藤、山崎、內田、兒玉の各閣僚と高橋藏相との間に別項の如き質疑應答あつて全閣僚異議なく昭和十一年度豫算編成方針を左の如く承認決定した

我國財政の運用狀況に今後相當の期間每年多額の公債發行を必要とする形勢なるをもつて、各相はこの非常時財政の狀態に鑑み所管政務の立場に偏せず、全面的に事物の前後緩急を酌量し依つて以つて豫算の編成に一致協力し、公債發行の增加を避くるの緊切なるを念とし、努めて左記の方針に準據すること

一、各省は財政の全局を考へ、國務の緩急を較量するに充分なる考慮を拂ひ、豫算編成に協力すること

二、昭和十一年度豫算において新たに發行すべき公債の額は昭和十年度豫算における歲入の自然增收見込額を目安としてこれが減少を計ること

三、近來特別會計には歲入の狀況良好にして經理上比較的餘裕を存し、爲めに一般會計との間に新規經費の計上等に就ても彼此均衡を失せんとするものあるに顧み、一般及び特別會計相互間の調整に關し適當なる方策を講ずること

四、各省新規經費の要求は眞に緊急已むを得ざる事項のみに限り且つその金額を出來得る限り小額に留むること

各省は既定經費の節約をなすとともに收入あるものはその增收を圖り、新規經費の要求は出來得る限りこれにその財源を求むること

臨時部の既定經費にして努め年限を短縮せざるものに就ては特に此際再檢討を遂ぐること

各特別會計豫算に就ても該會計上の情況に應じ大體右に準ずること

五、各省歲入歲出概算は昭和十年七月三十一日限り、各特別會計の概計は昭和十年八月二十日限り之を提出すること

陸相、伏線を張る
藏相と各大臣との應答

【東京二十五日發】豫算閣議で行はれた藏相と各大臣間の質疑應答左の如し

林陸相　編成方針の大體に就ては諒承するが、明年度豫算總額を大體本年度豫算總額に目標を置からとするのか、陸軍費は海軍とも相當の額を要すると思ふから軍事費の査定に當つてはこの點を考慮されたい

と暗に陸軍豫算の膨脹必至として伏線を張り、大角海相も同樣明年度豫算において海軍豫算の增額の已むを得ざることを力說し、これに對し

藏相　大藏省としては決して無理を言ふ考へはない、然し軍部に於かれても國家財政の全面的見地に立つて考へて貰ひたい

內相　自然增收は如何なる方面にあるか

藏相　所得稅、取引所稅等に於いて相當自然增收が見込まれる

遞相　所得額から見れば商工業に就ては昭和八年度は漸く昭和四年度の程度に回復を見せてゐるが、然し農業方面はその程度に達して居らぬこの趨勢から見て明年度豫算編成に當つては特に町村豫算に留意して戴きたい

內相　數字に現はれた預金の增加は必ずしも地方に於ける經濟資力の增大を意味しない、從つて地方施設に要する豫算に就ては單に預金の點のみから考へずに眞に經濟資力に相應する樣にすることが必要と考へる

藏相　平穩同感である、何事も民力を基礎とせねばならぬ公債政策、抑制政策等も然りである

內相　豫算編成方針で見ると各省共自ら斷つて行かねばならぬといふ樣に受取れるが、併し自ら斷はれぬ省に就ては藏相は如何に考へらるるや

藏相　何でも各省自ら斷ふと言ふのではないが、明年度豫算編成では國民とともに擧國一致の精神でこの難局を突破して行くといふ信念で進まれたい

陸相　七月三十一日までに豫算の概算を出せといふ話であるが陸軍では關東軍、參謀本部等の關係もあるので例年の樣に多少遲延するやも知れぬ、この點は諒とされたい

藏相　豫算成算には事務當局と打合せ出來得る限り[illegible]て貰ひたい

鐵相　一般會計特別會計相互の調整と言ふのは鐵道收益を繰入れや補充金の減額に關することと考へるが如何

藏相　その通りである

拓相　外地の會計に就ても藏相の趣旨に副ふ樣努力する、唯將來それが效果あらしむる樣に注意して戴きたい、又査定が內地豫算の査定より遲れるから成るべく早く査定して欲しい

藏相　尤もと考へる

陸相　首相に對し將來新財源を生み出す研究を審議會等で根本的にやつて欲しいと思ふ

首相　陸相の御意見は至極尤もである、近く研究する樣にしたいと思ふ、唯その事に就て結論を得るまでには慎重に研究を要するので相當の期間を要すると思ふ

特別會計を調整
官吏の待遇改善に關する經費は計上されぬ樣希望
談話の形式で藏相が聲明

【東京二十五日發】高橋藏相は二十五日閣議後談話の形式で聲明をなした

一、現時我國の財政は非常なる難局に當面して居るのであるが、この財政を惡化することなく持續して行くことはこの際國家のため特に必要のことと思ふ、昨今の樣な財政非常時においては各相はその所管のことを考へると同時に國政の全般財政の全局を考へて互に豫算編成に協力するの必要がある譯である、この意味において特に右の趣旨を[illegible]して各閣僚の諒解を得た次第である、明年度各省の豫算の要求は二十八億とか二十九億とか云ふ大なる額に上り、前年の要求額が十三億とか十四億とか云ふ巨額に達するのであるが、[illegible]の財政情勢[illegible]歲入額が八億[illegible]普通歲入の不足[illegible]三億[illegible]、[illegible]の財政狀態では到底之を容れ得ない

二、最近における[illegible]その他の收入狀況は相當良好で、昭和八年[illegible]の自然增收を見つゝあり、昭和十一年度豫算においても引續き相當の自然增收を見込み得るものと考へられるが、何分現在歲入の不足に苦しく巨額に上つて居り、それに[illegible]急激なる減少を望むことは不可能であるから明年度も多額の公債發行を繼續しなければならぬ、明年度に發行さるる新規公債の額は昭和十一年度豫算における自然增收の見込額を目安としてその金額を昭和十年度の豫算より減少を[illegible]ることとした、右の趣旨に[illegible]も決して豫算總額に縮小されるものではない

三、特別會計の歲出は一般會計の如く國防費その他諸局の要求による特殊の[illegible]が甚だ[illegible]いので經理上相當の餘裕を存するに至り自然新規の經費も隨分に計上出來る情勢にある譯であるが、されば[illegible]その餘裕あるに任せて經費の要求を認めることとなれば一般會計の窮迫な必要な經費も容易に計上出來ないものとの間に著しく不均衡を來すこととなる、元々一般會計の外多くに特別會計を設けた[illegible]あつて、大藏省[illegible]特別會計[illegible]ないのであるから、その[illegible]い、そこで[illegible]を考慮することと致した譯で[illegible]

四、各省の既定經費に就ても既にその必要の[illegible]くなつたものもあらうと思はれるので、既定經費[illegible]その具體的方法については今後研究の上[illegible]協議する

[illegible]

北支の立役者

關東軍よりの招電に依り東京打合せのため來京の酒井北支駐屯軍參謀長は磯谷武官、松井特務機關長と同道北支、チャハル問題の現地案を携行、十七日[illegible]東京[illegible]出頭した（寫眞は[illegible]酒井北支駐屯軍參謀長、[illegible]松井張家口特務機關長（於：大和新館））

遞、鐵、拓の三相も承諾
特別會計の調整

【東京二十五日發】閣議において明年度豫算編成方針に關し特に一般會計及び特別會計間の調整を計るため適當な方策を講ずる必要あることを提示したが、その具體的方策として考慮されてゐるものは、

一、[illegible]の純益を一般會計より[illegible]

一、鐵道特別會計より一般會計繰入金の繰入

の方法で[illegible]內田[illegible]兒玉[illegible]三相は今年度同樣鐵道特別會計より[illegible]繰入れの件を率先承諾したが、繰入額を今年度同樣千五百萬圓となすか否かは事務當局において研究の上決定することとなつた

吾々の主張と全く合致
民政小川氏談

【東京二十五日發】民政黨幹事長小川鄕太郎氏談　政府の明年度豫算編成方針並に高橋藏相の聲明は共に財政を堅實にする根本方針を示したもので、飽くまで玆に基礎を置き、この範圍內で各省に協力を求め公債を漸減して財政の信用を維持して行かうといふ譯で吾々の平素の主張と全く合致してゐる

何等の新味なし
政友會大口總務談

【東京二十五日發】政友會總務大口喜六氏談　政府の明年度豫算編成方針を見るに何等の新味がない、國內公債漸減にせよ、各省の豫算[illegible]の緊縮を計ることは當然で、それが果して實行出來るかどうかが問題なのである、財政を健全ならしむるため歲入歲出の均衡を得ようとするならば赤字の出てゐる今日としては歲出を減じ得るか歲入が增し得るかこの二つでなければならぬと思ふが、歲出において最も大きいのは軍事費である、これが減ぜられぬとすればどこで減ずるか、又歲入において增稅も郵便料金値上げもせぬとすれば其他において果してどれだけの增收が出來るか大概判り切つてゐる、これでは產業政策等到底及びもつかないことである

財界は樂觀

【東京二十五日發】明年度豫算編成方針に於いて高橋藏相は國防と財政の調和を計り、延いて經濟界の圓滿なる伸張を計るため所謂緊縮財政たることを避くるとともに財政の內容を出來得る限り強化せんことを意圖してゐるので、一般經濟界に對してはデフレ的影響を有することなく依然たる統制インフレをもつて臨むことが明らかとなり財界は擧げて[illegible]の將來、公債市價維持等に就き樂觀的態度を示してゐる

軍事外交時代
北支に於ける提携具體案は
平津駐在武官が折衝

【北平二十五日發聯合】[illegible]の次に來るものは日滿支提携の實在化であるが、既に王克敏氏の政務整理委員長代理就任に依り[illegible]北支の中堅者を迎へたので、今後實現に邁進し、北支[illegible]方は大使館附武官により北支に於ける提携の具體案の折衝を進めることとなつてゐる、北支に於ける[illegible]、その性質として[illegible]更にエポックが劃されてゐる、而してこれら諸般の折衝は何れも外交當局の手に移ることなく、天津軍參謀部、北平駐在武官の手に依つて推移さるるもので頗る穩やかな軍事外交時代が現出されつゝある

有吉大使 梅津司令官 聲明を發し
今後の方針を宣明
外務省には不侵略條約の用意

【東京二十五日發】北支問題は[illegible]圓滿なる解決を見、[illegible]も近く解決を豫想さるるに至つたので帝國政府は之を機會として日支關係を本來の友好關係に復せしむるため[illegible]有吉大使及び梅津司令官、各[illegible]において夫々聲明を發し今後の方針を闡明する模樣である、北支[illegible]對する我方の態度は帝國政府の既定方針に依り[illegible]つゝあり、之が爲め[illegible]日支提携の進展を[illegible]する[illegible]れがあるので帝國政府の公正なる對支態度を[illegible]明し不必要なる誤解を一掃するために左の如き聲明を發表することゝなつたものであるが、外務當局は

一、有吉駐支大使に訓電を發し、特に支那側が先づ排日[illegible]を徹底的に取締ることが日支友好關係を促進する第一の要件である

一、支那側は日支關係を阻害する諸種の紛爭を解決されんことを希望する

一、日本は全支において[illegible]を進める用意ある[illegible]同聲明において表明する方針である、而して支那側が排日[illegible]の解決に付き誠意を示すにおいては外務當局においても日滿支間の不侵略條約の締結をも辭せずとの決意を示してゐる

謝大使出發

【大連二十五日發】新任駐日滿洲國大使謝介石氏は川崎參事官以下館員家族四十餘名とともに二十五日朝熱河丸で出發した

日、滿、支間に
不可侵條約か
我陸軍は不可能視

【東京二十五日發】[illegible]

加藤鯛一氏愈よ
國同を脱す
民政黨へ復歸せん
國同の一角崩る

【東京二十五日發】愛知縣選出國民同盟代議士加藤鯛一氏は二十五日午前民政黨の鶴木、川崎（卓）、小山（松）、大麻、武富の諸氏と會見談合の結果、二十五日夜遂に國民同盟を脱退し民政黨に入黨する事に決定した、これで國民同盟の一角は崩れた事になる

國同動搖

【東京二十五日發】國民同盟は今秋の府縣會議員選擧、來春の總選擧[illegible]民政黨[illegible]山道、吉田、野田[illegible]民政黨への復歸運動[illegible]今回遂にこの[illegible]加藤鯛一氏が脱黨、民政黨復歸を決行するに至つた[illegible]國同內部の不安[illegible]て種々工作してゐるから加藤氏の脱黨を機會に國民同盟は動搖を見せるに至り前記五氏及び山道襄一氏等の態度は注目されるに至つた

臺北ロータリー
本年度最終例會

臺北ロータリー倶樂部にては二十五日午後零時半より鐵道ホテルに於て本年度に於ける最終例會として第二百九回例會を催し、出席者三十五名、先づ井上會長立ち現役員一同に代りて過去一ヶ年間幸ひに大過なくして職責を果し得たるは會員各位の援助と同情とに負ふところ大なりしに依るものであるとて感謝の意を表せる挨拶を爲し、次で[illegible]

北支人事決定

【北平二十五日發聯合】[illegible]を慰留した、これに對し各委員より種々の質疑が出たが熟議した結果、程克氏を天津市長に任命する事等北支人事を決定した

一、王克敏氏は北平政務整理委員長代理の職務に多忙を極めてゐる實狀に鑑み同氏の天津市長兼任辭退を容認する

一、商震氏の天津市長兼任を解く

一、程克氏を天津市長に任命する

一、河北省民政廳長張厚琬氏の主席代理を解く

一、商震氏を河北省政府委員兼主席に任命する

天機、御機嫌を
總督が奉伺

二十五日皇太后陛下の御誕生日に當り中川總督は左の如く天機並に御機嫌奉伺の電報を發した

△湯淺宮內大臣宛

皇太后陛下の御誕生日に當り謹みて天機を伺ひ奉る

△入江皇太后宮大夫宛

皇太后陛下の御誕生日に當り謹みて御機嫌を伺ひ奉る

右御轉達を請ふ

憲法解釋問題で
陸相海相が會見

【東京二十五日發】林陸相は二十五日閣議前[illegible]において大角海相と會見、憲法[illegible]問題に就き林陸相[illegible]中の情勢を聽取し、軍部大臣としてなすべき今後の方針に就き打合せた

閣議決定事項

【東京二十五日發】閣議決定事項

臺灣總督府文教局長　深川繁治

臺北帝大教授　小川尚義

敍勅任官一等

シナチク

【一】この頃臺北には怪火が多く、火事など餘り無いことに[illegible]るた[illegible]警察[illegible]ナナシである▲赤十字病院なんかは昨年九月火を出してレントゲン室を燒いたばかりなのに復も同じレントゲン室附近から發火、大事に至つた次第で澤山の病人を收容してゐる病院として火の元の取締などもう少し嚴重にして貰いても宜さ相なものだとの非難が意外に高い▲臺醫の[illegible]は赤十字病院が臺醫の附屬病院であるといふ關係から同時に日本赤十字社臺灣支部病院長であるが、二十二日夜の火事でひどく恐縮して二十三日は日曜であつたが各方面へ火事見舞の禮を兼ね恐縮廻りをして步いたさうだ▲五月廿一日は[illegible]府の怪火、六月廿二日は赤十字病院の出火、怪は怪を生むか

高砂生ビールデー日延ニ就テ

今般下名等高砂生ビールデーヲ相催シマシタ處皆樣方多大ノ御後援ニ依リ連日滿員ノ盛況ヲ呈シマシタル段厚ク御禮申上マス

就テハ三日間ノ會期中場席滿員ノ爲會員券未使用ノ方々モ多數有之ニ付本日一日（午後五時ヨリ午後十一時マデ）日延ベノ事ト致シマシタカラ何卒御來場御願致シ升

昭和十年六月二十六日

カフヱー羽衣
カフヱー日活
カフヱーボタン
カフヱー巴會館
カフヱー美人座
カフヱーモンパリ

電氣冷藏
冷シ甘露西瓜
半個ニテモ早速御屆ケ致シマス
矢野商店
電話[illegible]番

大稻埕のセンターを横にカーブしてフレッシュな喫茶店、モナミが出來ました、ビジネスに、プロムナードに是非御立寄下さい……
本日開店
出前は迅速に致します
喫茶食堂 モナミ
永樂町貳ノ五番
（電話四四〇四番）

本日より七月十五日まで
中元福引大賣出し

中元に際し平素の御愛顧に對する謝恩の奉仕として各階を擧げ御贈答品をはじめ季節の百貨を整へ又特賣品を充滿し

全店御買上壹圓毎に
大福引五拾錢に福引補助券呈上

福引景品
一等 簞笥　二等 冷藏庫其他
三等 トランク、時計　四等 テーブル掛洋傘
五等 シャツ、カーテン　六等 ハンカチ、下駄
七等 鉛筆、菓子　八等 石鹸、靴下
九等 菓子
全部洩れなく

均一品賣場 特設
本期間中特別の大提供

山へ海への御用品いろいろ

榮町 菊元
電話代表四三五〇

齒痛に頭痛はガオガンに限る

避暑と溫泉氣分は御家庭で
專賣特許 610
六一〇ハップ（溫泉藥）
あせもたゞれ皮膚病は一浴で治る
臺灣賣捌元 臺北・[illegible] 商會

高雄第三公校 授業料紛失事件

八十餘名の兒童を 數時間教室に監禁

體罰を加へ重傷を負す

受持訓導の暴行に父兄ら憤慨

【高雄電話】高雄第三公學校訓導陳水（二七）は廿四日午前八時授業開始と同時に受持の第十九學級四學年男兒童八十一名（缺席者七名）を教室に閉ぢ込め自分の机の下に二十二日徴收した授業料金二十六圓八十五錢が紛失したとの嫌疑を以つて一人一人教壇前に呼出し叱責詰問した上體罰を加へ午後三時頃迄食事をも與へず前後數回に亙つて取調べたが紛失金は遂に發見に至らず兒童を歸宅せしめた所兒童中には治療二、三週間の重傷を負つたものもあり、その怪我な措置に對し父兄側は極度に憤慨して直ちに同校に押し寄せたといふ教育界稀有の不祥事件を惹起したが當日は折井同校校長以下職員數名が一部の兒童を引率して高雄劇場に於る北部日本の映畫觀覽に出かけた留守中發生した事件にて同校長が午後四時頃に至り歸校後初めて右の事實を知り押し寄せて來た父兄を慰撫し歸宅せしめた後職員會議を開催し他の訓導連を各家庭に派遣して極力父兄の諒解を求めたが二十五日にも負傷した十數名の兒童が登校するに至らず朝來父兄連學校に出頭して大騒ぎを醸したので州當局よりも係官現場に急行眞相調査中である陳訓導は幼少時より貧家に育ち母親が洗濯等して教育し來つたもので紛失せる二十六圓餘が發見されない場合には當然自弁せねばならぬこととなり、母親は大いに憂慮し兒童全部に體罰を加へさせ金の在所を捜させたものと見られてゐるが同校は兒童二千餘名を擁し從來斯かる不祥事件を惹起したことなく州下の模範學校と推賞され來つたもので今回の事件につき折井校長は責任痛感し極力對策攻究中であるが沈痛な面持にて次の如く語つた

誠に困つた事件が發生しました世間を御騒がせして恐縮の至りです陳訓導は平素温順な方でどういふ譯で斯る亂暴なことを仕出かしたか判斷がつきません、或は母親が強要したのではなからうかとも考へられます、自分の不在中とは言へ斯る重大事件を惹起したことを衷心恐縮に存じます

有能練達の吏員を あらたに採用

市政の刷新をはかる高雄市の新陣容

【高雄電話】高雄市役所の陣容刷新は昨年五月勃發した中央卸市場事件並に公設質舗事件等々不祥事件續發の直後より市民の注目する所となり、同年九月事件紛糾の際を受けて就任した現松尾市尹は内外の情勢を察知して人事一新の腹案を定め還に組織を確立して一部吏員の配置替をなし係ろに全職員の能率、成績、性行、職務に關する調査を進め來つたが愈々第一回の整理を斷行することになり、數日前庶務、財務、土木水道、各課各二名、衛生、教育（社會係）勸業各課各一名合計九名の吏員に對し辭表提出方を命じ六月末日附を以て依願免の發令をなす模様であるが更に近く第二段の整理を斷行したる上從來の各課を整備充實すると共に改正地方制度實施に伴ふ選擧係及び市政調査係を新設し有能練達の吏員を新に採用配置して新陣容により市政運行の圓滑と公正を期するものと見られ市民大衆は大いに期待してゐる

初等教育の基本調査に 職員を總動員

【[illegible]電話】[illegible]では始政四十周年を迎へた現在に至るも初等教育の基本調査が行はれてゐないので全島に亙つて來る七月十五日から同月三十一日までに小公學校職員を總動員して一齊に調査する事に決定したが其調査要項は過去四十年に亙り教育の普及狀態を各戸別に取調表を作製して根本的調査を行ひ將來の初等教育根本方針樹立の參考資料に供する事になつた

國防の奉公に 一致協力し度い

今川知事喜びを語る

【臺南電話】臺南に飛行聯隊設置内定について今川知事は欣然として語るべき筋にありながら希望に反して多く語るを避け、唯一言臺灣軍が臺南州下の一地方に飛行場を設置することに内定された事は州民と共に喜びにたへない所である、從つて州並びに州民はこの際物質其他あらゆる點につき國防奉公に努力する覺悟と誠意を以て官民一致協力して行き度い

市勢の前途は 實に洋々

川添市尹談

【嘉義電話】嘉義の飛行聯隊設置の[illegible]認可で[illegible]の解決がつき二十五日に飛行聯隊内定で川添市尹はこの上ない喜び方で語る

陸軍で飛行聯隊を當市の近郊に内定したことは最も喜ばしい[illegible]にある嘉義市として眞に欣幸に堪へない聯隊の實現は帝國日本の誇にしてその完成の一日も速かならんことを希ふものである嘉義市勢の前途は實に洋々たる躍進を祝福されるに至つたが更に官民一致の協力により地方民として奉公の誠を致す覺悟が肝要である軍機に關するので餘り多く語り得ぬが何しろ躍進嘉義市として痛快この上ないことである

嘉義としては 何物にも優る喜び

早川直義氏談

【嘉義電話】各方面から傳はる情報や噂にも一喜一憂してゐた飛行聯隊設置が嘉義市近郊に決定したとの報に市内に喜色が漲つてゐる市民大衆、同志會、州市協議會[illegible]出來るだけ早く市民大會[illegible]嘉義市協議員を兼ねる飛行聯隊設置期成同盟會長早川直義氏は[illegible]喜びを湛へて語る

全く感激の極です、嘉義飛行聯隊の設置に就て二十八年になりますが[illegible]ではなかつた、これは[illegible]り野球嘉農によつて漸く内地各地に知られてゐた嘉義市がこれで一躍日本的になる譯である。これが設置に國家的見地より適當なる條件を全て具備してゐる地域に選定さるべきものでこれを誘致することを地方繁榮策と結びつけるものではないが地方民としては熱誠を披瀝してこれが誘致運動をなすことは決して不純なものでないと考へて當局の諒解を求めたのであつた、今やその目的を達したのであるが吾人は更に第二の目的である[illegible]と嘉義とを繋ぐ東石港修築によつて帝國南方の防備を完全ならしめなければならないと思ふ又全ての條件が適つてゐる嘉義地方に決定したことは勿論であるが今川知事が率先地方の實情に就てあれだけの熱意を以て積極的に運動したことは[illegible]これは場合によつては自己の一身を犠牲にする程の熱誠がなければ出來ないことだ、その事を考へる時は大いに[illegible]ではなからうかと思ふ

夜間も開園する 兒童遊園地

全島に一つしかない[illegible]兒童遊園地の成績は非常な注目に値するが入場者數によつて證明されてゐる事實はこの遊園地が夏のものであると云ふ點で更に夏の好適場として夜間開場することによつて一夜に多數の利用者を發見してみるのであつて兒童遊園場と夜間納涼場との兼用では一寸考へさせられるがどうせ五十歩百歩とあつてか[illegible]では今夏毎日夜間開放を行つて納涼客を呼びかけることとなつた

奉告祭を行ふ 【屏東電話】阿緱神社では二十五日午前九時半[illegible]奉納報告祭を執行した

震災映畫の試寫 【臺中電話】臺中州當局では過般の中部地方震災の慘狀をカメラに收めたので二十五日午後七時より知事官邸に於て市内官民關係者多數を招き試寫會を行つた、尚近日臺中市を皮切りに各市郡に巡回映寫を行ふと

見事に出來上た 延長千米の堤防

沿岸部落民らが大喜び

【屏東電話】屏東郡下カウ社溪堤防は昨年雨期に際して出水の爲め決潰し沿岸部落大路關の住民は悲慘な水害を蒙つたがこれをその儘放置する時は本年も亦同様の慘事を繰返す恐れがあるので當局では昨九年から三ヶ年繼續事業として災害復舊費六萬餘圓を投じ太田組の請負で復舊工事を進めてゐるが此の程延長約一千米に亙る堤防の竣功を見たので二十五日午前十時から小山屏東郡守を始め關係官民參列の下に現場にて竣功式を擧行した

花蓮港街の 追加豫算協議會

【花蓮港電話】第三十四回花蓮港街協議會は二十五日午前八時から昭和會館にて開催、協議員九名出席、宮崎街長議長席に著き昭和十年度街歲入追加豫算案を附議し原案通り可決した、即ち歲入經常部十萬六千三百四十四圓、臨時部六萬六百五十三圓、歲出經常部九萬四百六十三圓、臨時部七萬六千五百三十四圓である、同地租割は從來百分の二十であつたのを百分の三十と改正した、右は昭和十年度四月十四日附府令二十三號を以て臺灣市街庄稅規則中地租割の附加率を百分の三十と改正したのによるものである、戶稅割は從來一圓に付八圓となつてゐたのを六圓五十錢と改正した、右は同稅附加額の增加により改訂されたものである、同最後に宮崎議長から[illegible]

高雄市の 假想動員演習

【高雄電話】高雄市役所では二十四日午後八時十分西澤知事よりの動員假想のもとに動員演習を實施したが松尾市尹以下全職員百十名は同四十五分迄に全部集合し市尹の一場の訓示あり動員を實施したが二時間半にして終了好成績を收めた

軍旗臺北に歸還

【宜蘭電話】宜蘭第六中隊に一夜を明した步兵第一聯隊の軍旗は二十五日午前八時二十五分中隊發驛[illegible]

地方近事

宜蘭 宜蘭郡頭圍庄頭圍農會では去る廿二日午前十時より組合事務所會議室に於て庄内米穀業者及精米業者十三名出席、來賓は米穀檢査所宜蘭出張所主任上田技手、永瀨庄長、桑名郡守、籐田庄長等で臨席庄長席に就き開會の辭を述べ引續き座談會に移る、先づ主催者より左記事項を提出し熱心に座談の結果原案の通り贊成し終りに上田技手より有益なる講話があつて午後二時三十分散會した

一、頭圍産米向上と[illegible]促進

二、[illegible]米穀自力更生統制、[illegible]の取引が如何なる方法を以て取引[illegible]

淡水 帝國在鄉軍人會淡水分會員二十餘名は去る二十二日午前六時淡水驛前に集合し谷分會長引率の下に草山に向け行軍し午後一時半草山觀音俱樂部に於て第一聯隊[illegible]少佐、臺北州西部聯合分會長[illegible]氏等臨席し帝國在鄉軍人會淡水分會總會を開會した

金山 臺北州基隆郡金山庄[illegible]組合では去る二十二日午後零時半より金山庄公會堂に於て庄内の有志者多數を招待して[illegible]と高砂生ビールの噸酒會を催されたが田村基隆出張所長及[illegible]人許海飛氏の挨拶、[illegible]庄長の訓辭あつて盛會裡に午後三時に閉會した因みに生[illegible]は內容、外觀は頗る評判がよかつた

彰化 彰化警察署では二十五日午前七時より甲乙種巡查の定期召集を行ひ八卦山頂に於て各般の訓練を行なつた

△彰化市南門[illegible]に於て開業中の安立演戲團主安立八郎（二四）は彰化市西門中島洗濯所施[illegible]（三五）と洗服の洗濯代から喧嘩となり安立がかつとなつて手拳を以て施を毆打[illegible]十日間の傷を負はせた

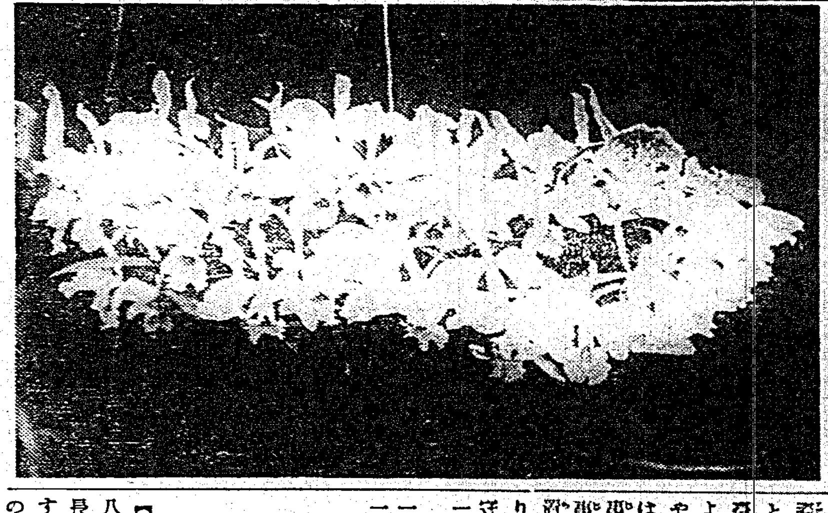
番人の至情で建立 道德を偲ぶ記念碑

【屏東電話】屏東郡の奧番地コチャポカン社駐在所管内の番人は蕃地警察職員の援助を受けて同番地に昨年殉職した[illegible]巡查部長の記念碑を建て朝夕これを仰いで同部長の遺德を偲ぶこととなり昨年來同社總出で工事を進めてゐたが此程出來上つたので二十三日屏東郡から古城警部補、[illegible]巡查部長以下警察職員、附近各社頭目その他多數番人参列の下に除幕式を擧行した

市協らを集め 自治座談會

臺南市で計畫

【臺南電話】臺南市では來月四、五、六の三日間毎日午後一時から公會堂に新任市協議會員[illegible]



カトレアの滿開（臺南市佐藤田松氏）

カレワン山上に 架設を計畫

出來すれば花蓮港の一名所

行樂者も多からう

【花蓮港電話】花蓮港街民の行樂の地として又花蓮港の名物としてカレワン山（標高四千尺）の高還地方を利用するケーブルを通してその山上にホテルを建設して行樂客を誘致しようと云ふ計畫があるが花蓮港からは自動車と[illegible]にこれが實現すれば[illegible]で行樂客が著しく[illegible]を誇張してゐるがこれが實現されると云ふ[illegible]高山鐵道[illegible]であるから花蓮港から見ても確かに事業價値ありとして[illegible]になつてゐるから何等かの形式で實現しさうな形勢である[illegible]ケーブルと[illegible]あらう

教育基本調査打合會

【臺南電話】臺南市では來る二十八日午後一時市公會堂に小公學校長打合會を開き教育基本調査に關する件、夏期休暇中に於ける兒童の召集並びに訓練に關する件[illegible]

"嘉義振興協會經營"

バス開業は 九月頃から

【嘉義電話】財團法人嘉義地方振興協會のバス經營は遲くとも九月頃には開業の運びとなる模様で秋の博覧會には前方向き座席を有する流線型大型バスがその近代的な姿で嘉義市を中心に疾驅することとなら市内線は左記三線に五六臺を運轉する郊外バスとの連絡によつて市營の利用は逐に增大されやう從業員は約七十餘名事業資金は十二三萬圓で協會の陣容は理事長市尹、常務理事助役理事並に勸業課長その他市協議會員常任理事中より理事數名市の課長級より幹事若干名評議員中には關係郡守等が豫想されてゐる

一、嘉義驛より榮町及び北門町大通を一直線に公園に至る

一、中央噴水より南門に至る

一、嘉義驛より榮町四丁目田中時計店角を右折大下水に副うて公園經廻左折中央噴水[illegible]所要を經て阿里山線北門驛に至る

芭蕉指導園の 設置場所決定

【臺中電話】臺中州青果會の芭蕉指導園設置に就ては既報の如く各地方の熱心な設置運動により[illegible]愈々廿五日正式に大屯郡霧峰庄坑口の山手傾斜地に設置する事に決定した

臺中放送局で郡の 紹介放送

【臺中電話】臺中放送局では來る七月より州下各郡の紹介放送を行ふ計畫を進めてゐるが右は各郡別に其の郡内の情勢及び特色並に有力者の講演[illegible]の放送等を行ふもので其の成績は期待されてゐる

安平資料館の打合會

【臺南電話】臺南市では二十七日午後七時半から公會堂にて安平資料館關係者の召集を求め臺南地方の資料出品方並びに古碑陳列場の[illegible]方法につき打合せをなす筈

地方職員に 學校制度講習

【嘉義電話】嘉義市では來る七月二、三日の兩日午後一時より同四時半迄公會堂で市内小公學校職員並びに[illegible]百三十餘名を召集し新竹州[illegible]課長より改正地方制度に就て講習を行ひ改正の主旨を徹底させると同時に教化に資することとなつた

理事會

【嘉義電話】阿里山國立公園協會では二十八日午後四時より公會堂二階で理事會を開くが議案左の如し

一、昭和十年度豫算

一、寄附金募集

一、阿里山クラブ及び[illegible]山莊經營

一、博覽會に當り協會の活動その他

事務監査

【淡水電話】淡水街役場の事務監査には二十五日より臺北州地方課[illegible]外[illegible]出張中であるが二十六日も續行の筈である

精神異狀者の縊首自殺

【臺中電話】二十五日午前三時十[illegible]臺中驛發下り旅客列車が[illegible]に差掛つた際一女が[illegible]レールを枕にして[illegible]ゐたのを[illegible]無慘の轢死を遂げた急報により臺中署より請家部長現場に急行檢視をした所右は臺中市後壠子一二五林陳氏棣（二[illegible]）と判明同女は多少精神に異常を來してをり厭世的自殺ではないかと見られてゐる

交通事故

【屏東電話】屏東市昭和自動車會社の乘合自動車を運轉手蕭貴某が操縦して二十五日午後四時頃市内歸來派出所附近の道路を進行中前方から自轉車で來た東港郡萬丹庄張福（三[illegible]）と衝突張は左肩胛等に打撲傷頭胸部に擦過傷を負つたので目下屏東醫院で手當中

籾六千斤燒く

【臺中電話】二十五日午前零時頃臺中市楠町一再生公司構內の物置小屋木造平家一棟約六十坪、籾六千斤を燒失同四十分頃鎭火した損害約六百圓原因目下調査中であるが一時は大騒ぎを演じた

砂金鑛に機械を 据附く

【花蓮港電話】臺灣産金會社の研海鳳新城に於ける砂金鑛區の試錐は既に第三號を終了し第四號はタクダル附近と決定目下機械の据附中であるが一兩日中に試錐開始の見込みである

新講堂落成式

【臺南州斗六】斗六公學校では來る三十日午前九時より新講堂の落成式を擧行引續き落成記念展覽會を開催終つて小宴を[illegible]にて祝賀會を催す由

店員の惡事暴る

【高雄電話】高雄署で森本、許、鄭の三[illegible]は市內北野町一ノ十七[illegible]商會方雇人黃德旺（二[illegible]）が最近身分不相應の遊興をなすので極秘取調べた所同人は主人所有の三和、彰化兩銀行の小切手帳を拐帶使用し四月十九日より五月十八日迄の間に十一回に亙り三和銀行支店より千三百圓を引出しその間一千百五十圓を入金し差額百五十圓を詐取し又彰化銀行支店より四月十二日より五月十七日迄の間に二十八回に亙つて三千四百九十五圓を引出し三千三百六十四圓を入金して差額百三十一圓を詐取した外四百九十九圓餘の集金を橫領したこと判明したが彼は市内三塊厝五四六簡料九犯[illegible]外十二名と共に賭博を開帳し勝つた時には銀行に入金して穴埋をなし今日迄發覺を防いでゐたものである

濫淨化の宣傳

【淡水電話】二十五日の縱發防日に當り淡水街では淡水郡警察課、街役場職員、保甲役員等約二百名午前九時淡水郡役所に集合し樂隊を先頭に街内を一巡濫淨化の宣傳ビラを配付し又目抜きの場所にはポスターを貼付し大いに宣傳に努めた

人事

△[illegible]原坦氏（臺北帝大總長）二十五日午後七時二十分臺中發列車にて來中千代廼家一泊二十六日市内を視察二十七日午前十時六分臺中發嘉義に赴く

△萩原彥三氏（拓務省[illegible]局長）二十六日午前八時二十分臺中驛發列車にて上北

△[illegible]（[illegible]司令官）は本島南部地方視察のため臺北發去る二十六日[illegible]より二十七日午前七時[illegible]二十分[illegible]二十[illegible]

嘉なかだち

徒弟 內地人拾六七歲通勤履歷書携帶午後八時より來談 本町二丁目中通り[illegible]

女中入用 當店迄照會の事 電話貳參八六番 兒玉町參ノ六 京屋雜物店

店員入用 拾六、七歲より貳拾參歲迄本人來談 （履歷書要）第三高女前高田[illegible]店

小店員 內地人十五六歲 本人來談 電話八六 本町 藤村兄弟商行

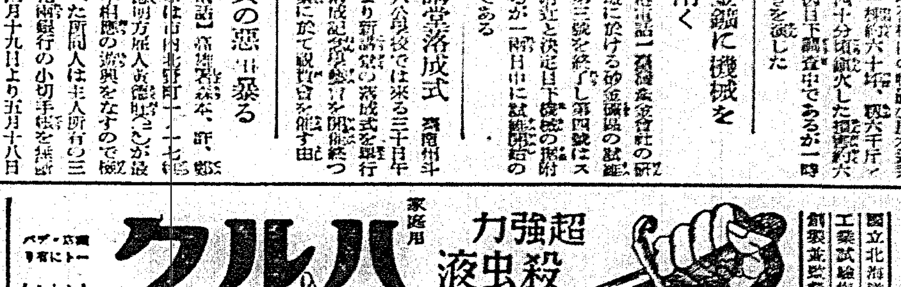
英語研究會員募集新學期開始 七月一日會則進呈 大平町三丁目（[illegible]）臺北英語研究會

讓店 小間物文具玩具店營業中 手不足の爲め至急安く讓る 東門市場西大通 下田商店

電話 秘スグ金融す 商品券債券買取　電話參六貳六 三成社

自動車 三年四年フォード車 BV新型六發安價 臺北榮町天地堂天自動車 電話貳五大

國立北海道 工業試驗場 創製並監督



家庭用 超強力 殺虫液 ハルク

効力絶大 人畜無害 大氣安全 芳香清爽

蠅・蚊・蚤 特に南京虫は是に限る

大瓶 七十五錢 小瓶 四十錢

バザー・荒物 店にあり

縣下代理店募集ス

(1) 賣用新案三井モダン鋏寸新型六種ノ販賣權

(2) 金屬磨料、家具艷出料、洗髮料、專賣白毛染料販賣權

(3) 副業ニ專業ニ適シ月收益多大ニシテ安全堅實ナル商業

(4) 取引永久、販賣擴路無限

(5) 取引上多額商品ノ最大便宜ヲ與フ

(6) 權利保証金壹千圓ヲ要ス、信用有ル士ヲ求ム

代理店希望者ハ至急申込アリタシ

三井合名會社商事部

東京市日本橋區橋町八 電話浪花二五六九番

十字 台北 肺患

[illegible]四十有餘年、私達の野に叫んだ聲は"肺病"を喰破し、"如何すれば肺病を全治せしむるか"となりました。御同病の方々へは詳しい[illegible]に必ずお送りします、至急ハガキで申込下さい

相州小田原 新入海岸A 自然療養社

別府淋藥

鐘や太鼓で尋ね廻るより

キンメで知れる岩里の家傳藥、別府淋藥を服用すれば尿道の淋菌を殺しつゝ尿と共に尿道を自然洗滌する故に合理的にキンメの早いワケで自宅で治療することも絕對に他人に知れず安心して出來る。

キンメの速い別府淋藥！

岩里天然堂 別府市新町 振替福岡[illegible]番 ハガキで申込めば送附

十二指腸藥 アンキロ丸

十二指腸虫圖

顏色の惡い人 息切れのする人 食欲不振の人 下痢する人 手足のだるい人

藥價 一服、二服、三服、五服、近服、十服

本舖 熊本縣阿蘇郡 桜屋藥局

代理店 東京 大阪 [illegible]

病人の食物 牛乳 サクラ印 [illegible]

東京電氣株式會社 三大製品

マツダランプ

マツダ眞空管

東京電氣辨理店 臺北市榮町二ノ八

胃を丈夫にする飲みもの （十倍に薄めて召し上れ）

ビーボン

一杯に溢るる快味悦樂 胃腸の悪い方も是非しないで召上れ

ソノ・アルコリック

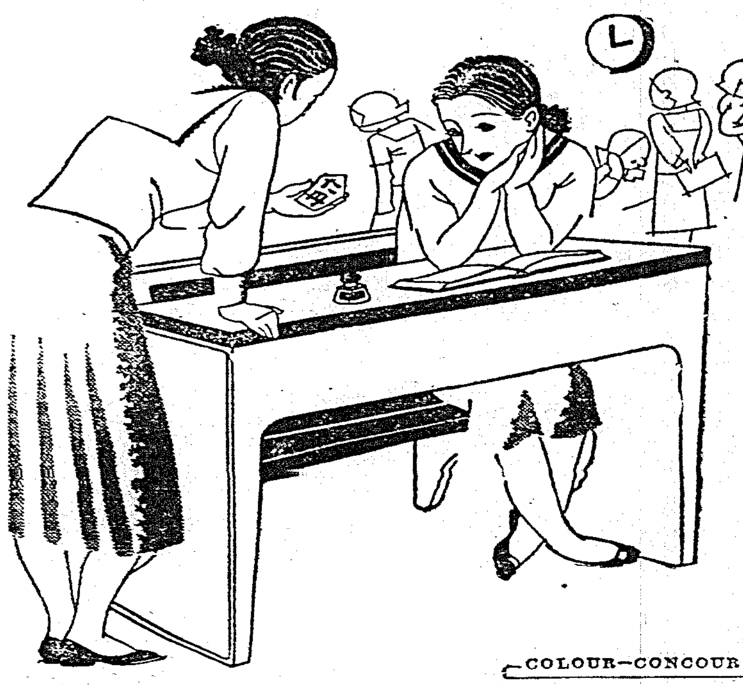
全國有名食料品店百貨店にあり

臺北・臺南・嘉義 宅商會

消化劑　口香料　仁丹

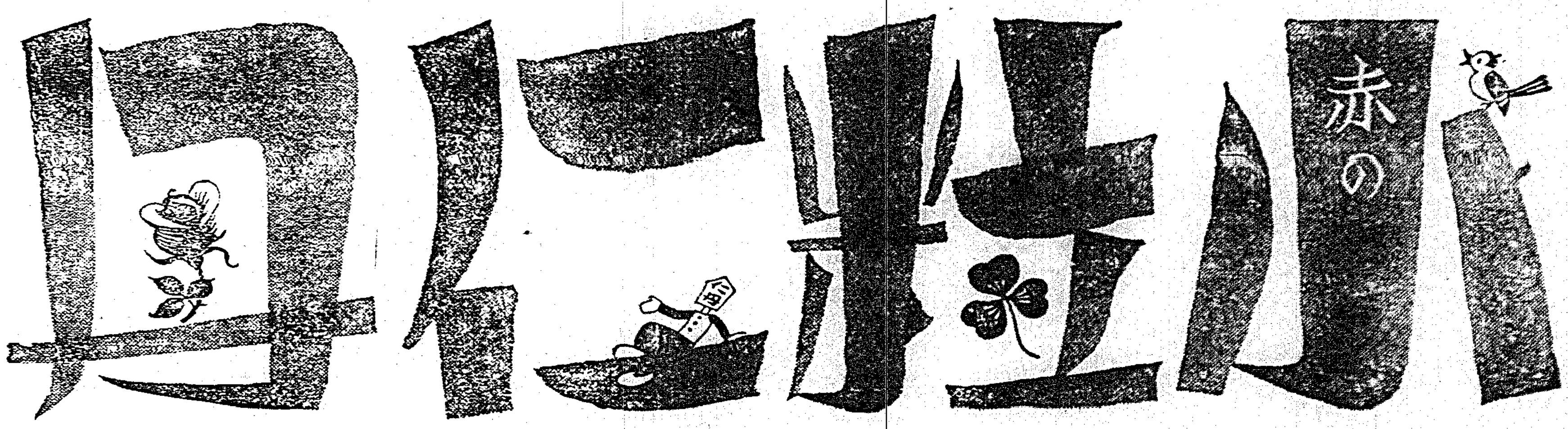
課間（やすみ）のひとゝき
常時（いつも）のむ仁丹の
憧れの味、やさしの薫り

私たちの健康も
私たちの明朗も
仁丹から培はれるのよ



COLOUR-CONCOURSの[illegible]

制服の乙女たちに捧げる××××明朗の愛象（マスコット）



女學生は、みんな仁丹がお好き
容器のある方は　この徳用包で

香泉サフラン入
倍加特製
仁丹
Jintan
HIROSHI MORISHITA
OSAKA JAPAN

六月の交響曲（シンフォニー）

船　思い出、白い鷗、波頭、いゝ、こだます る汽笛、航路のスターが舷に ふれた此の頃… 珍らしい港の風俗、港の流れ、さては珍な の観光見物など、まこと、旅の喜こびは 此の旅から…そして、旅の疲れを癒さめ る——仁丹から…

味　酸い、甘い、辛いとでも云ふん でせうか？ 何でもお口にぴつたりこむ様な六月の 食物です。でも、やさしにくらしい、いゝ[illegible] お味ます。消化の仁丹だけは、今からしよつちう服 んで置くことです。

碁　アトからアトから浮んで來さう な新緑樹の蔭にもたれて 何もなく何くもない夕べを樂しむ時は 時間もまた短いし、朝の空、青の木など のさく〳〵と、好きな碁石を囲めませ う。仁丹をのんだ健康な頭に…

球　緑に萌える芝の上に、サーと 打球を飛ばす白い球！ スポーツは六月の太陽の下で、最も健全 なプロフイルを見せる。 若い、輝く溌剌な姿に、口の爽さに スーッとする仁丹の、やさしい香りがあ れて、正に一〇〇パーセント！

頭　頭痛と云ふと、何故こんな に苦んだ苦痛をするんでせう 何となく、気分が苦しい為でせうか？ 其に、仁丹は頭がすつきりして、おそ [illegible]ありませんね。

もつと、仁丹をのんで、初夏らしいスタ イルを取り戻しませうよ。

旅　クラスの旅行に、ダルマイばかりのハイクに行からよ 口笛吹いて乙女心は躍る。何と六月は緑 まれた街の多い都よ… 旅に、仁丹で培かつた、此のはち切れさ うな健康の脚に…

果　苺、枇杷、桜んぼ、夏蜜柑、 等々…と街頭には、今ーフ レッシュな果物群の大行進です。 心ゆくまで賞味しませうよ、果物はい つも一番新らしいビタミンを提供します 特に、仁丹を服む人の健やかな胃腸に…

煙　パパも、お兄さんも、彼氏も みんな揃つて、うまさうに煙 草を喫むんですもの、私だつて、ちよつ と、やつて見たいつて… でも…あなた達には仁丹があります。 いゝや、煙草だつて、仁丹をのんで吸ふ と、味もダンチなんですよ。

仁丹の誇る効果
快よい消化
榮養の増進
惡疫の撃退
素敵な口薫
憂鬱の解消

仁丹は各デパート・各店・藥店にあります

仁丹の齒磨本舗◎森下博營業所

黄色煙草耕作を島内各地に大擴張
花蓮港、臺東、屏東地方に
專賣局が計畫中

煙草耕作關係の用務を帶びて田端局長及び煙草課長が中部に出張し花蓮港の政所廳長と會見し煙草耕作に對する移民の援助を請ふたことは既報の如くであるが、更に臺東廳に赴き本間廳長との間に耕作適地の打合をなし、又屏東郡九塊庄に於ける煙草耕作移民を決定した等の事情は左の如くである

臺東廳下には黄色種煙草の耕作適地は大原と池上に約二千甲、旭村に一千甲あるも、之等の土地については氣象狀況調査なからず、又藏敷排水の施設も整つてゐないので

專賣局 では本年十月から來年一月までの間に氣象調査を行つた築、之に基き十一年度に豫算を計上し煙草の耕作を進めて行く計畫である、次に煙草耕作に最も好適な地域として豫定されてゐた屏東郡の九塊庄には既に此の程二十戸の耕作移民を入れ早くも諸準備に取掛つてゐる、此の移民は新竹州から三戸、殘餘の十七戸は島内の專賣局官上り或は在鄕軍人關係から募集したもので、一戸當りは

補助金 個人補助五百圓共同補助三百圓で更に殖産局から一萬圓の融通を受けることになつてゐる、而して此の移住地に招致する移民の豫定數は來年度は四十五戸、明後年度は四十戸、明々後年度は三十戸と本年度から四ケ年間に合計百三十戸の大計畫である

爪哇航路統一案と臺灣總督府の立場
遞信省と照會中

ジャワ航路に於ける邦船四會社共同新會社設立を基礎として現行四會社のジャワ航路が統一されんとしつつあることは既報の如くであるが臺灣總督府で大阪商船の基隆、爪哇線に補助金を出してゐる關係上遞信部では統一の具體方策及び今後同航路に關する遞信省との關係等につき目下問合せ中で正確なることについては未詳である、總督府命令航路の基隆爪哇線は現在東京、横濱、名古屋、大阪、神戸、門司を經て基隆に來りタワオ、スラバヤ、スマトラに寄港してバタビヤに到り、スラバヤ、マカッサ、タワオ、香港、高雄、基隆を經て内地に到る航路を定めてをりこのうち基隆、バタビヤ間を總督府が命令し昭和九年度には十萬八千圓の補助金を支出してゐるのである、而してこの航路は大阪商船が二艘の船をもつて月に一回往復を航海してゐるのであるが會社では別に自由船二艘をもつて月に一回都合二回の航海を實施してゐる其他之と殆ど同樣の航路として遞信省で告令する南洋郵船航路(臺灣を經ず)及び石原產業の航路(臺灣を經ず)があり、郵船も休航中ではあるが略同樣の航路をもつてゐる、而して今回の合併は日蘭會商の結果爪哇に於て日本汽船が種々壓迫を蒙る現狀にあるとき四つの航路が徒らに競爭を行ふことは不利なりとて既報の如き方針のもとに持久戰を爲さしめんとするものらしく從つて缺損を補塡するに足る補助金が當然考へられることになる、而してこの補助金の支出については未だ決定をみぬ模樣で現在の自由航行をも命令回數に加へてそれに對する補助金の增額をなすかこの航路を全然臺灣總督府の監督に任せて大いに經營せしめるか或は又東京、バタビヤ間を遞信省が一手に引受けることになるか、何れにしろ政府としては斷然たる保護方針に出て積極的にオランダと競爭しようと云ふのであり、上記の如くそれに對する遞信總督府の負擔及び命令振が如何なる範圍に決定するかは未詳である

蓬萊買一服

【神戸二十五日發本社特電】二十五萬石の先下げと申分のない[illegible]を差に具留した蓬萊米も今日は一[illegible]模樣にて蓬萊も昨日の活況に引きかへ再び閑散北部九圓六十九錢が一本出來たのみ中部は九十五錢―九十四錢―九十三錢―九十錢とチリヒンに出來てゐる、大阪廻本買の神戸加賀買

竹に著色模様
新手法發明さる

竹材に著色模様をあらはす新手法が京都市吉岡稻賀氏によつて發明され特許出願となつた、この著色法は火熱を加へて水分及油分等を除去した竹材面に酢酸に酸化鉛又は三酸化硫酸を加へた液中に酸性染料又は油性染料を混入溶解した黄色液を刷毛或は筆を以て描畫し、これを一旦加熱乾燥して放置し模様面が再び褐變狀を呈したとき更に加熱乾燥を反覆し着色料が完全に吸着せられた後、水洗乾燥を經て仕上げを行ふものである

一期米移出が早くも六十六萬袋
前年より廿四萬袋增

臺灣米穀移出商同業組合調べによれば二十四日基隆出帆の大和丸、蓬萊丸までに積出した新一期蓬萊米の移出數量は

一期蓬萊米　六六二、三三二袋
一期在來米　一一六袋
一期丸糯米　四九七袋

を示し一期蓬萊米は何時の間にか六十萬袋を悠々突破し七十萬袋に上らんとしてゐる之を前年六月二十五日現在の移出數量四十一萬二千六百十四袋に比較せば二十四萬九千六百八袋の激增となる、之は出廻が前年に比し多少早かつたのと直接取引が旺盛だつたのとに依る、大甲、中南間の鐵道復舊に依り臺中州下蓬萊米は基隆港に殺到するものと見られるから六月末までには相當數量を積出す筈である

大正	一、八〇二	一、六九六
大同	一、〇五五	一、三四
片倉	[illegible]	[illegible]
日本物產	[illegible]	[illegible]
愛國	[illegible]	[illegible]
住友	[illegible]	[illegible]
第一物產	[illegible]	[illegible]
昭和	[illegible]	[illegible]
國華物產	[illegible]	[illegible]
福德	―	―
計	[illegible]	[illegible]

島内生保契約二億三千百萬圓
益々增加の傾向

遞信局調査本年四月末、島内生命保險契約高は十五萬四千百五件二億三千百八十八萬三千百九十一圓にして前月に比し三千二百四十八件四百二十四萬八千五百二十四圓の增加を示し更に前年同月に比すれば二萬二千七百七十二件三千八百三十二萬九千二百五十九圓の增加を示した(單位千圓)

社名	件數	金額
千代田	二九、二二七	四三、九六四
帝國	二五、三三五	三六、一四一
明治	[illegible]	[illegible]
第一	[illegible]	[illegible]
日本	[illegible]	[illegible]
安田	[illegible]	[illegible]
富國徵兵	[illegible]	[illegible]
日華	[illegible]	[illegible]
東洋	[illegible]	[illegible]
日清	[illegible]	[illegible]
太平	[illegible]	[illegible]
三井	[illegible]	[illegible]
野村	[illegible]	[illegible]
常磐	二、五七一	二、三三五

穀物火力乾燥に流線型

流線型穀物簡易火力乾燥室が新竹州農事試驗場の山田爲友技師によつて發明され特許出願となつた、この流線型は從來の穀物簡易火力乾燥室に較べて、遙かに乾燥能率を高め室の上中下各層に熱氣が普遍的に行き亘り室の溫度を常に一定、而も從來のものが最高溫度に達するまで六時間を要したに反し、僅二時間で達し優に四時間を短縮し從つて燃料は經濟的で室の各層の溫度を一定、乾燥能率增進が特長とされてゐる、構造は室内壁を熱氣の通過路を流線型にしてあるため、多量の熱を消失なく誘導、乾燥棚を傾斜にして弱くため一層の效果をあげてゐる、特殊裝置とする所は排氣煙突で内部を二重としてあるため室内溫度より常に高溫が保たれ吸込よく通氣促進と同時に水蒸氣が冷えて乾燥中の穀物に落下すること絕對に避けてある燃料は開口十尺奥行一間高さ八尺の乾燥室に六寸燻炭三個で充分とされてゐる

コルク、オークを將來臺灣で供給
大學演習林試植が美事成功
中研林業部の計畫

キルクといへば何人も麥酒壜などの口に使ふものとうなづくが、今日では壜の口だけで無く、ヘルメット帽、靴底に布くもの、フエルト草履、救命袋、義足、義手、帝國陸海軍艦艇の防熱用防音用、並びにリノリユームの一部にもといふやうに非常に用途が擴がつて來たので、その原料の我が國への輸入額が既に年にして百八十萬圓から二百萬圓程度に上つて來た、その原料はコルク、オークといふ我がウマメカシに類した樹木の皮で、スペイン、[illegible]中部地中海沿岸並びにアフリカの奥地に産し、我が國では殊にスペイン方面から多く輸入して居る、内地では山口縣邊などの中國筋から出るアベマキからキルク代用のものを採つて居るが其の量も少く質も惡い、併しキルクの用途が其の特色の點から益々擴大の一方なるに鑑み、我が中研林業部では之が栽培方に就き研究の步を進めて居る、それに就ては既に以前にも計畫があり某篤志家から其の種子を取寄せたことがあるが、當時發芽の力を失ふものと見えて全く失敗に歸した併しその後東京帝大に於て同種子を選擇りして印度洋でなく熱い海上を經由するやうにして取寄せたところ立派に發芽したので、惡いところ例へばシベリア經由でも好いことを體驗したので臺灣中部竹山方面の同大學演習林内に試植を試みつけたところ、非常に能く生長して居るので、中研林業部では種々研究の上臺中州下の土地を選びて之を植付ける計畫を立てて居るが、このコルク、オークは八年目から十年目へかけて皮の[illegible]に至り第一回の皮の採取を終ることは出來ないが、以後は大體十年毎に同じ年數がたてば、以前より優良な品質の皮が採れ、樹が年たければたけるほど品質が向上する、そして樹齢は數十年保存すれば材として極めて有用なものになるといふので將來有望な植林事業として多大の期待が置かれて居る

文山郡製茶品評會

臺北州文山郡街庄聯合製茶品評會は二十六日午前十時から深坑庄役場に於て褒賞授與式を擧行するが審査長臺北州大岡技師は二十五日同地に出張し、宮永茶業主任は二十四日から出張審査中である、文山郡は茶の名產地であり而も現在夏茶の最優良期であるので優良茶の出品非常に多い模樣である、尙授賞式當日は臺北州文山郡當局並に近郡街庄の茶業關係者ら來賓として多數臨席の豫定である

苗栗の買蔗價格
水田には籾價比準の特別割增金

昭和十一、十二年期度作期の内容を摘記すると植付契約期限は早植は本年六月末迄、晩植及株出は十一年三月末迄、指定品種は二七二五號又は特に會社の承認したる品種とし原料買收價格は基本原料代を千斤に付二圓七十錢とし割增金刈取調製搬送補助を加へて次の如く定めてある

	水田	畑
原料代	二七〇錢	二七〇
割增金	一四〇	六〇
刈取調製搬送補助	六〇	八〇
合計	四七〇	四一〇

尙會社の承認せる水田に適當の栽培方法に從ひ栽作したるものには蓬萊種籾の市價に比準した左の通り特別割增金を交付することになつてゐる

籾價(千斤)		割增金
五〇圓以上	千斤に付	三〇錢
五五圓同		六〇
六〇圓同		九〇
六五圓同		一二〇
七〇圓同		一八〇
七五圓同		二一〇

但し籾價格の算定は昭和十一年七月より十二年一月迄の七ケ月間に於ける價格の平均にして苗栗郡役所の調査を基準とすることになつてゐる、又畑地の早植獎勵金は

六月植	甲當	五〇圓
七月植	同	三五圓
八月植	同	二〇圓

を交付し綠肥獎勵金は畑地に對し甲當十圓を交付す、此外耕作改良獎勵金として

水田	千斤に付	六〇錢
畑	同	四〇錢

を原料代支拂と同時に交付することになつてゐる、還元資金は

二十度以上	千斤に付	一〇錢
廿一度以上	同	二〇
廿二度以上	同	三〇

を交付し原料調整獎勵金は千斤に付一千錢以内を交付す、尙同限内に植付契約を爲したるものには契約と同時に水田に對し甲當十圓、畑に對し甲當十五圓の植付契約金を貸與することあるべしと規定されてあり、耕作資金は水田には五割以内、畑地には三割以内を各三回に區分して貸與し其の利子は月八厘と規定されてある

臺北州産米の走り出づ
前年より五日早し

臺北州産一期蓬萊米の走りは前年より五日早く北投から出で、二十五日に初檢査があつた、受驗者は[illegible]、品種は[illegible]、八十袋の中三等合格八袋、四等合格四十七袋、五等合格二十五袋で色澤、乾燥共に申分なく、前年米のものに比し殆ど遜色がないが、始まりの關係か青米及び死米を多少混入してゐる尙天候再び惡化しない限りは引續いて出廻る模樣である

臺灣軌道總會
諸償却に四萬圓
年六分配當可決

臺灣軌道株式會社は二十五日午後一時臺北の同社事務所で第三十回定時株主總會を開催、出席株主委任狀共五十四名に上り中村取締役議長席につき昨年十二月より本年五月に至る上期の營業狀況を報告し諸般一致左の利益金處分案(即ち配當年六分)を可決した

(單位圓)
當期總收入金　一七一、二七一
同 總支出金　一一六、四一〇
差引利益金　五五、七六〇
前期繰越金　一〇、〇〇〇
[illegible]　三〇、〇〇〇
[illegible]　一五、七六〇
前期繰越金　三、九三一
合計　一九、六九一
内
法定積立金　一、六〇〇
退職者慰勞基金　一、六〇〇
役員賞與金　一、二〇〇
株主配當金(年六分)　[illegible]
後期繰越金　[illegible]

尙同社は各地道路の開通完成によるトラックの進出旺盛の爲め收入に於て前年同期に比し一割七分を減少したが一面自動車營業は[illegible]

臺南　臺中米
查定會

一期蓬萊の檢査標準米査定會は臺南米については過般終了したので七月一日は臺南米につき嘉義檢查所で、同三日は臺中米につき臺中檢查所に於て夫々查定會を開催することとなつた、尙新竹米、臺北米については七月中下旬に查定會を開く豫定である

臺南州下の棉花作
本年も一千甲の豫定

【臺南電話】臺南州本年度特作物たる棉作は既に各郡共に播種に着手したが、來月上旬までに全部の播種を終了の豫定で栽培面積も豫定通一千甲に達する見込である

豆粕は暴落

チリ安の大豆粕相場に[illegible]

臺灣米の仲介者も結成
その機運濃厚

【神戸二十五日發本社特電】全國臺灣米移入組合聯合會が愈々七月十日に京都に於て華々しく結成されることになつたが、これに刺戟し新に今度は仲介者の橫斷的結成を[illegible]

農村景氣も影響し
採炭賃銀益々騰貴
冬場の不足憂慮さる

[illegible]

臺北州下の產組監事講習會
廿五日から五日間開催

[illegible]

六大銀行と檢査を開始

[illegible]

青物魚類卸相場

[illegible]

商況(廿五日)

臺中米價

[illegible]

島内米肥

臺米現物相場

[illegible]

基隆在庫米

[illegible]

高雄在庫米

[illegible]

正米市況後場

[illegible]

島内肥料相場

[illegible]

大阪期米後場

[illegible]

東京期米後場

[illegible]

神戸期米後場

[illegible]

堂島同盟控除協合

[illegible]

堂島前場先限主なる手筋

[illegible]

堂島前場先限兩建控除主なる手振

[illegible]

堂島米況前場

[illegible]

堂島米況後場

[illegible]

堂島雜觀

[illegible]

大株雜觀

[illegible]

株式

大阪短期後場

[illegible]

大阪長期後場

[illegible]

東京短期後場

[illegible]

東京長期後場

[illegible]

東京株況前場

[illegible]

肥料

大連特產前場

[illegible]

大連特產前場況

[illegible]

神戸市中相場

[illegible]

爲替

臺銀建値

[illegible]

絲況

大阪綿絲

[illegible]

大阪棉花

[illegible]

大阪人絹

[illegible]

橫濱生絲

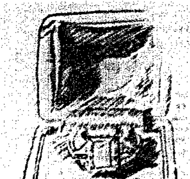
[illegible]

砂糖

大阪清算

[illegible]

定價一圓の萬年筆五萬本進呈
革靴一足に萬年筆一本ヅツ進呈
大產―大阪―市價の半値
絕對全責任付、不向返金品替自由
青年訓練總革靴　一足　三圓五十錢
鬼三板底―總革學生靴　耐久二ケ年以上
鬼三枚短靴　一足　三圓五十錢
鬼三枚編上靴　一足　三圓九十錢
流行尖端　總革フレンチ型
レフチン型編上靴　四圓二十錢
フレンチ型短靴　三圓七十錢
革靴　大爆發的大景品付
靴一足に定價一圓の萬年筆一本宛進呈
高級紳士禮服用總革靴
短型靴　四圓五十錢
深型靴　五圓五十錢
高級品　白靴
晴雨經濟靴　一足金二圓
晴雨經濟女學生靴　一足　一圓五十錢
名古屋市東區千種町古井坂電停前
合資會社　金城商會・販賣部
電話東五一一四(振替名古屋一七六)



天使 (117)

（禁上演）

横光利一

宮田重雄畫

十の九

「君にそんな心が起れば、もう駄目だよ」

と幹雄は淋しさうに云つて、海を見降ろした。

「さうかしら。」

「それや、さうだよ。そんなことを、重大な事だと思ふやうぢや、君も僕も、また別れて了ふより、仕方がないよ。」

京子は默つて、眼の下を見降ろしてゐたが、もう微笑は唇から消えてゐた。二人は長い間、默つて、坐つてゐた。出航する汽船が、船首を徐々に廻して、埠頭を放れていくのを見ながら、幹雄は、あれが今の、自分と京子の心のやうだと思つた。

「今、船が出ていくよ。もう一度あれを後へ戻すのには、なかく骨が折れることだ。」

「さうね。」

と京子は云つたが、もう自分の心を、後へ戻さうとする樣子も見えなかつた。

「でも、あたし、昨夜の事は、不自然な氣がするのよ。あれは、お父さまが、あなたとあたしとを、一緒にさせておしまひになつたんですもの。あたしたち、自分の心からぢやなかつたわ。無理が、あつちや、あなたとあたしとは、どうしても駄目だと思ふわ。」

「たしかに無理はあるね。しかし無理でもしなければ、人間に幸福なんて來るものか。また氣に入らなければ、喧嘩をしようぢやないか」

京子は輕く笑つて幹雄を見た。

「そんなに思へれば、いいわね。あたしなんか、まだく、あなたのやうには思へないんですもの。」

「しかし、僕と君とが今別れたらすぐその足で、また僕が貞子と結婚すると、君は思ふのか」

京子は、はッとすると、眼線をとめて動かなかつた。

「僕は君を驚かしてゐるんぢやないが、僕だつて、そんなに、あつちへ往つたり、こつちへ往つたり出來ないよ。良い加減にくたびれてゐるんで、早く納るところへ、納まりたいのだ」

京子は幹雄の歎息に、深く感動されたらしく、ぐつたりとなつて考へ込んだ。

しかし、しばらく默つてゐてから、京子は云つた。

「だけど、あたし、今日は、暫していただくわ。この次、いつになるか分らないけど、このまますつと、あなたと一緒にゐるよりは、もうしばらく、お別れしてゐる方が、いいと思ふの。今急いでは、ほんとうに、あなたを困らせるだけなんですもの。このまま一緒にゐる方が、いいと仰言つて下さるのは、有り難いけど、でも、あたし、それだけ、やはり大事をとりたいの。」

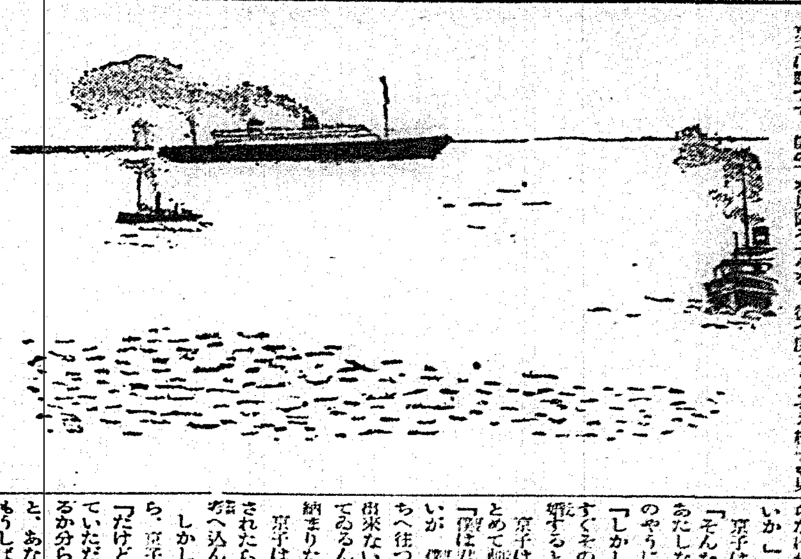
幹雄は、このうへもう何とも云ふ氣は起らなかつた。

「ぢや、それはもう、君に任さう。君はあの船みたいだよ。」

かう云つて幹雄はふと船を見ると、いつの間にか、船は遠く港を放れて、速力を出してゐた。

京子と幹雄は、坂下まで降るとそこで別れた。幹雄は一人になると、京子の云つたことが、正しく意義あることのやうに思はれた。

このまま、もし京子が今も自分の傍から放れずにゐたなら、自分は、一層苦しんでゐたにちがひないと思つた。

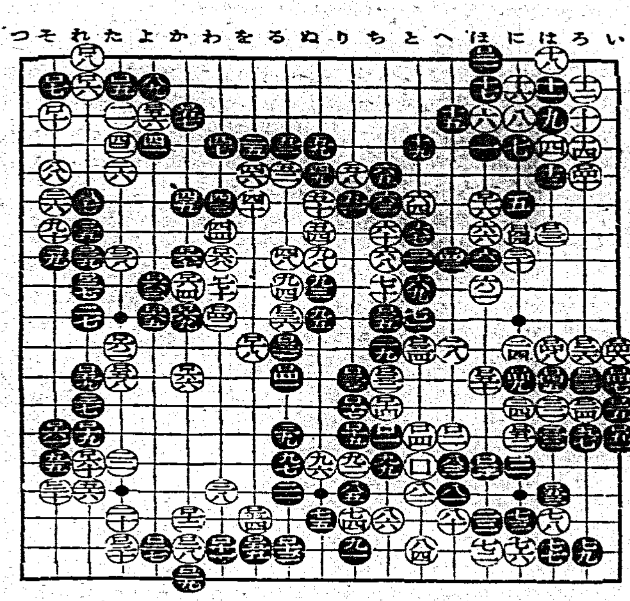


日本棋院 春季大手合戰譜

（第二局の四）

四段　小島春一

先　二段　高川格



●□二一ほの一　○□二二はの七　●□二三ろの一二　○□二四ろの一三　●□二五いの一三　○□二六ろの一一　●□二七よの一八　○□二八かの一八　●□二九かの一九　○□三〇たの一八　●□三一るの一一　○□三二ちの一二　●□三三りの一二　○□三四との一一　●□三五ちの一〇　○□三六るの一〇　●□三七れの九　○□三八たの八　●□三九れの八　○□四〇ろの五　●□四一るの一二　○□四二わの一〇　●□四三への八　○□四四にの七　●□四五はの一二　○□四六いの一一　●□四七いの一二　○□四八はの一一　●□四九にの一二

○□五〇はの一二　●□五一いの一四　○□五二にの一四　●□五三はの一六　○□五四をの一七　●□五五をの一八　○□五六よの三　●□五七かの三　○□五八たの一二　●□五九れの一二　○□六〇れの一五　●□六一その一四　○□六二たの一一　●□六三よの九　○□六四かの九　●□六五よの一〇　○□六六かの一二　●□六七かの八　○□六八わの八　●□六九かの一〇　○□七〇わの九

所要時間累計　白七時五九分　黒七時二七分

（制限時間各八時間）

總評　黒□二一で「ろの八」にヘシリ込むのは、□二三のトビ込みもある所なので、一寸氣がさすが、次いで白「への二」に一目切取つた時に黒「はの九」とコスンで行くのも相當大きい、黒□二七、□二九と運んで置くと、後に「たの十九」のハネで劫に行く意味もないではないが「つの十六」の方からのハネが利くところなので、その狙ひは遲い、矢張り「たの十九」にサルスベリして行く方が、白「をの十七」のノゾキを先手に打たせぬ意味があつて、一二目の利得であらう、此邊黒は優勢を確認して比較的すら／＼と打つて居る黒□三一のコスミツケは　次いで「をの十」にきびしくハネ出して行く含み、白が□三二、□三四と先手に運んで□三六と當てたのも嚴しく當然であらう黒□三七を打たぬと白「その九」のハサミツケ　□三九の切りの狙ひがあつていやだ、その不安を一掃する事が出來ては、この後のヨセは黒として骨は折れないらしい白□四二と手堅く守つたのは、怠つて黒から此點を狙撃されると中央の白が危殆に瀕する惧れが多分にある黒□四五で「ろの一〇」にハサムのは白□四六と下られて成立しない以下□五三まで後手を引いたやうであるが、白「ろの一七」と歸へる味を解消して居るばかりでなく、他にこれぞといふヨセもないので差程出來とも云へず白□五四を一本利かされたのは前にいつた黒□二七で「たの十九」まで滑つて行かなかつた罪に歸する白□五八以下彼方中央狹場の整理に從事したが、果してここにどれだけの見返りを確保し得たであらうか

ラヂオ

午前の部

【六・〇〇】朝の挨拶△ラヂオ體操△今日のお天氣のお知らせ△臺北測候所發表

【七・三〇】全國氣象通報（東京）

【八・〇〇】家庭メモ（東京）

【九・三〇】家庭大學講座（臺北）△臺灣の果物（その四）士林園藝試驗所支所長　櫻井芳次郎

【一〇・一〇】家庭料理獻立（臺北州修女學校　齋藤芳子案）△長芋の胡麻とろろ煮△豚肉[illegible]芥子酢

【一一・〇〇】日用品小賣値段（各局）△職業紹介事項（各局）午後のプログラム紹介（各局）

午後の部

【一一・五九】正午の時報△氣象通報臺北測候所發表

【〇・一〇】放送局編輯ニュース

【〇・二〇】晝間娛樂時間（レコード演奏）△音曲「音曲巡禮」文乃家かしく△落語「新婚禍話」柳家金語樓△モダーン小唄　イ不幸續き　ロ大道藝術家　モダーン・コメディアン座△和洋合奏「新內流し」日本ビクター和洋合奏團

【一・四〇】全國氣象通報（東京）

【五・〇〇】子供の時間（東京）お話「水銀」橋本爲次

【五・二〇】コドモの新聞（東京）

【五・二五】英語講座（臺北）初等科第三十五講　上村一仁

【五・五五】カレント・トピックス（東京）

夜間の部

【六・〇〇】子供の時間（臺中）△童話　不思議なかぶと　水上瀧基

【六・三〇】講演（東京）北清事變中「セーモア」聯合陸戰隊の思ひ出　海軍少將子佐川知義

【七・〇〇】俚謠　廣島と仙臺（イ廣島より　一、柄の鋼頭　廣島縣納町　村上好松、阪本義松、村上庄吉、阪本代吉、岡本會吉、和菓時太郎　二、二上り節子　廣島縣福山市　高田みち子　中村マス、夜逃ヒサ外　ロ仙臺より　一、山形大津繪　網野桃君　二、べに花摘唄　加賀幸松

【七・二〇】長唄（東京）連獅子　杵屋榮藏社中　唄　松永和之佑　松永和十郎、三味線　杵屋勝吉次、杵屋勝東次外にお囃子連中

【七・四五】落語（東京）忠臣藏四段目　三遊亭圓歌

【八・〇五】歌謠曲（大阪）合奏　テイチク・オーケストラ指揮　古賀政男　一（唄ーチエリー・宮野）スキート・チエリー（三根倉一作詞、中川壽士編曲）外三曲　二（唄ー若木安天、奄日太吉）（壽路詩助作詞、古賀政男作曲、若宮草榮原編曲）外四曲

【八・三〇】[illegible]（東京）

【八・三二】箏曲（臺北）一、景川　三絃　川瀨里子　尺八　中澤外二名　二、秋の言の葉　箏　川瀨里子　尺八　中澤外二名

【九・〇〇】[illegible]（臺北）[illegible]（久八[illegible]の巻）

さあ皆さんあすからは朗らかです●美粧の宿題はこれでとけました

レモン成分と貴重藥品による高級新美粧水

効用種別2種

オカップレモナ新發賣

アブラ性の方々には　オカップレモナアストリンゼント　×　アレ性の方々には　オカップレモナクレンシング　×　各五〇錢

無數な化粧品から、一歩ぬき出て新時代を劃した優秀美粧水です

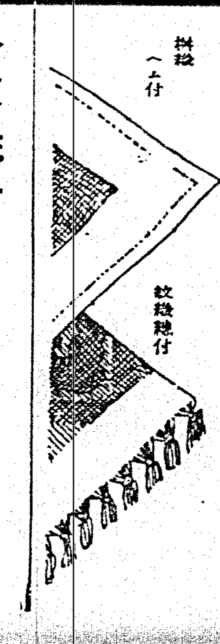
居ながらに良い品が安く買へる

阪急の通信販賣

美麗阪急のカタログ二十八日發行の豫定、御申越下されば進呈致します。

優良 敷布賣出し

柄入	寸法（鯨尺）		價格	送料記號
種別	巾	丈	一反	
柄織へム付	約三尺	約五尺	一・〇〇	㋺
紋織へム付	約三尺	約五尺二寸	一・二〇	㋺
同	約四尺	約六尺	二・〇〇	㋩
紋織總付	約三尺二寸	約五尺	一・五〇	㋺
同	約三尺五寸	約五尺六寸	一・八〇	㋺
同	約四尺	約六尺	三・〇〇	㋩
袋入				
柄織へム付	約三尺二寸	約五尺四寸	〇・九〇	㋺
同	約三尺四寸	約六尺二寸	一・二〇	㋺
同	約三尺三寸	約五尺七寸	一・三〇	㋺
同	約三尺八寸	約六尺	一・六〇	㋺
紋織總付	約三尺	約五尺二寸	〇・九〇	㋺
紋織へム付	約三尺一寸	約五尺三寸	一・四〇	㋺
同	約三尺五寸	約五尺六寸	一・六〇	㋺
同	約四尺	約六尺	一・七〇	㋺
同	約三尺七寸	約五尺八寸	二・〇〇	㋺



眞夏の必需品　晒天竺特別奉仕

二十天竺
三五天竺
三三天竺

御定評の阪急の奉仕品……

カバー其他利用の多い本品を御試用願ひ上げます

			送料記號		送料記號
二巾	約五丈六尺	二・六〇	㋩	三・二〇	㋩
三巾	約四丈八尺	四・二〇	㋭	五・三〇	㋬
三巾	約二丈四尺	二・二〇	㋩	二・六五	㋩
三巾	約一丈三尺五寸	一・二〇	㋩	一・四五	㋺

御徳用 夏蒲團各種賣出し

衛生第一

タオル掛蒲團（綿ナシ）……送料記號…㋺

御子達用（鯨約三尺×二尺四）　縞　一・〇〇　一・四〇

模樣　一・六〇

大人用（鯨約四尺×三尺）　縞　一・八〇　二・三〇

絞り　二・五〇　模樣　二・八〇

夏掛蒲團（鯨約四尺一×三尺一）……送料記號…㋬

ヤンネット　一・七〇

人絹梨地　二・〇〇

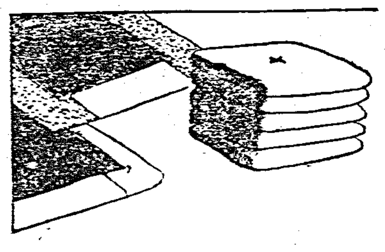
人絹縮　二・三〇

夏座蒲團……送料記號…㋣

近江加丹五帖　三・七〇

會　縮同　五・〇〇

近江麻縮同　六・〇〇



座蒲團カバー　送料記號三五枚迄…㋑

キヤラコ無地　〇・二〇

ヤンネット無地　〇・二七

キヤラコ模樣入　〇・三三

ヤンネット　〇・三五

キヤラコ模樣入　〇・三八

キヤラコ模樣入　〇・四三

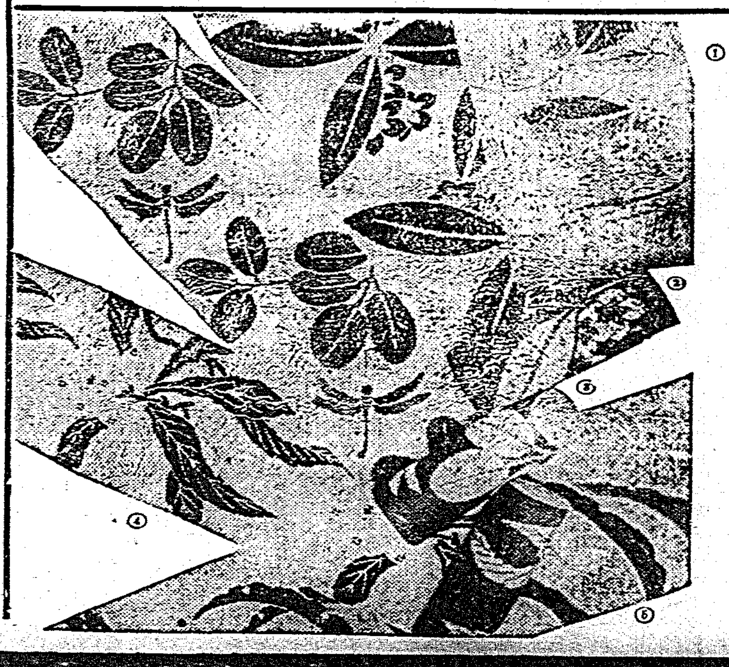
近江加丹カスミ　〇・四三

ヤンネット模樣入　〇・五〇

今夏流行 優美 阪急の浴衣卷

① 白地に紅藤色のいちごの柄　二十五、六歳向
② 白地に赤色の夾竹桃の柄　十七、八歳向
③ 白地に朱色のとんぼの柄　二十二、三歳向
④ 白地に赤色のびわの柄　十七、八歳向
⑤ 白地に赤茶色のつきわに桐の柄　二十一、二歳向

御指定柄萬一品切の節は似寄の適品御送り申し上げますから御年頃、御好み御申し聞け願ひます……送料記號…㋥



送料

記號	內地	海外
㋑	〇・一五	〇・四二
㋺	〇・二一	〇・四九
㋩	〇・三三	〇・六二
㋥	〇・四三	〇・七三
㋭	〇・三七	〇・八八
㋬	〇・六九	〇・九四
㋣	〇・八二	一・〇四

郵書にて御用命下されば郵便代金引換（但し六キロ迄）にて御送り申し上げます。局から通知がありましたら直に御引取り願ひ上げます

（代金引換料五錢）

阪神急行電鐵株式會社直營

大阪梅田

阪急百貨店

通信販賣係

振替大阪　八〇九

新設飛行聯隊は嘉義近郊に設置

來る八月より整地

昭和十三年に完成

新設飛行聯隊の設置場所に關しては臺灣軍當局は當初候補（二ケ所）臺中（三ケ所）臺南（二ケ所）屏東、佳東の九ケ所を候補地としてその後飛行場、兵舍、格納庫其他の敷地買收問題に關し臺灣總督府及び關係州廳との間に折衝を續けてゐたが民有地買收及び官有地の拂下に關する諸問題も解決し一方臺南州としては敷地整理費として八十萬圓を國防獻金として臺灣軍へ獻金することとなつて、要する所は陸軍中央部の意向を待つのみであつたが、山田陸軍省兵務課長以下山本航空兵少佐、原田技師、航空本部員青木大尉等一行が去る五月二十六日來臺以來服部軍參謀と共に嘉義、臺中、臺南、屏東、佳東の候補地を實地視察の上中央部へ報告、陸軍省、參謀本部、航空本部に於て協議せる結果、愈々嘉義市西方から大保庄に亙る一帶の地に設置さるることに內定を見、二十五日午前その旨臺灣軍に入電があつたので軍當局は午後四時別項の如き聲明書を發表するに至つた、斯くて上奏御裁可を待てば愈々決定に至るわけである、而して敷地整理工事は本年八月より着手し昭和十二年中には飛行場、格納庫、兵舍格納庫其他附屬の一切の建築物は完成、同十三年には兵員兵器等の編成整備を終つて愈々飛行隊として完成し帝國南方國防の最前線に活躍する豫定になつてゐる、衛戍病院、憲兵分隊等も設置される筈であるが今の所未だ設置場所は內定を見てゐないし又飛行團司令部、高射砲隊の設置場所に關しても內定を見るに至つてゐない

官民各位の熱誠感激に堪へぬ

臺灣軍司令部の發表

◇臺灣島內に飛行聯隊新設の議起るや全島各地官民は各其地に飛行聯隊の設置を熱望し知事、市尹を始め民間有志は國防の見地には飛行隊用敷地は勿論、其の附近地買收の負擔をも辭せざるの熱意を以て設置方を陳情せらるること一再ならず、軍當局者をして其の熱情に感激し涙の出づるを禁じ得ざらしむるものがあつた

◇軍當局は主として作戰用兵上の見地に基き研究し尚天候、氣象、地形、交通、衛生其他經濟上等の諸件を顧慮して各地に就き調査を進め陸軍中央部並總督府側と數次に亙り協議を行つたのであるが其間各地官民には尠からざる迷惑を掛けた點もあつた幸にして各當局の熱誠なる努力と援助とに依り茲に嘉義を以て新設飛行聯隊の位置と內定せらるるに至つたのである

◇茲に總督府並一般官民の非常なる誠意に對し深甚の謝意を表すると共に又惜しくも選に漏れた各地官民の赤誠に對しては私情上誠に同情の念に堪へざるものがある然れども既に斯く內定したる以上各地官民は從來[illegible]せらるる[illegible]と誠意とを以て陰に陽に飛行隊の後援者たり同隊の前途を祝福せられ以て國防の完全を期せられんことを望んで已まない次第である

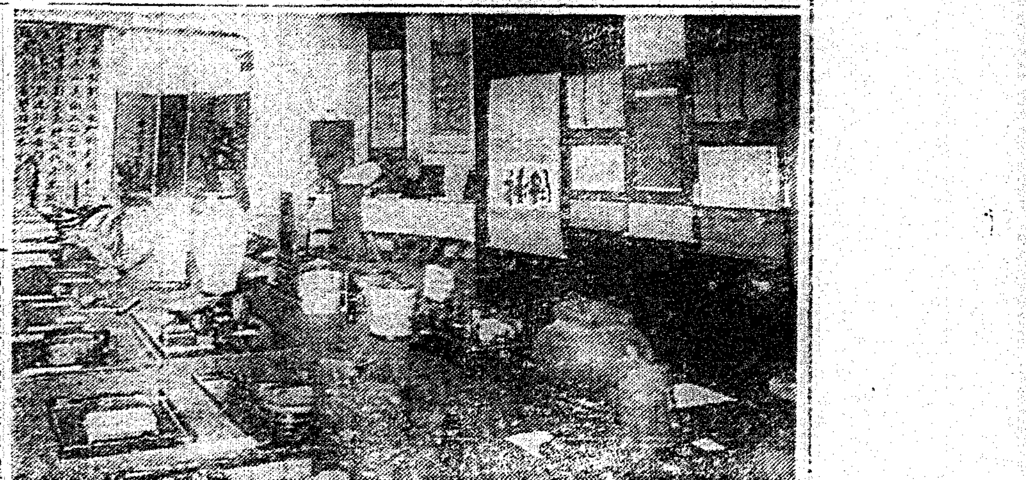
あす關係者が祝賀宴

【嘉義電話】二十六日臺南州會議室で行はれる國防義會及び臺南州協打合會には嘉義市より市尹始め眞木、早川、勝田、堀、小西の州協五氏を總動員して乘込むが飛行聯隊設置に就ては出來得れば今川知事の臨席を得て二十七日州市協議會員及び飛行聯隊設置期成同盟會役員等が加り取敢ず祝賀宴を開き更に日を定めて官民合同の一般祝賀宴を張る筈で飛行聯隊設置期成同盟會では二十六日夜七時半から公會堂で協議會を開いて今後の處置に就いて打合せ二十七日朝は會員一同打揃つて嘉義神社に參拜をなすことになつた

「愛玩品」持寄展

廿六、七の兩日　珍品揃ひ

二十六、七兩日午前九時より午後五時まで本社三階講堂に於て、趣味同人會主催の「愛玩品持寄展」が開かれる、何しろ各家が日夜座右に置いて愛玩してゐるものだけに、なかなか珍品が多く古今東西の珍奇な品物が一堂に集つてゐる、その主なるものを擧げれば奧義公手製の木彫品、日露戰爭當時の戰艦アリョール號の[illegible]品）[illegible]竹製の[illegible]、明共行說、鳥居の吊子圖の古器、田園村、古染付の茶入、竹製[illegible]甲羅、アフリカ土人彫刻ゴリラ[illegible]、寶石、西藏[illegible]、百廿六歲）翁の和歌、明治十年手縫ひのフロックコート等で、この他鑑定のつかぬ程の古い化石木像三個、細川家の家寶お[illegible]の[illegible]せしなる[illegible]が多い、また大石良雄、頼山陽、石川丈山等諸名家の筆蹟も出陳されてゐる、けだし近來珍らしい趣味展として、多大の好評を博することであらう（入場無料）



（寫眞は會場の一部）

新車と入れ替へる構內のタクシー

今夜關係者が協議

「島都の玄關」たる臺北驛の前が[illegible]らしくもあることながら、驛前の廣場によくもあゝまで揃へたボロタクシーあと二ヶ月すれば博覽會と云ふのに、ありや臺北市民の[illegible]にかかはること、嘆しいとの聲が[illegible]、先日臺北州の保安課では驛構內廣場に乘入れるハイヤーを整理する[illegible]タクシーを[illegible]しくなつてゐる[illegible]ボロタクシーが[illegible]んな[illegible]い車輛は今後絕對に構內に出入り許さぬから、全部新車に取替へて出直して來い」ときつい達しをしたので營業者側でも慌てその三者が寄合つて廿六日午後十時から臺北驛驛長室に於て車の[illegible]、設備その他について協議することになつた

頗くない臺北驛は五十日間ゴッタがへしの混雜が[illegible]するだらうと係員が氣の毒がつてゐる

生き殘つた生徒達に迎へられ感慨無量

震災地視察の中川總督

【臺中電話】中川總督は前日に引續き二十五日午前九時自動車にて臺中發、日下知事の案內で東勢郡石岡庄に向ひ同十時着、岡公學校校庭に於て日下知事より約十分に亙り管內の被害狀況の報告を受けた後、三百の生徒と共に同校校庭に並べられた同校罹災者百十五名の御下賜金[illegible]及び國旗揭揚臺を見て同庄內の震災地を自動車にて巡視、再び自動車にて[illegible]に向ひ同地に於て[illegible]、[illegible]原街神岡庄新庄子の各庄[illegible]內を總取調[illegible]を極めた同庄公學校に到り生き殘つた同校生徒の出迎へを受け[illegible]ものがあつたそれより新庄子、[illegible]の震災地を視察して大甲郡に出で大甲郡役所の內海新竹州知事の[illegible]等と驛長室にて少憩、午後[illegible]四分同驛發新竹に向つた

中川總督昨夜歸北す

二十五日の午前中に一巡臺中州下の震災狀況の視察を終へた中川總督は午後零時四十七分大甲驛發にて內海新竹州知事、[illegible]出迎を受け新竹州竹南郡下の震災地をなした、車中內海知事より州下の復興一般狀況に關する說明を聽取、午後一時二十九分竹南驛下車、竹南郡下の後龍、[illegible]頭份郡の各部落震災狀況を視察、[illegible]時五十分竹南郡役所到着、竹南で苗栗郡守より復興狀況の說明を聽取して出張所長、[illegible]の自動車で[illegible]終へ、自動車にて一路北上、午後七時四十分臺北驛着にて歸北の豫定（日程左の通り）

△午前十時二十九分竹南驛着△同十一時十三分苗栗驛着△零時三十四分苗栗郡役所着△午後一時四分福興着△一時[illegible]四分石岡着△二時十四分苗栗驛發△三時三十四分驛着△四時五十五分竹南驛着

けふ新竹州下を視察

震災復興狀況視察の中川總督は二十六日午前八時三十分臺北驛發にて新竹州下の視察をなし同日午後六時官邸に入つた

帝人事件第二公判

臺銀救濟に關する當時政府の方策

詳細なる訊問を受く

【東京二十五日發】帝人事件公判は午後一時開廷、引續き高木復亨氏に對し

一、臺銀は日銀から借りてゐた債務の擔保として有價證券、貸付證書、手形、不動產等凡ゆる有價物を入れてあり、鈴木商店から引受けた帝人株もその一つであり之は固有債務及び昭和二年法律第五十五號に依る債務の共同擔保として提供したものであり…まず

一、之等の債務は政府が保證して昭和八年五月頃には日銀に對する臺銀の總額債務は昭和二年法律第五十五號に依るもの三億四千萬圓、同二十二號に依るもの三千五百萬圓、外國手形に依るもの二千萬圓、固有のものの二千萬圓位であります

三、日銀に帝人株の擔保を入れたのは昭和二年であります

裁判長　日銀はその帝人株を幾何と評價して擔保に取つたのか

高木　日銀では幾何で評價したのか臺銀に示しませんでした

更に問つて（一）昭和二年三十四萬圓が[illegible]に陷り[illegible]勅令の緊急[illegible]に關する[illegible]の臺銀[illegible]が[illegible]せられる[illegible]の[illegible]とが[illegible]、二十四日[illegible]は臺灣總督府の臺銀[illegible]と[illegible]が[illegible]、依つて若し臺銀が損失した場合には政府が補償する事を決定した事（二）同問題の調査會設置の事（三）…の引受とその背後の政府の臺銀救濟の內情と臺銀の[illegible]に就いて[illegible]も[illegible]るるか何の補塡に充てたものかを述べ及び[illegible]に訊ね

高木　何分にも中川小十郞氏が頭取だつた時代のことで私にはよく判らない

と重要なことがはつきりせず今村辯護士立つて

被告は當時日本に居なかつたのですか

と問ひ私が訊すと

高木　さうです私は當時ロンドンに居たので今まで申上げたのは前任者がやつたことを聞いた事柄です

と答へ午後三時三十分閉廷

溫情豐かな藤井裁判長

傍聽席から

【本社東京支局廿五日發特電】

◇…帝人事件公判が開廷となるや早速被告高木復亨氏の訊問から開始される、藤井裁判長の態度は嚴か[illegible]だ高木君は被告席に起立低聲で答へ、裁判長には[illegible]ーブルが一脚、その上には水を入れたグラスとコップが用意されてある、大きな風呂敷包みが載せられ、それには椅子がない藤井裁判長は「椅子を持つて來い、そして其處に腰をおろしてゆつくり答弁しなさい」と誠に溫情豐かである

◇…廷丁は命に從つて赤い毛のフワフワな椅子を高木君に勸めた、斯うなると何のことはない、一家族會議の會場の様だ、[illegible]だ、公判廷は高木君の陳述に始まり、臺銀の[illegible]昭和二年のパニック當時の狀況について[illegible]に縷々なる質問があつた

◇…中川休憩の間に[illegible]保守辯護士とヒョックリ顏を合せ「ヤーヤー」と挨拶してゐると

◇…柳田君に「如何ですか」と話しかけたが「ヤア」といつたきりで語らなかつた、ところで昭和二年に使つたといふ例の一千三百萬の帝人株は實業家と共に保險の擔保となり今以つて同會社の金庫內に保管中だと咋する者があつた果して然りとせば[illegible]の點は當然となる譯だが併し記者は「マサカ」と思ひ二時半閉廷後、平田主任檢事を[illegible]に訊問右の次第を述べると檢事は言下にそんなことがあるものかと否定した

◇…被告連は何れも平氣な態度で島田君は高木君に何事かしきりに說明して居つた、島田君は記者を見付けて「ヤア少し代はらうか」などと敢る[illegible]たるものだ

各被告連の中には休憩時にやつて來た

熊本から戀の逃避行

【基隆電話】二十四日基隆入港朝日丸で來基した三等船客中擧動不審の內地人男女三名があるのを水上署で平野、吳兩刑事が發見取調べた所右は熊本縣熊本市內坪井八反田二六三八內山寅次（三）同地內坪井丸丸田一六一五武田米代乃（一）といひ內山と寅次は豫てより人目を忍ぶ仲となつてゐたが雙方の親が結婚を承諾しない上最近どうやら寅次が身重になつたらしいので切羽詰つた揚句約一百圓の金を盜に手を取り無斷家出して來たもの、美代乃は先般臺北に入營した內地人が忘れられないので寅次の戀に同情して懷しい男のゐる臺灣にと連立つて來たもの水上署では目下保護を加へると共に熊本に照會中であるが寅次は[illegible]死んでも歸れぬと頑張つてをり美代乃は寅次を勸めて[illegible]一組の駈け落者があつたが右は沖繩縣人臺北市大和町黑島はつゑ（三）及び佐藤川香（[illegible]）一假名といひ女は某カフエーに[illegible]る雇女になつて[illegible]、その[illegible]の[illegible]し[illegible]る[illegible]ため內地に逃げ出さんとしてゐたものである

會期中に百萬のお客を扱ふ臺北驛

臺博用待合室の增設に著手したが早くも頭痛鉢卷き

觀客四十萬が五十萬になり六十五萬になり、百萬とも云はれてゐる臺灣博覽會の玄關口をつとめる臺北驛ではその受付け準備に今から沒頭してゐるが汽車に乘つて來るお客さんが五十萬人として往復百萬、五十日間に平均すると每日二萬人近くが本來の乘降人員約六千に加はることになるから期間中臺北驛で扱ふお客さんは本來の三倍半と云ふ計算になる平素でもどうかして列車が二つも同時に着いた時などは全く身動きもならぬやうな構內や待合室をどうしたらよからうかと云ふわけで鐵道部から千四百圓を投じて驛長室前の空地に約百五十坪の臨時待合所を新設することになり、二三日前着工した、同時に助役、小荷物係、改札係、出札係に合計九十餘名の臨時增員を本部に要求中であるが何れにしても

南方警備線充實の必要を痛感！

高千穗丸で來臺する田代憲兵司令官語る

【門司廿五日發本社特電】一萬千頓高千穗丸は定時出港したが、憲兵司令官田代中將、高公栗[illegible]機關長[illegible]田栗大佐、田村俊二、兵庫縣南洋見本市一行の松本慶三、[illegible]原嘉大[illegible]總長夕エ子夫人の諸氏乘船したが田代憲兵司令官は語る

十年振りに臺灣に行くが主として憲兵の實情調査の爲めに行くのである、近來外國艦船の不法入港碇泊而柄注意すべき事件もあり、我南方警備線は更に充實させ緊密にしなければならぬ必要が痛切に感ぜられる、從つて憲兵警備の充實をはからねばならぬと思うてゐる

郡守たちも骨が折れやう

中川總督談

中川總督は語る

昨日二十四日見た地方と殆ど同じだ、大安溪水、內埔出で昨日見た所に較べ今日見た所は何れも復興作業が進れてゐる様だがこれは色々な事情もあることで致しかたがない但し內埔の方はまだ大分荒れて居た、大部こんな狀態で

『後の總督では生蕃討伐は出來ぬ』

佐久間總督はさう確信し力强く實行（小松氏談）

（23）

本社主催座談會

佐久間總督の人と爲り

小松　佐久間總督のとつた討蕃政策の結果は當時[illegible]共に[illegible]が認めて臺北の大頭目と云つた[illegible]であります。理蕃事業をお話する前に先づ以て大將の人と爲りを御話し致し又所々で[illegible]を少しお話したいと思ひます。[illegible]も[illegible]の中には「佐久間[illegible]」に就つてゐるものもありますから既に御承知の方もあるかと存じます。大將は[illegible]、[illegible]の如く古武士の好[illegible]であつたと云ふ事は[illegible]の一致する所である。然るに一面に於ては極めて[illegible]なる智能を完備し何事も百も承知で居りながら言に[illegible]して之を語らず、[illegible]は[illegible]め[illegible]大でありながら內には[illegible]な[illegible]を備へられたお方であります[illegible]して其の[illegible]では「佐久間は承知仕らぬ」の一言が其の[illegible]より[illegible]れる時眞に金石の如くでさうなつたら[illegible]かす可からざるものがありました

五ケ年計畫の理蕃事業

有名なる總督の理蕃事業は五ケ年計畫、一千五百萬圓の[illegible]を以て[illegible]つたもので內[illegible]から[illegible]れば「[illegible]」の[illegible]を取つて居る。之は先づ北部を開拓し南部に及ぼさんとする本島開發の一つの現はれであつた。總督は常に斯様に仰言いました「彈丸黑子の地と雖も苟くも帝國の領域にして我政令の行はれざるは甚に帝國の面目に缺くる所あり、邦家の根本義に全からざる所あるを惜れず、佐久間は不生產的の事をすると世間で兎角の評があるが僕がこの事業をやらねば後の總督では到底斯んでも出來ないと思ふ」と。そして其の考へを力强く實行したのであります。生蕃討伐には歲月か行はれましたが年代の[illegible]

既に主なるものを云へば、先づ明治四十二年のガオガン討伐で、この時に軍隊も出動し指揮官は小泉少將、警察隊側の指揮官が大津警視總長、[illegible]部隊長は[illegible]の宜[illegible]であります。このガオガン討伐は非常の惡戰苦鬪でありましたが、當時總督は上京の途中、神戸から內田長官宛左の如き電報を發したものです

「小泉少將に宜蘭方面の軍隊指揮官を命じ併せて糧食給之を若げたる時は、軍人はガオガン蕃人の肉を以て之を補充すべき事を命じたり」之を大津總長に[illegible]達すべし云々

總督が是認したる[illegible]の[illegible]これを補充せしことの[illegible]に至つては佐久間總督にして始めて[illegible]する所だと[illegible]じます、それは[illegible]に總督の面目躍如たる一節があり、ます。それは我軍が利あらずして時の大島警察總長は本島の[illegible]の雁所[illegible]に內部して[illegible]、[illegible]なる者の一隊に[illegible]を組織して直に[illegible]の[illegible]も出來たので、之を總督に進言した所、總督は「軍隊警察の力を以て平定することが出來ないで元土匪の[illegible]を籍りたと云はれては大切なる理蕃事業に拭ふべからざる汚點を印するから採用出來ぬ」と言下に之を却下されたとのことであります、ガオガン蕃討伐に次いでガオガン蕃方面の討伐がありましたが、討伐隊長は南警視總長入[illegible]警視官[illegible]

タロコ討伐中に山上から顚落

大正二年名々の有名なタロコ討伐とたりました、この討伐には總督自ら出陣、警察隊には總督理事宋[illegible]、內田長官も總指揮官として[illegible]行動を共にせられました、この出陣中總督はタロコの山奧でアハヤ一命を落すかと思はれたがラオカフ二に於て山上より顚落し[illegible]の[illegible]を[illegible]くされた[illegible]事を[illegible]たものであるが、[illegible]

現出し

これに[illegible]みて文教當局に於て十年度より十ケ年計畫事業として初等教育費（國民學校）の國庫補助を決定し、先づ十年度に於て自然增、新設を含み四百[illegible]經費の實現を期せんとして二十萬圓の經費を要求したが、それと同時に當局の財政事情と總督府の豫算に[illegible]なる關係もあり[illegible]

本島人兒童の就學率

累進的に激增を示す

初等教育の國庫補助費は明年度四十萬圓か

本島人兒童の初等教育就學率は現在三十七パーセントを示してゐるが、近年學校入學志願者は年と共に激增する一方で、昭和七年度に於て百學級、八年度に二百學級、九年度に二百五十學級、十年度に於て五百學級の不足と豫想する有樣であるが、この增加に伴ふ全島公學校の收容能力は財政難と相俟つて遂行的[illegible]を

全部の

收容は到底なく十年度にて其の收容不能數は八千人に及び、來年度は自然增加、新設に努力するも尙一萬數千に達する狀態と觀測されてゐる一方この狀態に鑑みて本島人兒童に對する義務教育實施の聲は先程の評議會に於ても[illegible]提唱されたる有樣で文教當局もこの初等教育に就ては頭痛鉢卷であるが義務教育施行は理想なるも[illegible]久財源を得ない限り見込立たず當局は就學增加に努力しつつ就學パーセンテージの向上を計る一途を辿るのみとされて

居るか

ら來年度にかける初等教育國庫補助の相當額計上は不可避の要求と一般に目されて居り、その額も既往乃至現在の狀勢より推して少くとも四十萬圓程度と觀測されてゐる

流腦と入替り今度は腸チフス

新竹州下で大流行に

當局は大童で豫防

【新竹電話】先般の震災當時は新竹州下に於て二十五日現在患者數は新竹郡十二名[illegible]市[illegible]十二名[illegible]一名合計[illegible]の[illegible]となり[illegible]次々[illegible]に[illegible]のではないかと[illegible]に一日も早く豫防を講ずる必要を痛感し衛生部より震災に際し寄附を受けた豫防薬經口ワクチン二萬五千人分を竹南苗栗の三郡に配布したが更に豫防の徹底を期する爲め苗栗郡銅鑼庄竹南郡後龍北埔等の震災地にしてチフスの流行を懸念される地方民五萬人に對し豫防注射を施すべく計畫を進め近く實施する段取である

新竹の兒童遊園地

【新竹電話】新竹市制五周年記念事業の兒童遊園地に最初の寄附募集額二萬圓を三分の一の一萬圓に減じ寄附募集を去る十四日附で州の許可を得たので二十五日午後一時より市會議室に市內主なる會社銀行その他の有力者の參集を求め打合を行つた結果既に五千圓の寄附申込があるので殘額五千圓は會社銀行方面から寄附を仰ぐことし尙不足の場合は一般から募集することとなりこの世話役として實行委員八名を擧げ實現を期することとなつた

[illegible]二十九日開催の[illegible]は二十七日の[illegible]と[illegible]

新竹の搬出米州別檢查打合せ

【新竹電話】搬出米州別檢查規則施行に當り新竹市では先般來各地方に於て米穀改良座談會を行つたが二十五日午前十時より州內務部長室に於て州下農業倉庫主任を召集し右に就き具體的打合會を開いた

臺灣震災に見舞金

京城ロータリー俱樂部から

京城のロータリー俱樂部では、臺灣の震災に對し鄭重な見舞狀と共に金三百圓を臺北ロータリー俱樂部宛にて送附して來たので右の金額を同俱樂部より本社へ寄附取次ぎ方申出であつた

全臺北團の練習試合

全臺北團は先頭の圓山球場で練習中ですこぶる好調を傳へられてゐるが廿六日午後二時から圓山球場で臺北工業と練習試合を行ふ由

けふの天氣

△臺北地方　南西の和風曇後晴
△北部地方　南西の和風曇後晴
△昨日の最高溫度　八十九度六（午後一時）
（臺北觀測所發表）

謹告

當院外科外來診療所ハ二十二日夜火災ニ罹リマシタカラ同診療所ヲ直チニ第六病棟ニ移轉シ二十四日ヨリ平常通リニ一般外來患者ノ診療ニ從事致シマス

尙ホ病室、手術室等ハ異常アリマセン

御來院ハ從前通リ醫院正門ヨリ願ヒマス

昭和十年六月二十四日

日本赤十字社臺灣支部醫院

父繁松儀急病にて昨日午後十時三十五分於苗栗死去致候に付生前辱知諸彥に此段謹告仕候
追而本月廿七日午後[illegible]時苗栗にて假葬の上不日郷里にて本葬相營み可申併せて謹告仕候
六月二十五日
新竹州苗栗郡[illegible]井
男　枝川幹男
親戚代表　上田元次郎
　北村壽一
友人代表　山瀨清肇
　加藤清郎
　鈴木伊勢教

會葬御禮
藤澤定次郎
親戚一同

二女美代子儀
豫而淺井醫院に入院中の處本日午前五時死去致候間此段生前辱知諸彥に謹告仕候
追而告別式は廿六日午後[illegible]時より四時迄の間於自宅執行仕候
昭和十年六月廿五日
父　成田清晉
親戚友人一同

臺灣鐵道時間之改正
對急行發著所關及其他
高基間短縮約四十分

臺灣鐵道列車發著時刻之大改正。本擬昨年實施。而爲種々事情。遂至斷念有如所報。茲決于九月實施。查臺灣鐵道現在旅客列車運轉時刻。係昭和五年十一月改正。然其後爲運轉揮發油機動車。新設停車場。接續開始等。曾有一部改正。而全體乃于五年前所改正。因隨周圍情勢之變遷。現在旅客輸送上。殊多不合理。且乘合自動車普及。局營乘合車開始營業。于列車機動車運行整理等。爲要改善故鐵道部。期于昨年五月除淡水線而外。欲斷行臺灣全線時刻改正。乃自昨年一月。著手準備。然此時刻改正。因機關車。機動車之購入。停留所之設置等。要相當費用。昨年度爲項目改良費多支出以致時刻改正豫算。無從籌出。爰期于來九月實施。唯其內容之詳細。尚非發表時期。然其主要項目。

一、急行列車所關改正。

◆第一列車即基隆發午前七時五十分南下急行。進前三四十分。且于八堵驛接續宜蘭線◆第二列車高雄發午前八時十分北上急行。于午後三時五十五分通過臺北驛。抵基隆四時三十三分。此間時刻短迫。臺北諸官衙銀行會社等之退勤赴不及。而基隆于冬季。午後四時出帆之定期船。亦赴不及等。于遠地乘客。殊覺不便。爲避此等兩者之不便。乃將時刻進前。以圖與船舶完全接續也。◆第四列車高雄發午後八時三十六分夜間急行。各驛發着時間均早。抵臺北六時十九分。對旅客迎接甚不便。故退後約一時間。◆第三列車南下夜行臺北驛午後十時半。有失于稍緩。而到高雄。亦以稍早爲便利。乃進前約一時間。

二、增加急行停車驛。

三、列車回數。照區域爲必要增減。

四、廢止某列車之一等二等車連結。

五、增加揮發油機動車運轉區間。

六、新設停留所。

七、短縮少驛停車時間。

而近正午之際。必欲新設一急行列車。乃各方面之要望。鐵道部正爲愼重研究。然以現在臺灣鐵道之能力。或不能實現。要之高雄基隆間。實現短縮約四十分。此次時刻改正。一般期待有多大效果云。

大甲甲南間
改修完工
廿五日開通

大甲々南間不通之處。改修已告完。于二十五日午前十一時北上第三十列車南下第十三列車開通。辨理左記旅客及貨物。

一、旅客、含手小荷物。

北上第三十列車（高雄發午前四時五十分）。南下第十三列車（基隆發午前六時十九分）照平常辨理。

二、貨物自今照平常受託。

臺灣博全國主任官
協議開辦事宜
見學各會場後臨招宴

臺灣博覽會全國主任官會議。去二十五日午前九時。開于督府二階會議室。出席者有內地諸府縣。滿洲朝鮮等商工主任官二十名。臺灣一邊。有平塚會長。中瀨事務總長。外各部長協贊會。市。遞信。瓦斯。運輸等。約八十名。定刻須田總務部長述開會辭。平塚會長致辭。略謂外地主任官。不辭遠路而來。不勝銘感。次概說施政四十年間之臺灣文化。產業發達。及此博覽會特色。終懇各位援助。以期成功云々。次中瀨事務總長謂本博豫算。督府補助六十萬圓。州廳。臺北市補助二十四萬五千圓。收入約十五萬五千圓。計百萬圓一面協贊會豫算四十萬圓。兩者計百四十萬圓。次說明各會場位置。並諸施設力說本博覽會。非產業博保文化。產業大綜合博覽會。而南方館。皆關紹介南華南洋等特色。並國防館。特發揮保護帝國南方生命線大使命。外草山分館。基隆。臺中。臺南。嘉義等。凡全島皆有施設經託各位。誘致內外地觀客云々。乃附議事項如左。一、出品勸誘集齊。二、汽車。汽船運賃減折。三、關稅消費稅專賣品其他特殊出品交涉。四、出品陳列。五、出品物搬出入。六、出品規程諸樣式。七、陳列處大小。八、看守人。九、出品物保險。十、鑑査。十一、電燈。電力。十二、水道。十三、瓦斯。十四、電話。十五、勞働賃金。十六、博覽會々場內土地使用。十七、協贊會賣店及土地使用。十八、出張事務所。以上由係員說明應出席者質問。議至午後二時完了。一同赴市內第一、二會場。大稻埕分館其他見學。夜臨梅屋敷招宴。二十六日午前中。磋商後欲見學草山分館。夜臨協贊會招宴云。

豫算編成方針
閣議別無異議決定

東京二十五日電。且決定明年度一般豫算編成方針。本年度最初豫算閣議。二十五日午後二時。開於首相官邸。岡田首相。以下全閣僚出席。諸般政務決定後。岡田首相。求藏相發言。高橋藏相。即起說明照二十四日午後大藏省議所決定之編成方針大綱且述我國財政現狀。照赤字公債漸減。並歲出膨脹防止。以健全財政。方其考慮。各省新規事業。所爲必要。以求各閣僚諒解明年度豫算之査定。特此又家閣僚。就公債政策。其他事項。與藏相有所問答。迄無異議。照藏相方針決定云。

不藉增稅
研究增收
必要政治工作

東京二十五日電。政府於明年度豫算編成方針。告以各省。凡各所管所屬歲入。務圖增進。然與所謂增稅計畫。問題不同。高橋藏相之意。目下不欲一般增稅。且其臨時利得稅特殊部分增稅。亦不欲自明年度實行。唯最近租稅官業收入等。因自然增收好轉。經常歲入。或比歲出膨脹。財政收支。大失均衡。大藏省。方籌不假增稅之道。別謀增收。或已請各省協力。即其財源。在仰國有財產整理。森林收入增加。競馬協會。放送協會諸納付金增加。其他各省。雖無多額。想得相當考慮。與大藏省之間或再折衝。又鐵道益金繰入。郵便料金加昇等。無增稅必要政治工作。然全屬未知數。方注目其成行云。

高雄在庫急增
中壢米出
北部米漸增

本年早季蓬萊米。初出時機雖早。惟六月上旬。各地陰雨連綿。粟難乾燥。登場遲緩。幸屆下旬來。各地相繼快晴。中部米已漸出。高雄則已盛出。高雄在庫米漸增。二十四日一期蓬萊已達五萬袋。每日急增。而基隆在庫米雖少然二十五日中壢已有初受檢查之米。大甲溪橋又已修完。大貨物二十六七日可以運載。此後天候若穩晴、則中部及中壢方面之出米。每日常有六七萬袋七月初基隆埠頭必積米如山也。

南州集州協國防幹部
議獻金八十萬圓
續議嘉南大圳借換低利

臺南州當局。二十六日午前十一時。在州會議室。臨時召集州協議會員。同時求國防義會臺南支部理事。及幹事參集。就重要問題協議。即國防獻金八十萬圓之財源籌出。其方法則發四十萬圓。由國防義會。募寄附金二十萬圓。殘額二十萬圓。以嘉義市爲中心。仰市郡民寄附。總額八十萬圓。經由州當局。對臺灣軍手續獻金。終提議嘉南大圳組合。其對勸業銀行借入金二百八十萬圓。年利六分五厘。欲借換四分三厘。現交涉中。經得勸銀當局。承認借換條件。諮問于州議員。求一同之贊成云。

斗湖借地權取上案
在留邦人受大打擊

比律賓總督。認可斗湖之不法借地權取上案。其意在乎追出日本人。異常衝動。據督府統計官原口氏所談如左。

此問題已歷十年。每年議會已紛議。要之斗湖日本人土地小作。多與比島土地法所禁止之土地轉貸同。乃屬違法。故照法律所定沒收、邦人在斗湖。贌耕比島人之土地者。占斗湖在留人半數以上。受此亂暴處斷。在留邦人一萬三千人之生活權。約七千萬圓以上投資額。其問題極重大云。

特產暴落
市場恐慌

大連二十五日電。環境不良。落勢滔々。大連特產市場。因奧地策動。一時稍起。然最近銀行貸出警戒。投機家資金難。昨後場一齊投出急崩落。滿商中發表休業者一二軒。今朝華商總投。大豆十八錢乃至三十一錢大暴落。現出恐慌市情。市場不安人氣橫溢。豆粕亦因大豆暴落。低落六錢乃至十一錢豆油雖活潑。因大豆低廉價逢暴落。成盤不少云。

特產市場
增證據金

大連二十五日電。特產市場暴落。特產取引所。對大豆及高粱。賣買双方。每車增徵五十圓之增證。

銀票市況

大連二十五日電。海外銀塊一齊崩落。上海匯水低廉。寄付百二十六圓八十五錢。其後因上海特殊轉落。起至七圓八十錢。大引七圓云。

慈躬有喜
既閱三月
葉山行啓或止

東京二十五日電。皇后陛下。既如所報。慈躬有喜目下只管靜養、既已懷妊三月。今後公式宮中御儀行啓或罷。又去二十日。蔣駐日中國大使謁見。午餐會陪御。一切作罷。目下在宮殿內吹上御苑散策輕々運動。豫定來月中旬與天皇陛下。皇太子殿下內親王殿下。駕臨葉山行宮消夏。來月初頃。或經主任侍醫岩瀨御用係。正式拜診。短距離汽車旅行如或不妨。或出行啓。或天皇陛下。自葉山行宮八月初。移駐那須行宮之際皇后陛下。專在宮城靜養而後直接行啓那須行宮。皇后陛下御內著帶式。且卜八月中戊日舉行云。

皇太后陛下
御誕辰
賜饌首相以下

東京二十五日電。二十五日。爲皇太后陛下。第五十一回御誕辰。又爲皇弟秩父宮殿下第三十三回御誕辰。皇太后陛下。午前十一時二十分。行啓赤坂離宮。受秩父宮。同妃。高松宮。同妃四殿下。暨各皇族殿下御祝辭。及岡田首相。以下高官拜賀。而自正午頃賜饌、皇族殿下在雁間。親任官在花鳥間大食堂。其他在羽衣間。諸員感激。又秩父宮殿下別受三陛下。御祝品之賜云。

滿洲國水兵
與日本陸兵爭
全爲言語不通

新京二十五日電。去二十日。在滿洲國江防艦隊大同艦上。發生滿洲國水兵與日本陸軍兵。紛爭事件禁止揭載。至二十四日解禁。比爲調查。知爲言語不通。双方誤解所致。即去二十日午後九時半頃。哈埠碇泊所司令部所隸陸兵二名。搜偵碇泊中之江防艦隊大同號附近。爲大同乘組員兵吐言。奈言語不通、不聽命令。遂至相爭。双方用武。會日本憲兵馳至。乃得鎭撫。双方不出負傷者。日滿當局。各究責任者。奈爲言語不通。誤、紛爭。各自戒飭將來。和解成立云。

滿蒙會議
決定續開
次回入本論

滿洲里二十四日電。二十四日第八次滿蒙會議。午後一時。開於北鐵中與會議室。先有神吉代表。傳達滿洲國政府之意圖。而自滿蒙兩國親善入局。要望會議進步決定規則第二項討議範圍。外蒙承認。而後双方所作會見。其正式對照。兩國代表承認後受諾哈爾哈事件所關提案。於是久已停頓之會議。得入本論次回豫定二十六日續行云。

島米生產費
調查磋商

殖產局農務課。招集米穀生產費調查出張員。二十六日午前九時。於總督府貴賓室附屬室。開磋商會其事項如左。

一、昭和十年第一期作生產費調查農會費。農具費其他負擔率算定方法所關之事。

一、昭和十年第二期作生產費調查之調查農家選定之事（特就震災地調査農家選定所定之磋商）

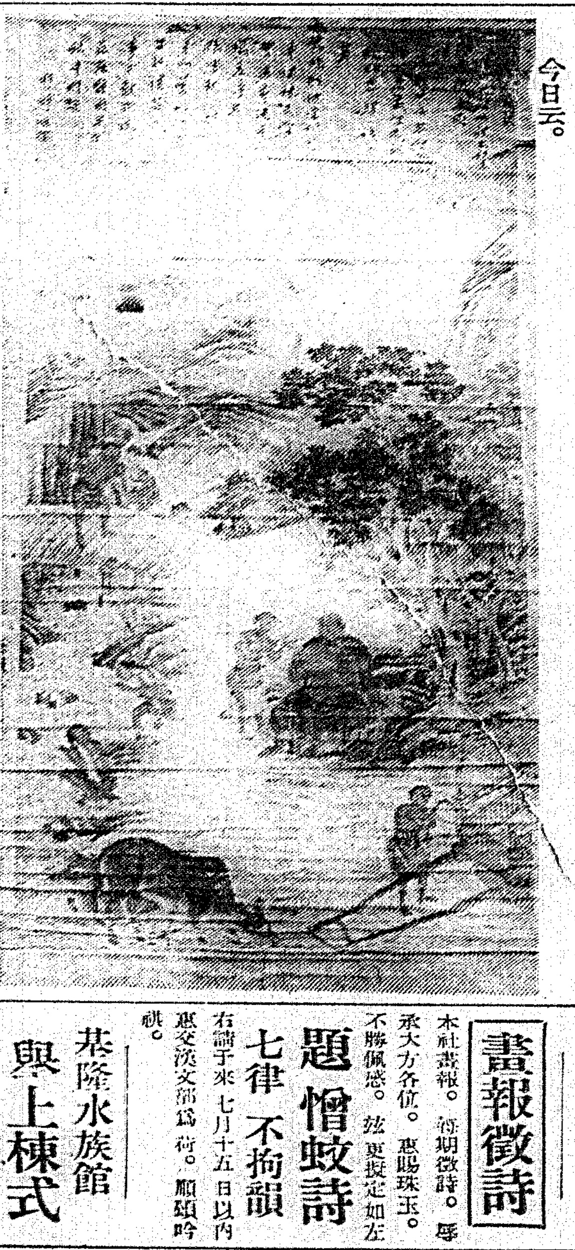
一、前者調查會提出之昭和九年第二期作生產費調查結果所關之件。

又該磋商會出席者。殖產局一番瀨農務課長。鈴木財津兩技師。地方出張員即臺北佐々木。新竹小沼臺中渡邊。臺南金子。高雄小橋各技手云。

赤十字院火災原因
煙草殼餘燼再燃
密會之看護婦自供

臺北赤十字醫院火災。似決定爲失火。查明爲宿直醫。往跳舞場。失火室有醫生看護婦密會。且此次搜查。僅一晝夜。而得全部握其確證。宿直醫。因感責任重大。徹底否認。以爲往校庭納涼。然出發之時。會囑看護婦。若有要件。可向跳舞場通知。及由同僚。通報火災始狼狽歸來。唯失火本人。却非此宿直醫。似爲同往跳舞之平某。彼因聞同僚二人先往。乃由失火室穿襪急追其後而去。及抵跳舞場未幾。而發生火災也。顧平某言是室。僅二十分間發火。大概爲棄煙草殼餘燼再燃。就此。平某本人。答無記憶。然而密會之看護婦汪某。則自供煙草。先是此二人。午後八時過。在該寢室。絮々不休。因同九時。爲守衛巡迴時間。乃步出中斯時尚無異狀。其後平某一人。獨自入室。準備出門。未幾發火。又堀內校長。以爲萬事任司直之手執傍觀的態度。然失火。不論大小。刑法上。處三百圓以下罰金。行政上處分。另別問題。關于官紀弛緩。要如何肅正乎。殊惹人注目云。

豐原郡神岡庄岸裡三代總土官潘敦仔氏行樂圖



圖成于乾隆十二年。即距今百八十八年前。其上有楊天儒氏之題跋。其孫潘水氏保存至于今日云。

臺灣米
設移入協會

全國主要臺灣米移入者代表者二十五名。日前於大津琵琶湖旅館。開全國臺灣米移入協會發起人會。協議協會創立一切事宜。定來七月十日。欲假京都旅館。招待官民關係者。開創立總會。而協會設立趣旨。乃一、臺灣米交易改善。臺灣米改良。謀內臺間輸送問題。作臺灣米輸入代表的指導機關。謀米價安定云。

產金會社
第四號試錐

臺灣產金會社。于研海區新城之砂金鑛區試錐。第三號已告完。而第四號。決定于斯區達附近。目下裝置機械。豫定于一兩日間、開始試錐作業云。

神枷問題
崇神會幹部談

臺北市大同促進會。與崇神會。關于霞海城隍神枷紛糾問題。據崇神會某幹部。所談如左。

霞海城隍祭典。由崇神會幹部二十名。分作四組。輪年辦理。然崇神會。並無基本財產。例若往年某氏主辦。且缺損千餘圓。其所得充爲經費者。不外賣神枷之利益金而已。神枷所得利金。每年大約千八百餘圓。此中千圓。於中元普施之時。補助五柱爲普施之費。其餘貯蓄俟每三年。輪放水燈之時補助。此筆費用。亦要二千餘圓。故關于會之收支。應無曖昧。不過因會計獨立。難保無受人誤會云々。

大甲々南間
昨日開通

縱貫鐵道。因自去十七日午前八時大甲溪橋梁破損。不得已。徒步連絡。迨去二十五日午前六時二十分基隆發第十三列車。及午前四時四十三分高雄發第三十列車。皆得開通。旅客、手小貨物。貨物辦理復舊云。

澤谷少女團
到蘇澳開演

福岡市。澤谷兄弟洋行麗美小女團。一行三十三名。去二十三日由花蓮到蘇澳。由蘇澳榮座主。高崎松次郎氏後援。假蘇澳海岸廣場開演。日夜觀客幾無立錐餘地。預定開演五日間。然後往宜蘭羅東開演。歸內地云。

沖繩珊瑚業者
遠漁臺灣
關係者來臺

澎湖島港。及彭佳嶼方面發見珊瑚漁場。頗惹斯界注視。如沖繩縣珊瑚株式會社專務取締役肥後繁良氏。日前來臺。調查臺灣珊瑚漁業之生產狀態。顧同縣下之珊瑚漁業。在知念岬之兩岸。水深百七十尋至二百尋之深度。而往網集落木。唯澎湖島港及基隆港則反是。到處得以採取珊瑚。例如基隆港。于水深八十尋。採取極易珊瑚生產。現不能豫想。因而市價亦難測。一同縣珊瑚漁業。前途無其可望。乃樹立遠海採取計畫。企圖大規模遠征云。

豐原夜間
屋外避難暫少

豐原街民。因震災經過後。尙時々餘震。破損家屋不能安心度夜。老幼爲避危險。多築簡單小屋。在校庭。或路邊。等處避難。者番郡當局。爲交通上之取締。命以毀折。又前日風雨連綿。蒸濕上蒸。且近日氣候不順。病人續出故不得已陸續歸返本宅云。

新竹震災地
州稅延納

新竹州々稅納期。訂來七月十五日起十日間。而對震災地罹災者。延期一月間。即改爲八月十五日起十日間。按來二十八日午前九時。在州會議室。開州常置員會。附議變更之事。而延期區域。僅州稅務課管內震災地。[illegible]

官界當如猪口誠氏
嘉郡欲爲建立頌德碑
新竹郡則欲籌建胸像

去三月末。猪口誠氏。辭去嘉義郡守。往任臺南州嘉南共榮協會理事。氏在任凡三年間。者番由嘉義郡兩課長。及郡下各庄長等出爲發起。爲記念猪口氏之在官。爲建頌德碑於義人吳鳳廟境內。以工事費一千四百圓。由各庄長。著手勸募。氏爲嘉義郡守前。在臺南州新化郡在任九年間。故該郡下亦欲發起。爲建設猪口氏胸像。於新化街虎頭埤公園。可謂重疊之光榮云。

畫報徵詩

本社畫報。將期徵詩。辱承大方各位。惠賜珠玉。不勝佩感。茲更擬定如左

題　憎蚊詩
七律　不拘韻

右請于來七月十五日以內惠交漢文部爲荷。順頌吟祺。

基隆水族館
與上棟式

基隆市孤拔濱海水浴場。建築中之水族館。其基礎工事。此次完竣。爰于去二十五日午後五時。舉上棟式。豫定七月中完成云。

有明料理店
虐待酌婦
店主被拘

既報蘇澳庄蘇澳字南方澳有明料理店々主。明石百太及其妻明石富爾。虐待酌婦。嗾使出彰及同僚酌婦。施以毆打及其他。致該酌婦寺閣枝。遍體負傷形容憔悴。險至自殺一節後經警察課。召喚明石夫妻。及寺閣枝。由武久司法主任。嚴訊結果。明石夫妻。自白一部分虐待事實。餘尚緘口否認。現正繼續追究餘罪。因此庄民均大稱快。咸望當局徹底處罰之也。

詩壇

失題　五十嵐海洲

誰能知其始。誰能知其終。
不知從天道。五天目不窮。
彌來彌覺遠。過去如夢空。
現亦何背任。未來來匆匆。
即此能悟透。道固在斯中。
今夕邀月皎。明朝拜日曈。
昨爲紅顏子。倏成白髮翁。
嗟我生晚學。守拙善吾躬。

其二

誰能知其生。誰能知其死。
不知系天命。處世務生理。
榮華非所慕。一例浮雲視。
富貴不隨身。才多致煩慮。
遺惡愧前非。爲善生後喜。
生死任吾見。世相有表裡。
人心雖不同。血緣成父子。
遺志長欲傳。種瓜種須美。
盛衰一往來。天賦安足恃。

此本學陶詩者。安分戒盈爲善之樂。古今同道。　潤菴漫評

嘉義

訓示衛生

嘉義警察署伊東署長。月二十四日午前十時起。至午後二時召集市內料理飲食店。及珈琲店之營業者。在同署訓示室。就衛生及其他料理店規則。一場訓示。

檢度量衡

嘉義警察署。爲防奸商。月二十四日午前八時起。至正午。有外勤各派出所總動員。對市內東西兩市場。及市內店舖。

偵探　假金票案（二）
（二）眞犯潛踪
徒勞搜捕

孫刑事於霧中與吳素梅分路。尙疑素梅爲飾詞。立回步往覗前路。見素梅循道左踱。更尾其行。轉瞬抹角。出電車道値往偕花園。電車到。素梅登車。孫刑事亦由後而登。然觀其行止。素梅全不覺。至偕花園前。素梅下車。孫刑事亦隨之下。其宿舍在偕花園左偏。到門外。押電鈴。有一女給出啓扉。孫刑事認是陳彬々。二人在玄關前。耳語多時。乃同歸入室。孫刑事心內揣度。倘素梅所言不誣。疑林英得一宗大財。是拾遺不報。或務入所有。不然就是謀財害命。然近日全市警署通報。既無大款失物。又無殺人搶案。疑團莫釋。[illegible]到廳前降車。且腕上時錶。針指二時。因年末忙碌。路上尙有行人。孫刑事從旁門入。係長下村警部。尙未歸寢。見孫刑事入。問今夜可查出甚麼事否。孫刑事趨前報禮。係長命坐。孫刑事將路遇偕花園女給與吳素梅。尾行經過及談敘情形。詳細報告。係長曰。昇料林英必得一宗大財。且從何而來。孫刑事曰。我始疑是拾獲。繼疑是竊取。終疑是掠奪。或者是謀財害命。不知市內及郡下各警署。有通報此等事否。係長曰。有關有之。但報失物者。竹些々。竊盜亦只衣裳雜物。掠奪則無。謀殺亦無。我以爲其所謂大宗財者。知有大宗存在。林英不過貨物之牙爪。然非急捕林英不可。君可與小山警部補。同乘用自動車。此時往中華第一樓搜索。我電知該管署派員助力捕得林英。禁錮廳之留置所。更往拘女給吳素梅及陳彬々。分禁附近警署。先行搜訊。後乃訊供。孫刑事與小山警部補承命。立馳自動車。赴中華第一樓。査問林英。據樓主云。英於二日前。稱病辭職。踪跡不明。孫刑事々問樓主曰。英豈非曾一年來。欲識其故鄉之關係耶。樓主曰。籍同之事。孫刑事問曰。英之宿所。原在本鄕。今在何處。樓主曰。不問其移。孫刑事與小山警部補密議。小山警部補曰。轉赴本鄕務搜其行跡。英之本鄕宿所。孫刑事曾一次去過。車至其門則見樓前高貼貸家紙條。孫刑事沈吟曰。彼竟逃矣。於是轉赴偕花園。將女給陳彬々與素梅二人。拘到警視廳。時東方既明矣。（未完）

廣告

一泊一圓（[illegible]）
合資會社大世界ホテル
支配人　許昆炎　謹啓

富士調味料製造所
本舖
大阪市東淀川區長柄中通一丁目八

小兒良藥
樋屋奇應丸
樋屋合資會社

小兒良藥
樋屋奇應丸

語曰天無二日大地上名藥
亦然有一無二自然之理也

能拯奄々垂斃小兒危病不論何時何地得似快刀斬亂麻發揮極大神効者首推梅鉢印樋屋奇應丸
然竟有奸僞之輩艷羨其神奇見重於世妄加模造尤其是在本島僞造類似品不可勝數但該藥實異於其他日用品蓋屬纖弱幼孩救急之妙藥其配劑調合責職之重知之者諗矣倘偶不愼失之毫釐差以千里斷送無辜幼孩生命者亦未可知擧世滔々模造僞做品均屬此等危險性是以甚望世之賢母若眞愛惜小孩生命宜謹記上記包裝除梅鉢型商標及樋屋奇應丸以外任何花言巧語請俱不可妄聽爲孩兒計爲社會計宜立即於明智而熟察之是幸

「育兒之友進呈」（記入新聞名而索之）
主効
胎毒、氣絕、五疳、驚風、疳積、麻疹、下痢、痙攣、夜啼、食傷、腹痛、惡心、吐乳、下瀉、青便、消化不良、胃腸衰弱等一切症奇効如神
藥價　自金二十錢至十圓　德用包　一圓
大阪天滿橋
本舖　樋屋合資會社
10—T—1